

令和8年度

ひまわり園改修工事

設計図

春日部市
福祉部
障がい者支援課

図面番号	内 容 《 意 匠 》	図面番号	内 容 《 意 匠 》	図面番号	内 容 《 電 気 》	図面番号	内 容 《 機 械 》
A - 00	図面表	A - 31	スロープ詳細図 (改修前・後)	E - 01	電気設備特記仕様書	M - 01	機械設備特記仕様 (1)
A - 01	特記仕様書 (改修その1)	A - 32	サイン詳細図 (1) (改修前・後)	E - 02	分電盤 結線図 (改修前・後)	M - 02	機械設備特記仕様 (2)
A - 02	特記仕様書 (改修その2)	A - 33	サイン詳細図 (2) (改修後)	E - 03	幹線動力設備 平面詳細図 (改修前)	M - 03	配置図
A - 03	特記仕様書 (改修その3)	A - 34	家具・棚詳細図 (改修前・後)	E - 04	幹線動力設備 平面詳細図 (改修後)	M - 04	給排水衛生設備 (改修後) 器具表
A - 04	特記仕様書 (改修その4)	A - 35	カーテンレール等詳細図 (改修前・後)	E - 05	電灯設備 平面詳細図 (改修前)	M - 05	給排水衛生設備 (改修後) 平面図
A - 05	特記仕様書 (改修その5)	A - 36	雑詳細図 (1)	E - 06	照明器具姿図 (改修後)	M - 06	空調・換気設備 (改修後) 平面図、機器表
A - 06	特記仕様書 (改修その6)	A - 37	雑詳細図 (2)	E - 07	電灯設備 平面詳細図 (改修後)	M - 07	給排水衛生設備 (改修前) 器具表
A - 07	設計概要、案内図、アスベスト調査結果	A - 38	外構図 (改修前)	E - 08	コンセント設備 平面詳細図 (改修前)	M - 08	給排水衛生設備 (改修前) 平面図
A - 08	配置図 仮設計画図 (参考図)	A - 39	外構図 (改修後)	E - 09	コンセント設備 平面詳細図 (改修後)	M - 09	空調・換気設備 (改修前) 平面図、機器表
A - 09	仕上表 (改修前・後)	A - 40	外構詳細図 (1)	E - 10	弱電設備 平面詳細図 (改修前)		
A - 10	平面詳細図 (改修前)	A - 41	外構詳細図 (2)	E - 11	弱電設備 平面詳細図 (改修後)		
A - 11	平面詳細図 (改修後)	A - 42	外構詳細図 (3)	E - 12	電気仮設計画図1 (参考図)		
A - 12	屋根伏図 (改修前・後)	A - 43	既存 車寄せ・物置詳細図	E - 13	電気仮設計画図2 (参考図)		
A - 13	天井伏図 (改修前・後)	A - 44	新設 駐輪場・物置詳細図				
A - 14	立面図 (改修前)	A - 45	仮設足場計画図 (参考図)				
A - 15	立面図 (改修後)	A - 46	参考工程表				
A - 16	矩計図 (1) (改修前・後)						
A - 17	矩計図 (2) (改修前・後)						
A - 18	断面詳細図 (改修前・後)						
A - 19	展開図 (1) (改修前)						
A - 20	展開図 (1) (改修後)						
A - 21	展開図 (2) (改修前)						
A - 22	展開図 (2) (改修後)						
A - 23	展開図 (3) (改修前)						
A - 24	展開図 (3) (改修後)						
A - 25	展開図 (4) (改修前)						
A - 26	展開図 (4) (改修後)						
A - 27	建具キープラン (改修前・後)						
A - 28	建具表 (1) (改修前・後)						
A - 29	建具表 (2) (改修前・後)						
A - 30	建具表 (3) (改修前・後)						

	設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2026.03		A1-NonScale A3-NonScale	ひまわり園改修工事	図面表	A-00

工事名	ひまわり園改修工事
-----	-----------

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 春日部市大倉4 9 6番地4 5 5
2. 敷地面積 4. 5 0 3. 7 6㎡ (全体計画事業敷地面積)
3. 工事種目 (建物概要)

(工事対象)	ひまわり園棟	建築物概要は案内図参照
位置 1	外構図、位置詳細図参照	
位置 2	外構図、位置詳細図参照	
4. 工事内容 ひまわり園棟改修工事一式

屋根改修工事 (塗装塗り替え)	
外壁改修工事 (塗装塗り替え)	
内部建具改修工事	
各室内装改修工事 (床張替え、壁仕上更新、一部天井塗装)	
クリーニング	
電気設備工事	
機械設備工事	
5. 工期

契約工期	契約書による
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	担当者と協議による
現場代理人の現場への常駐を要しない期間	現場施工に着手するまで
現場施工期間	担当者と協議による
6. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
また、本契約で実施される業務と一般的に考えられるものは本契約に含まれる。

II 建築改修工事仕様

- 1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて「春日部市建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。
法令・基準・仕様書等は原則として施工時において最新のものを適用する。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
- 2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
- 3) 本特記仕様書の表記
 - 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 ○印と※の場合は、○のみを適用する。
 - 3) 特記事項に記載の〔 . . . 〕内の表示番号は、「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
 - 4) 特記事項に記載の〔 . . . 〕内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
 - 5) 特記事項に記載の〔 . . . 〕内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
 - 6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、〔 . . . 〕内は製品名を示す。
 - 7) 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針」による特定調達品目のうち、「判断基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択するよう努めるものとする。
なお、□印は設計図書で定めのある品目を示す。
 - 8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項目	特記事項
1-1	① 一般共通事項 1	<p>① 通用基準等</p> <p>※埼玉県建築工事実務要領に記載の要領等 (参考図書) ※建築工事監理指針(国土交通省監修)(参考図書) ※建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修) なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。</p> <p>② 条件明示事項</p> <p>保険の種類 (1.1.3) ※法定外の労災保険(工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの) ※建設工事保険等(工事目的物及び工事材料等を対象とするもの) ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間</p> <p>③ 工事実績情報の登録</p> <p>※行う(請負代金額500万円以上、10日以内に登録) ・行わない [(1.1.4)][1.1.8]</p> <p>④ 適用区分</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速(Vo=34m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ○積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域・別表(30cm) ○大地震時の非構造部材の変形追従性能を確認する場合の層間変形角 ○1/200 ・1/150 ・1/120 ・図示() 確認箇所()</p> <p>⑤ 別契約の関連工事</p> <p>※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。[1.1.7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。</p> <p>6 施工に注意を要する区域等</p> <p>本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [(1.1.12、13) 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物</p> <p>⑦ 工事の記録</p> <p>春日部市建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1.2.4][1.6.6]</p> <p>⑧ 電気保安技術者</p> <p>適用する [(1.3.3)][1.3.1]</p> <p>⑨ 施工条件</p> <p>施工時間 (1.3.5)[1.3.5] ※行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉所日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間指定期間()</p> <p>施工時間以外の施工条件 ○図示による</p> <p>○工事の乗り込みはひまわり園の引越しが完了した後とする。</p> <p>○隣接している仮ひまわり園棟で施設が運用されているため、登下園時に動線交差が発生しないように計画する。</p> <p>○隣接している仮ひまわり園棟で施設が運用されているため、施設担当者との調整の上、仮設を設置する。 利用者用駐車場、施設への利用者動線を確保する。 工事による停電と施設運営日が重なる場合、運営時間の通電を確保する。</p> <p>○隣接して施設の解体工事中のため、解体工事施工者と調整の上、仮設を設置する。</p> <p>○工期後半に増築等工事が始まるため、工事施工者と調整の上、仮設を変更する。</p>
	⑩ 施工中の安全確保	<p>本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる劣[1.3.7]働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者(統括安全衛生管理義務者)とする。 建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.11]</p>
	⑪ 環境保全等	<p>引渡しを要するもの [(1.3.12)][1.1.12] ※無し(全て構外搬出適正処理) ・有り(※図示 ・) 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し(資源の有効な利用の促進に関する法律)「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。</p>
	⑫ 発生材の処理等	<p>受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は[1.4.2]埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。</p>
	⑬ 県産品の使用	<p>建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び[1.4.1][1.4.3]性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p>
	⑭ 環境への配慮	<p>※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から④すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等取得していること ⑤ 製造又は施工の業績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断基準に従い、あらかじめ「木材・木質製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁)に準拠した証明書を監督員に提出する。</p>
	⑮ 材料の品質等	<p>⑩ 発生材の処理等</p> <p>本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる劣[1.3.7]働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者(統括安全衛生管理義務者)とする。 建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.11]</p> <p>引渡しを要するもの [(1.3.12)][1.1.12] ※無し(全て構外搬出適正処理) ・有り(※図示 ・) 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し(資源の有効な利用の促進に関する法律)「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。</p> <p>受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は[1.4.2]埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。</p> <p>建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び[1.4.1][1.4.3]性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から④すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等取得していること ⑤ 製造又は施工の業績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断基準に従い、あらかじめ「木材・木質製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁)に準拠した証明書を監督員に提出する。</p>

⑯ 石綿含有建材の調査	<p>調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料(アスベスト含有調査報告書) ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>簡所</td> <td>簡所</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>簡所</td> <td>簡所</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>簡所</td> <td>簡所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p>	材料名	定性分析方法	定量分析方法	-	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	-	簡所	簡所	-	簡所	簡所	-	簡所	簡所						
材料名	定性分析方法	定量分析方法																				
-	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																				
-	簡所	簡所																				
-	簡所	簡所																				
-	簡所	簡所																				
⑰ 施工計画書	<p>※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承諾を受ける。 ※総合施工計画書(工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む) ○分別体系等の計画書 ○産業廃棄物処理計画書(収集運搬許可・産業廃棄物許可及び委託契約書を含む) ○防水改修工事施工計画書(下地処理を含む) ○外壁改修工事施工計画書() ○建具改修工事施工計画書() ○ガラス改修工事施工計画書() ○内装改修工事施工計画書() ○塗装改修工事施工計画書() ○耐震改修工事施工計画書() ○電気・機械設備改修工事施工計画書(電気・機械設備がある場合のみ) ○その他監督員が必要と認めるもの</p>																					
⑱ 技能士	<p>[1.6.2][1.3.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用技能士</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>○とび作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・フタト防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セプト防水工事作業 ○ローグ防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質アクリル樹脂工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>・外装作業 ・内外装板金作業 ○石膏作業 ・タイル張り作業 ○建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入工事作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>○ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ○自動ドア施工作業 ・建築フィルム作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ○木質系床仕上げ工事作業 ○鋼床下地工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事作業 ・保温保冷工事作業 ○塗装作業 ・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>○鉄筋組立て作業 ○型枠工事作業 ・とび作業 ・構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・コンクリートポン工作業</td> </tr> </tbody> </table>	工事種別	適用技能士	仮設工事	○とび作業	防水改修工事	・フタト防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セプト防水工事作業 ○ローグ防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質アクリル樹脂工法防水工事作業	外壁改修工事	・外装作業 ・内外装板金作業 ○石膏作業 ・タイル張り作業 ○建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入工事作業	建具改修工事	○ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ○自動ドア施工作業 ・建築フィルム作業	内装改修工事	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ○木質系床仕上げ工事作業 ○鋼床下地工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事作業 ・保温保冷工事作業 ○塗装作業 ・建築塗装作業	耐震改修工事	○鉄筋組立て作業 ○型枠工事作業 ・とび作業 ・構造物鉄工作業	その他	・コンクリートポン工作業					
工事種別	適用技能士																					
仮設工事	○とび作業																					
防水改修工事	・フタト防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セプト防水工事作業 ○ローグ防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質アクリル樹脂工法防水工事作業																					
外壁改修工事	・外装作業 ・内外装板金作業 ○石膏作業 ・タイル張り作業 ○建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入工事作業																					
建具改修工事	○ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ○自動ドア施工作業 ・建築フィルム作業																					
内装改修工事	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ○木質系床仕上げ工事作業 ○鋼床下地工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事作業 ・保温保冷工事作業 ○塗装作業 ・建築塗装作業																					
耐震改修工事	○鉄筋組立て作業 ○型枠工事作業 ・とび作業 ・構造物鉄工作業																					
その他	・コンクリートポン工作業																					
⑲ 化学物質の濃度測定	<p>[1.5.9][1.7.9]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象化学物質</th> <th>判定基準</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m³ (0.08ppm) 以下</td> <td>※厚生労働省</td> </tr> <tr> <td>トルエン</td> <td>260 μg/m³ (0.07ppm) 以下</td> <td>が定める指針</td> </tr> <tr> <td>キシレン</td> <td>200 μg/m³ (0.05ppm) 以下</td> <td>値、量単位を</td> </tr> <tr> <td>エチルベンゼン</td> <td>3,800 μg/m³ (0.88ppm) 以下</td> <td>換算は25℃</td> </tr> <tr> <td>スチレン</td> <td>220 μg/m³ (0.05ppm) 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m³ (0.04ppm) 以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ① 機体の採取方法 ※吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法) ・吸引方式(アクティブ法) ・拡散方式(パッシブ法) ② アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。 ③ パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHMT-吸光度法のうち採取機器に適合した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。 測定対象室 ○監督員の指定する室(3室) ・図示 測定箇所数 ※(1) ・図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 報告書 ※2部 ○ASPによる報告</p>	対象化学物質	判定基準	備考	ホルムアルデヒド	100 μg/m ³ (0.08ppm) 以下	※厚生労働省	トルエン	260 μg/m ³ (0.07ppm) 以下	が定める指針	キシレン	200 μg/m ³ (0.05ppm) 以下	値、量単位を	エチルベンゼン	3,800 μg/m ³ (0.88ppm) 以下	換算は25℃	スチレン	220 μg/m ³ (0.05ppm) 以下		パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³ (0.04ppm) 以下	
対象化学物質	判定基準	備考																				
ホルムアルデヒド	100 μg/m ³ (0.08ppm) 以下	※厚生労働省																				
トルエン	260 μg/m ³ (0.07ppm) 以下	が定める指針																				
キシレン	200 μg/m ³ (0.05ppm) 以下	値、量単位を																				
エチルベンゼン	3,800 μg/m ³ (0.88ppm) 以下	換算は25℃																				
スチレン	220 μg/m ³ (0.05ppm) 以下																					
パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³ (0.04ppm) 以下																					
20 中間検査	<p>中間検査 ※行う(春日部市工事検査規則) ・行わない [(1.7.2)][1.5.1] 中間検査実施回数() 実施段階() 監督員の指示による 中間検査成績評定 ※対象外 ・対象(春日部市工事成績評定要領)</p>																					
⑳ 完成図等	<p>[1.8.1~3][1.6.1~3] 監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第1に示す書類を原則電子データで提出する A3見開き製本 3部 (表紙紙の記載事項は監督員の指示による)</p> <p>完成図等の種類及び記入内容 完成(竣工)図、施工図(※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの) 図面情報電子化媒体 ※CD-R又はDVD-R 1部 CADデータの形式 ※SXF(sfc) ○DXF ○JWW ○PDF ・別添形式(該当する場合) 埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。 CADデータのバージョンは監督員と協議する。 JWWのファイル内に環境設定ファイル(JWF)を保存すること。 印刷設定ファイル等の印刷に必要なファイルを保存すること。 PDFは1774kとして保存すること。</p> <p>メーカーリスト 1部 保全に関する資料 1部 (通常取扱いに注意を要するもの使用方法を解説する)</p> <p>完成写真(春日部市建築工事写真作成要領に基づき作成する) 工事写真帳の一部として添付する 原本(電子媒体:撮影時のJPEG)を各1部提出 工事対象全量(改修前、改修後)を黒板などで撮影したものを添付すること。</p>																					

㉔ 保証書	<p>防水工事 ※屋上防水 ・外壁防水 ・金属屋根 (1.6.4) 建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。 上記以外 ○1部提出</p>
㉕ 工事用図面	<p>工事用着手時原設計図 縮小製図(A3版 A3版以上の設計図はA3に縮小) ※要(5部) ・不要</p>
㉖ その他	<p>○予備材料 ※監督員の指示による ○下請契約 ※全体及び市内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。</p>
㉗ ① 情報共有システム	<p>本工事は「春日部市営繕工事情報共有システム実施要領」に基づく、情報共有システム活用対象工事である。なお、情報共有システムで取り扱う工事関係書類は、同要領別紙「情報共有システム対象書類一覧表」によるものとする。 ○発注者指定型 (○電子媒体納品 ・遠隔現場 ・受注者希望型 ・紙媒体納品 ・発注者用通信機器)</p>
㉘ ② 設計協力メーカー	<p>本工事を設計する上で、協力したメーカー名は以下のとおり。(企業名順不同)</p> <p>本工事で採用するメーカーを指定するものではない。仕様書に表示されている性能がある製品を発注者が承諾することにより、採用される。</p> <p>建築工事 地盤改良 ・伊藤忠建材㈱ ・児玉コナクリ工業㈱ ・生和ワックス㈱ 鋼製建具 7&I ・三共ワック㈱ ・三共立山㈱ ・剛後藤7&I製作所</p> <p>スチール製品 トイアース ・㈱中西製作所 ・小松ワール工業㈱</p> <p>ライク イクサ7&I製品 ・㈱ワック ・剛後藤7&I製作所 ・三共立山㈱</p> <p>電気設備工事 配電盤 ・泰和電気工業㈱ 照明機器 ・パナソニック㈱ ・東芝エレクトリック</p> <p>機械設備工事 空調機 ・ダイト工業㈱ ・パナソニック㈱ ・三菱電機㈱ 全熱交換器 ・ダイト工業㈱ ・パナソニック㈱ ・三菱電機㈱ 換気扇 ・三菱電機㈱ ・パナソニック㈱ ・7&I 什器 ・TOTO㈱ ・㈱ワック</p> <p>本工事で指定材料になるもの、指定施工者は以下のとおり。</p> <p>送配電事業者 東京電力パワーグリッド㈱ 電気供給事業者 東京電力パワーグリッド㈱ 機械設備 委託先 7&I㈱ WiFiネットワーク - 電話・通信設備 -</p>
㉙ ③ 指定メーカー・施工者 管理者	

設計年月日	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03	A1-1: - A3-1: -	ひまわり園改修工事	特記仕様書(改修その1)	A-01

春日部市
福祉部 障がい者支援課

<p>② 仮設工事</p> <p>1 騒音・粉じん等の対策</p> <p>② 足場等</p> <p>③ 既存部分の養生</p> <p>4 仮設間仕切り</p> <p>5 監督員事務所</p> <p>⑥ 現場表示板</p> <p>⑦ 工事用水</p> <p>⑧ 工事用電力</p> <p>⑨ 工事用搬入路</p> <p>⑩ 仮囲い</p> <p>⑪ 交通誘導員</p> <p>12 快適トイレ</p>	<p>・防音パネル ・防音シート</p> <p>防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示</p> <p>[2.1.3]</p> <p>[2.2.1][表2.2.1]</p> <p>「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外部足場 ○設置する(設置範囲 ○図示) ・設置しない</p> <p>防護シート ○設置する(設置範囲 ○図示) ・設置しない</p> <p>内部足場 ○設置する(○脚立、足場板等 ○内部足場) ・設置しない</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法</p> <p>種別(・A種・B種・C種・D種・E種)</p> <p>○種:利用可能なエレベーター(・図示)</p> <p>D種:利用可能な階段(・図示)</p> <p>墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省)による。</p> <p>○アルハルネス型墜落制止用器具を用いる。</p> <p>幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する。(労働安全衛生規則第561条の2)</p> <p>[2.3.1]</p> <p>既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等)</p> <p>既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等)</p> <p>既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(○ビニルシート等)</p> <p>保管場所(・図示) ○協議による</p> <p>固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・図示 ○協議による</p> <p>既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。</p> <p>[2.3.2][表2.3.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・木</td> <td>・せつこうボード(9.5mm)</td> <td>・無し</td> <td>※有り</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・軽量鉄骨</td> <td>・種類()</td> <td>・片面</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・合板(9.0mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・材種()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※C種 単管 防災シート</p> <p>充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上)</p> <p>仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> <th>充填材</th> </tr> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・無し</td> <td>※図示</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・片面</td> <td></td> <td>・有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無し</td> </tr> </table> <p>充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上)</p>	種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材	・A種	・木	・せつこうボード(9.5mm)	・無し	※有り	・B種	・軽量鉄骨	・種類()	・片面				・合板(9.0mm)					・材種()			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材	※木製	※合板張り程度	・無し	※図示	か所			・片面		・有り					・無し	<p>③ 防水改修工事</p> <p>1 施工数量調査</p> <p>2 降雨等に対する養生方法(とい共)</p> <p>3 既存防水の処理</p> <p>4 既存下地の処理</p> <p>5 アスファルト防水</p> <p>6 改質アスファルトシート防水</p> <p>7 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>8 塗膜防水</p> <p>⑨ シーリング</p> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2.3, 7.8]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・リッジ工法 ・ボンドプレーカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない <p>シーリング材の種類、施工箇所</p> <p>下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>外壁目地</td> <td>ポリウレタン系シーリング(PU-1)</td> </tr> <tr> <td>建具廻り</td> <td>ポリウレタン系シーリング(PU-1)</td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所</p> <p>・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法</p> <p>※改修標準仕様書3.7.3(1)による</p> <p>・図示による</p> <p>接着性試験</p> <p>※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>⑩ とい</p> <p>といその他の材種等 [3.8.2, 3]</p> <p>※配管用鋼管 ○鍍銀ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレン</p> <p>・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類)</p> <p>とい受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔</p> <p>材種</p> <p>※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)</p> <p>形状</p> <p>※市販品</p> <p>取付け間隔</p> <p>※改修標準仕様書3.8.2による</p> <p>多雪地域 ・適用する ○適用しない</p> <p>防露材のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による</p> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・るく屋根用たて形I型</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・80 ・100 ・125 ・150</td> </tr> <tr> <td>・るく屋根用横形I型</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・80 ・100 ・125 ・150</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・50 ・80 ・100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・差し込み式</td> <td>・50 ・75 ・100</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・50 ・80 ・100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・差し込み式</td> <td>・50 ・75 ・100</td> </tr> </table> <p>たてどい受金物の取付</p> <p>※図示</p> <p>ルーフトレンの取付</p> <p>※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	外壁目地	ポリウレタン系シーリング(PU-1)	建具廻り	ポリウレタン系シーリング(PU-1)	種別	呼び	施工箇所	・るく屋根用たて形I型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150	・るく屋根用横形I型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150	・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100		・差し込み式	・50 ・75 ・100	・バルコニー用	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100		・差し込み式	・50 ・75 ・100	<p>④ 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査</p> <p>4-1 4-2 4-3</p> <p>モルタル張り仕上げ外壁</p> <p>コンクリート打放し仕上げ外壁</p> <p>④-4 塗り仕上げ外壁等</p> <p>② 仕上塗材仕上げ</p> <p>3 マスチック塗材塗り</p> <p>4-5 外壁用塗膜防水材塗り</p> <p>調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1.6.2, 3]</p> <p>調査時期 ・外壁仕上げ等除去撤去前 ・外壁仕上げ等除去撤去後</p> <p>調査方法</p> <p>ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。</p> <p>モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。</p> <p>コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。</p> <p>塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示</p> <p>調査報告書の部数 ・2部</p> <p>本工事対象外</p> <p>[4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法 ・欠損部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>○高圧水洗工法 加圧力 ※9.8~14.7Mpa</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離削工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※上記以外の既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>下地調整 ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル [4.5.2]</p> <p>・その他特殊な工法等(既存塗膜等に含有する石粉の除去を行う場合など。下地調整含む。)</p> <p>※図示による</p> <p>[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>新規仕上塗材の種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td>・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・さざ波状 ・平坦状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状じゆらく ・京壁状じゆらく</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平坦状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・上塗材 ・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状 ○凸部処理 ・凹凸状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・複層塗材Si</td> <td>・耐候性 ※耐候形3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○複層塗材E</td> <td>・上塗材</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・複層塗材RE</td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・樹脂 ※アクリル系</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・外観 ※つやあり ・つやなし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形複層塗材RE</td> <td>・メタリック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材E</td> <td>・平坦状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・可とう形改修塗材RE</td> <td>・耐候性 ※耐候形3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・可とう形改修塗材CE</td> <td>・上塗材</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・樹脂 ※アクリル系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>種類 ・A種 ・B種 [4.1.5][4.6.2][表4.6.1]</p>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法 ・欠損部 改修工法	○高圧水洗工法 加圧力 ※9.8~14.7Mpa	※既存仕上げ面全体 ・図示 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)		・塗膜はく離削工法	※既存仕上げ面全体 ・図示		・水洗い工法	※上記以外の既存仕上げ面全体 ・図示		新規仕上塗材の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S	・砂壁状			・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)			・外装薄塗材E	・さざ波状 ・平坦状			・可とう形外装薄塗材E	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)			・防水形外装薄塗材E	・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)			・外装薄塗材S	・砂壁状じゆらく ・京壁状じゆらく		・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平坦状			・外装厚塗材Si	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし			・外装厚塗材E	・上塗材 ・適用する ・適用しない		○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ○凸部処理 ・凹凸状			・複層塗材Si	・耐候性 ※耐候形3種			○複層塗材E	・上塗材			・複層塗材RE	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系			・防水形複層塗材CE	・樹脂 ※アクリル系			・防水形複層塗材E	・外観 ※つやあり ・つやなし			・防水形複層塗材RE	・メタリック		・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・平坦状 ・さざ波状 ・ゆず肌状			・可とう形改修塗材RE	・耐候性 ※耐候形3種			・可とう形改修塗材CE	・上塗材			・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系				・樹脂 ※アクリル系				・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック			<p>⑤ 建具改修工事</p> <p>① 改修工法(建具点検調整を含む)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製建具</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・内部</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>○鋼製軽量建具</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>○木製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合</p> <p>建部分の開口の開け方 ※図示</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示</p> <p>建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>2 防火戸</p> <p>適用箇所 ※建具表による</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動を行う(※建具表による) ・行わない</p> <p>3 見本の製作等</p> <p>建具見本の製作 ・行う(建具符号:) ・行わない [5.1.4]</p> <p>建具見本製作の目的等:() ・行わない [5.1.5]</p> <p>特殊な建具の取組 ・行う(建具符号:) ・行わない</p> <p>4 防犯建物部品</p> <p>適用箇所(・建具表による) () [5.1.7]</p> <p>⑤ アルミニウム製建具</p> <p>性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1, 2]</p> <p>耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td></td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシ</p> <p>遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 ※建具表による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種</p> <p>着色 ・標準色</p> <p>屋内の建具 種別 ○BB-1種 ○BB-2種</p> <p>着色 ○標準色</p> <p>結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板等 ※図示</p> <p>6 網戸等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)織材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>7 樹脂製建具</p> <p>8 鋼製建具</p> <p>⑨ 鋼製軽量建具</p> <p>性能値等 [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>防音ドア、防音サッシ</p> <p>遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア</p> <p>面内変形追随性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料</p> <p>鋼板 ○亜鉛めっき鋼板 ・ヒノキ被覆鋼板 ・がら鋼板 ・スチール鋼板</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板の厚さ</p> <p>大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による</p> <p>上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具	-	○	○建具表による	・樹脂製建具	-	-	・建具表による	・鋼製建具	・外部	-	・建具表による		・内部	-	・建具表による	○鋼製軽量建具	-	○	○建具表による	・ステンレス製建具	-	-	・建具表による	○木製建具	-	-	○建具表による	種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所	・A種	S-4	A-3	W-4	※図示による	・B種	S-5			※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	※図示による	種類	材種	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)織材	1.5mm	網目寸法15mm	<p>設計年月日</p> <p>2026.03</p> <p>春日部市 福祉部 障がい者支援課</p> <p>縮尺</p> <p>A1-1: -</p> <p>A3-1: -</p> <p>工事名称</p> <p>ひまわり園改修工事</p> <p>図面名称</p> <p>特記仕様書(改修その2)</p> <p>図面番号</p> <p>A-02</p>
	種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材																																																																																																																																																																																																																																																			
・A種	・木	・せつこうボード(9.5mm)	・無し	※有り																																																																																																																																																																																																																																																				
・B種	・軽量鉄骨	・種類()	・片面																																																																																																																																																																																																																																																					
		・合板(9.0mm)																																																																																																																																																																																																																																																						
		・材種()																																																																																																																																																																																																																																																						
材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材																																																																																																																																																																																																																																																				
※木製	※合板張り程度	・無し	※図示	か所																																																																																																																																																																																																																																																				
		・片面		・有り																																																																																																																																																																																																																																																				
				・無し																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																																																																																																							
外壁目地	ポリウレタン系シーリング(PU-1)																																																																																																																																																																																																																																																							
建具廻り	ポリウレタン系シーリング(PU-1)																																																																																																																																																																																																																																																							
種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																						
・るく屋根用たて形I型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																																																																																																						
・るく屋根用横形I型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																																																																																																						
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100																																																																																																																																																																																																																																																						
	・差し込み式	・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																																																																																																						
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100																																																																																																																																																																																																																																																						
	・差し込み式	・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																																																																																																						
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																																																																																																																																																						
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法 ・欠損部 改修工法																																																																																																																																																																																																																																																						
○高圧水洗工法 加圧力 ※9.8~14.7Mpa	※既存仕上げ面全体 ・図示 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)																																																																																																																																																																																																																																																							
・塗膜はく離削工法	※既存仕上げ面全体 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																							
・水洗い工法	※上記以外の既存仕上げ面全体 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																							
新規仕上塗材の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																					
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S	・砂壁状																																																																																																																																																																																																																																																						
	・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)																																																																																																																																																																																																																																																						
	・外装薄塗材E	・さざ波状 ・平坦状																																																																																																																																																																																																																																																						
	・可とう形外装薄塗材E	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																						
	・防水形外装薄塗材E	・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																						
	・外装薄塗材S	・砂壁状じゆらく ・京壁状じゆらく																																																																																																																																																																																																																																																						
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平坦状																																																																																																																																																																																																																																																						
	・外装厚塗材Si	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																																																																																																																																																																						
	・外装厚塗材E	・上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																						
○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ○凸部処理 ・凹凸状																																																																																																																																																																																																																																																						
	・複層塗材Si	・耐候性 ※耐候形3種																																																																																																																																																																																																																																																						
	○複層塗材E	・上塗材																																																																																																																																																																																																																																																						
	・複層塗材RE	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																																																																																																																																																						
	・防水形複層塗材CE	・樹脂 ※アクリル系																																																																																																																																																																																																																																																						
	・防水形複層塗材E	・外観 ※つやあり ・つやなし																																																																																																																																																																																																																																																						
	・防水形複層塗材RE	・メタリック																																																																																																																																																																																																																																																						
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・平坦状 ・さざ波状 ・ゆず肌状																																																																																																																																																																																																																																																						
	・可とう形改修塗材RE	・耐候性 ※耐候形3種																																																																																																																																																																																																																																																						
	・可とう形改修塗材CE	・上塗材																																																																																																																																																																																																																																																						
	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																																																																																																																																																							
	・樹脂 ※アクリル系																																																																																																																																																																																																																																																							
	・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック																																																																																																																																																																																																																																																							
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																					
○アルミニウム製建具	-	○	○建具表による																																																																																																																																																																																																																																																					
・樹脂製建具	-	-	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																					
・鋼製建具	・外部	-	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																					
	・内部	-	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																					
○鋼製軽量建具	-	○	○建具表による																																																																																																																																																																																																																																																					
・ステンレス製建具	-	-	・建具表による																																																																																																																																																																																																																																																					
○木製建具	-	-	○建具表による																																																																																																																																																																																																																																																					
種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																				
・A種	S-4	A-3	W-4	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																				
・B種	S-5			※図示による																																																																																																																																																																																																																																																				
・C種	S-6	A-4	W-5	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	材種	線径	網目																																																																																																																																																																																																																																																					
・防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																																																																					
・防鳥網	ステンレス(SUS304)織材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																																																					

⑪ 木製建具 (建具点検調整)	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	[5.7.2~4]	
	・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(a)による		
	表面材の合板の種類		
	合板の種類	規格等	備考
	・普通合板 [G]	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)	
	・天然木化粧合板 [G]	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)	
	・特殊加工化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)	
	・MDF [G]		
	表面板の厚さ ※[表5.7.6]による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する		
	・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※30mm ・建具表による		
	・ふすま 張りの種別 (Ⅰ型 Ⅱ型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (兼地) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による	・新鳥の子又はビニル紙程度 ・生地縁 (ウレタンクリアー塗装)	
	・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による		
	・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による		
	枠及びくつずりの材料 ・建具表による		
	⑫ 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5.8.1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.3]による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.4]による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※[表5.8.5]による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ○建具表による ・図示 錠前類 シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠 クローザ類	[5.8.1~3]
⑬ 鍵	マスターキー ・製作する(・新規 ・既存マスター合わせ) ○製作しない [5.8.4] その他の鍵 ※各室3本1組(室名札付き) 鍵箱 ・無 ○有		
⑭ 自動ドア開閉装置 (建具点検調整)	戸の開閉方式 ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・種類・開閉方式 () ・耐電圧 () ・温度上昇 () ・耐久性(サイクル) () ・防錆 () ・電源 () ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧 () ・温度上昇 () ・耐久性(サイクル) () ・防錆 () ・電源 () ・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧 () ・防錆 () ・防滴 () ・電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ・行わない	[5.9.2, 3]	
15 自閉式上り引戸装置	性能 ※[表5.10.1]による	[5.10.3]	
16 重量シャッター			
17 軽量シャッター			
18 オーバーヘッドドア			

⑮ ガラス	[3.7][5.14.2~4]		
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。			
網入板ガラス 網又は網の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による			
強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ○3類			
複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン			
ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ・図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示による 樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ・図示による			
20 ガラスブロック			
21 ガラス用フィルム	※施工箇所は建具表による		
	種類	記号	その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
	・日射調整フィルム [G]	※SC-1	・SC-2 可視光線透過率:65%以上
	・低放射フィルム	・LE	
	・衝撃破壊対応ガラス	・GI-1	・GI-2
	・飛散防止フィルム		
	・層間変位破壊対応ガラス	・GD-1	・GD-2
	・ガラス貫通防止フィルム	・SF	
	品質 JIS A 5769 による		
	熱割れ計算書 ※要 ・不要 第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要		

⑯ 内装改修工事	① 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井の改修範囲 ※壁面より高側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示
	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2] ○下地材とも(○図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内
	③ 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] ※[4.3.10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示) ・図示
	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2] ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(b)による
	5 製材 [G]	
	6 造作用集材材 [G]	
	7 造作用単板積層材 [G]	
	⑧ 合板等	○「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2] 施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 床下地 ※5.5 ○ラワン ※1類 ・2類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・適用する ○適用しない
		○「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G] 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ(mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 床下地 ※2級以上 ・1級 ※1類 ・特類 ※C-D以上 ・ ※12 ・適用する() ○適用しない()
		・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G] 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防虫処理の適用 ・1類 ・適用する ・2類 ・適用しない
		・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] 施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理の適用 ・1類 ・適用する ・2類 ・適用しない
		・パーティクルボード [G] 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm) ※13タイプ ・ ※P又はM ・ ※15
	⑨ 接合具等	造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3] ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) ・(形状: 寸法: 材質:)
	⑩ 接着剤	接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3, 4]
	⑪ 防菌・防蟻処理	・薬剤の加圧注入による防菌、防蟻処理 [6.5.5] 適用部材 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 ・薬剤の塗布等による防菌、防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※薬剤の製造所の仕様による ※JIS K 1571に適合又は同等品 ・薬剤の接着剤への混入による防菌、防蟻処理 適用部位 () ・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ()

12 内部間仕切組及び床組み	間仕切組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.6] ※杉又は松 床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松
13 窓、出入口その他	窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7] 角元枠、水廻りの下枠及び敷居 ※ひのみ その他 ※松又は杉
⑭ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外(※25形 ・19形) 屋内(※19形 ・25形) [6.6.2~4] 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びピンサートの間隔 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示 既存の埋込みピンサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ()箇所 引張試験にて確認する強度 ※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の 単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400N程度 ()N ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふとこるが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示
⑮ 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 [6.7.3, 4][表6.7.1] ※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による
⑯ ビニル床シート [G]	[6.8.2, 3] 種類の記号 色柄 厚さ(mm) 備考 ※FS(複層ビニル床シート) ○7・8柄 ○抗菌性 ・柄物
17 ビニル床タイル [G]	
18 特殊機能床材	
⑰ ビニル幅木	材質の種類 ○軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2] 高さ(mm) ※60 ○75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上
20 ゴム床タイル	
21 カーペット敷き [G]	
22 合成樹脂塗床	
⑱ フローリング張り [G]	フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2~6] ※改修標準仕様書6.11.2(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 単層フローリング(フローリングボード1等) 工法 ・釘止め工法(・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 間伐材等の適用 ・する ・しない 単層フローリング(フローリングブロック1等) 樹種 ・ 厚さ(mm) ・ 大きさ ・ 間伐材等の適用 ・する ・しない 複合フローリング 工法 ○釘止め工法(・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 種別 ・A種 ・B種 ・C種 間伐材等の適用 ・する ・しない 接着工法の場合の不燃緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂フニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り
⑳ 畳敷き	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ○D種(畳床:・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、 発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 畳表: ・C1 ・C2 ○樹脂製(ポリプロピレン)

設計年月日	2026.03	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	A1-1: - A3-1: -	工事名称	ひまわり園改修工事	図面名称	特記仕様書(改修その3)	図面番号	A-03
-------	---------	------------------------	----	--------------------	------	-----------	------	--------------	------	------

7	① 材料	屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3] 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ※次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)																																																																																												
	② 下地調整	塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 [7.2.1~7]																																																																																												
③ 素地ごしらえ	下地調整	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※不透明塗料塗りの場合はRB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>※RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>※RA種 ※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具以外)</td> <td>※RA種 ※RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)</td> <td>※RA種 ※RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>※RA種(注)</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>※RA種(注) ※RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>※RA種(注) ※RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※RA種 ※RB種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)DP以外からDPへ塗替えの場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選択すること。</p>	下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修	木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—	鉄鋼面	※RA種(注) ※RB種	—	亜鉛めっき面	※RA種(注) ※RB種	—	亜鉛めっき面(鋼製建具)	※RA種 ※RB種	—	亜鉛めっき面(鋼製建具以外)	※RA種 ※RB種	・行う ・行わない	コンクリート面(DP以外)	※RA種 ※RB種	・行う ・行わない	ALCパネル面	※RA種(注)	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	※RA種(注) ※RB種	・行う ・行わない	コンクリート面(DP)	※RA種(注) ※RB種	・行う ・行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※RA種 ※RB種	—																																																											
	下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修																																																																																											
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—																																																																																												
鉄鋼面	※RA種(注) ※RB種	—																																																																																												
亜鉛めっき面	※RA種(注) ※RB種	—																																																																																												
亜鉛めっき面(鋼製建具)	※RA種 ※RB種	—																																																																																												
亜鉛めっき面(鋼製建具以外)	※RA種 ※RB種	・行う ・行わない																																																																																												
コンクリート面(DP以外)	※RA種 ※RB種	・行う ・行わない																																																																																												
ALCパネル面	※RA種(注)	・行う ・行わない																																																																																												
押出成形セメント板面	※RA種(注) ※RB種	・行う ・行わない																																																																																												
コンクリート面(DP)	※RA種(注) ※RB種	・行う ・行わない																																																																																												
せっこうボード面及びその他ボード面	※RA種 ※RB種	—																																																																																												
④ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種類 [7.4.2.3]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>A種 ※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">[表7.4.3]</td> <td>新規見え掛り</td> <td>A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-B</td> <td>塗替え</td> <td>A種 ※B種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り</td> <td>A種 ※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 ※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">DP</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(f)(b)による</td> <td>A種(下地調整RA種) ※B種(下地調整RB種) ※C種(下地調整RC種)</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(f)(a)による</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(f)(a)による</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※A種 ※B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">[表7.4.5]</td> <td>新規鋼製建具等</td> <td>※A種 ※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>新規その他</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-B</td> <td>塗替え</td> <td>A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建具等</td> <td>C種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>新規その他</td> <td>C種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>塗替え</td> <td>B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>B種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP	塗替え	A種 ※C種	[表7.4.3]	新規見え掛り	A種	※A種	新規見え隠れ	A種	※B種	新規見え隠れ	A種	※B種	EP-B	塗替え	A種 ※B種	※C種	新規見え掛り	A種 ※B種	※A種	新規見え隠れ	A種 ※B種	※B種	DP	塗替え	7.4.2(1)(f)(b)による	A種(下地調整RA種) ※B種(下地調整RB種) ※C種(下地調整RC種)	新規	7.4.2(1)(f)(a)による	A種	新規	7.4.2(1)(f)(a)による	A種	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	※A種 ※B種 ※C種	[表7.4.5]	新規鋼製建具等	※A種 ※B種	※A種	新規その他	※A種	※B種	塗替え	※A種	※C種	EP-B	塗替え	A種	※B種	新規鋼製建具等	C種	※A種	新規その他	C種	※B種	DP	塗替え	B種	—	新規	B種	—																							
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																																											
鉄鋼面	SOP	塗替え	A種 ※C種																																																																																											
	[表7.4.3]	新規見え掛り	A種	※A種																																																																																										
		新規見え隠れ	A種	※B種																																																																																										
		新規見え隠れ	A種	※B種																																																																																										
	EP-B	塗替え	A種 ※B種	※C種																																																																																										
		新規見え掛り	A種 ※B種	※A種																																																																																										
		新規見え隠れ	A種 ※B種	※B種																																																																																										
	DP	塗替え	7.4.2(1)(f)(b)による	A種(下地調整RA種) ※B種(下地調整RB種) ※C種(下地調整RC種)																																																																																										
		新規	7.4.2(1)(f)(a)による	A種																																																																																										
		新規	7.4.2(1)(f)(a)による	A種																																																																																										
	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	※A種 ※B種 ※C種																																																																																										
		[表7.4.5]	新規鋼製建具等	※A種 ※B種	※A種																																																																																									
新規その他			※A種	※B種																																																																																										
塗替え			※A種	※C種																																																																																										
EP-B		塗替え	A種	※B種																																																																																										
		新規鋼製建具等	C種	※A種																																																																																										
		新規その他	C種	※B種																																																																																										
DP		塗替え	B種	—																																																																																										
		新規	B種	—																																																																																										
⑤ 塗装		[7.5.2~7.12.2]	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td rowspan="2">木部 屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部 屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り(OL)</td> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級(1)級</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-B)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)</td> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ステン塗り</td> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、鉄鋼面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えのしきり止め ※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしきり止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えのしきり止め ※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程1の下塗りをしきり止めシーラーとする</p> <p>注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種類に注意すること。</p> <p>・高日射反射塗料塗り [表7.2.2] ・RA種 ※RB種 ・RC種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="3">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付量(kg/m²)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>壁根用高日射</td> <td>2級</td> <td>・1級・2級 塗料製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>反射塗料</td> <td>2級</td> <td>・1級・2級 塗料製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table> <p>クリヤラッカー塗りA種工程2の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用しない ・適用する(着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤) <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>オイルステイン塗りの工程等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造所の仕様による 	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部 屋外	※B種	※A種	※B種	※B種	木部 屋内	※B種	※B種	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※B種	※B種	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種	※B種	※B種	・クリヤラッカー塗り(OL)	※B種	A種	※B種	A種	○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級(1)級	—	—	亜鉛めっき鋼面	—	—	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-B)	コンクリート面等	※B種	※B種	屋内の木部	※B種	※A種	○合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種	○ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	※B種	A種	※B種	A種	○ステン塗り	※B種	A種	※B種	A種	・木材保護塗料塗り(WP)	※B種	A種	※B種	A種	工程	塗料その他			塗付量(kg/m ²)	規格番号	規格名称	種類	塗料塗り	JIS K 5675	壁根用高日射	2級	・1級・2級 塗料製造所の仕様による			反射塗料	2級	・1級・2級 塗料製造所の仕様による
塗装の種類		塗装面	工程																																																																																											
			塗替え	新規																																																																																										
○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部 屋外	※B種	※A種																																																																																											
		※B種	※B種																																																																																											
	木部 屋内	※B種	※B種																																																																																											
		※B種	※B種																																																																																											
	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																											
		※B種	※B種																																																																																											
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※B種	※B種																																																																																											
		※B種	※B種																																																																																											
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																											
		※B種	※B種																																																																																											
	・クリヤラッカー塗り(OL)	※B種	A種																																																																																											
		※B種	A種																																																																																											
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級(1)級	—	—																																																																																											
	亜鉛めっき鋼面	—	—																																																																																											
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-B)	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																																											
	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																											
○合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																											
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種																																																																																											
○ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	※B種	A種																																																																																												
	※B種	A種																																																																																												
○ステン塗り	※B種	A種																																																																																												
	※B種	A種																																																																																												
・木材保護塗料塗り(WP)	※B種	A種																																																																																												
	※B種	A種																																																																																												
工程	塗料その他			塗付量(kg/m ²)																																																																																										
	規格番号	規格名称	種類																																																																																											
塗料塗り	JIS K 5675	壁根用高日射	2級	・1級・2級 塗料製造所の仕様による																																																																																										
		反射塗料	2級	・1級・2級 塗料製造所の仕様による																																																																																										
8	耐震改修工事	本工事対象外																																																																																												

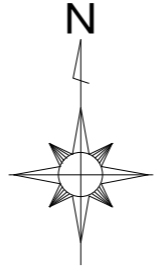
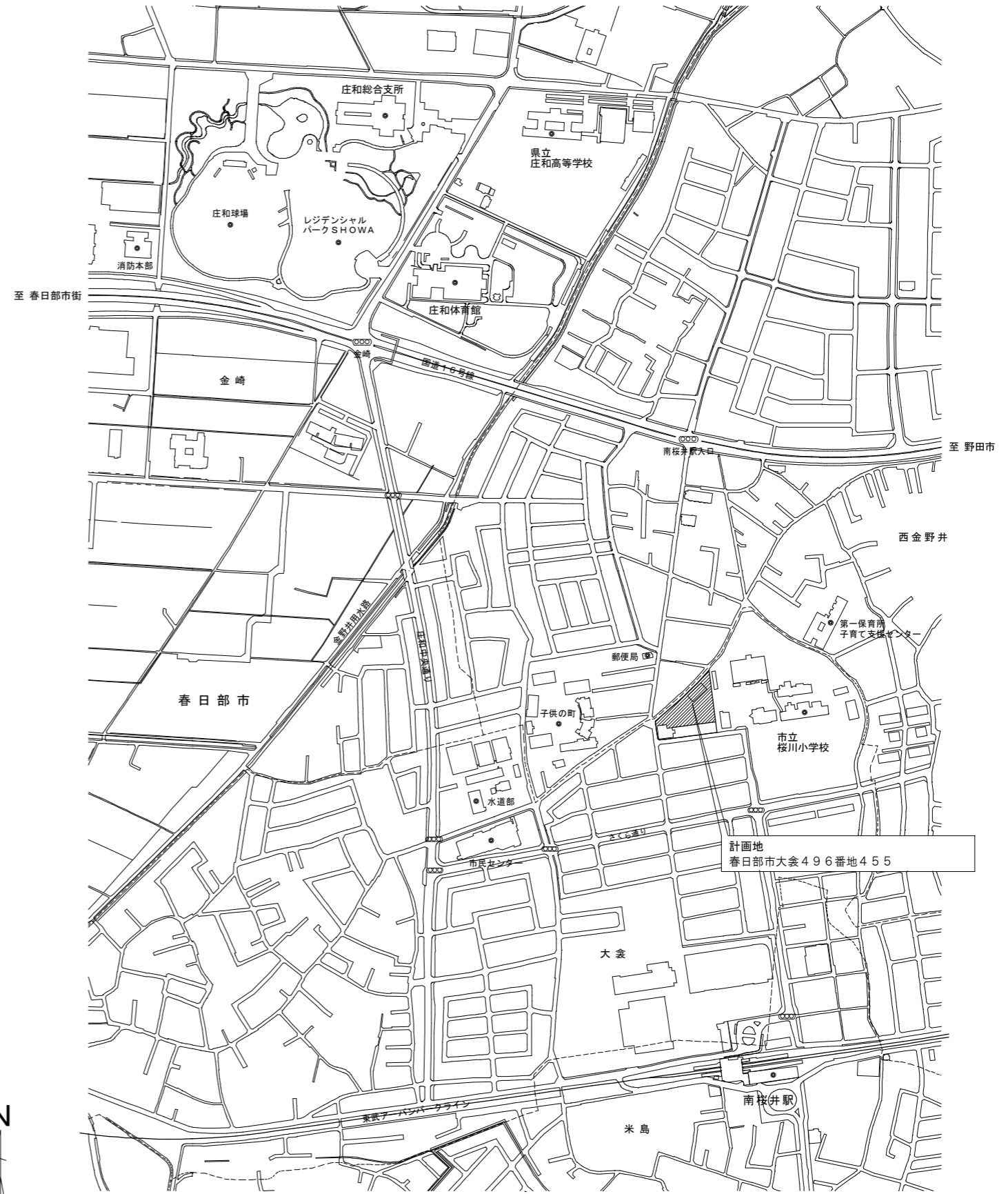
9	① 石綿粉じん濃度測定	測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">測定時期</th> <th rowspan="2">測定場所</th> <th colspan="2">測定点</th> </tr> <tr> <th>測定点</th> <th>測定点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">測定1</td> <td rowspan="3">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定2</td> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口</td> <td>1m/s以下の位置</td> </tr> <tr> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定3</td> <td rowspan="3">処理作業後(掃除機使用後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点(※A3は各1点)</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定4</td> <td rowspan="3">処理作業後(掃除機使用後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定5</td> <td rowspan="3">処理作業後(掃除機使用後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定6</td> <td rowspan="3">処理作業後(掃除機使用後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定7</td> <td rowspan="3">処理作業後(掃除機使用後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定8</td> <td rowspan="3">処理作業後(掃除機使用後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定9</td> <td rowspan="3">処理作業後(掃除機使用後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定10</td> <td rowspan="3">処理作業後(掃除機使用後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各1点</td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定場所	測定点		測定点	測定点	測定1	処理作業前	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	各2点	出入口	各1点	測定2	処理作業中	集じん・排気装置の排出口	1m/s以下の位置	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	測定3	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2点(※A3は各1点)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	出入口	各1点	測定4	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	出入口	各1点	測定5	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	出入口	各1点	測定6	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	出入口	各1点	測定7	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	出入口	各1点	測定8	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	出入口	各1点	測定9	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	出入口	各1点	測定10	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	出入口	各1点
	測定時期	測定場所	測定点																																																																																						
測定点			測定点																																																																																						
測定1	処理作業前	処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	各2点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
測定2	処理作業中	集じん・排気装置の排出口	1m/s以下の位置																																																																																						
		処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
測定3	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2点(※A3は各1点)																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
測定4	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
測定5	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
測定6	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
測定7	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
測定8	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
測定9	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
測定10	処理作業後(掃除機使用後)	処理作業室内	各2又は3点																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																						
		出入口	各1点																																																																																						
② 石綿含有付け材の除去(レベル1)	除去対象範囲 図示	<p>石綿含有付け材(セメント系)の除去(レベル1)方法</p> <p>・ビニールシート等による養生を行う</p> <p>・除去した石綿含有付け材の処分</p> <p>・石綿含有せっこうボード</p> <p>※埋立処分(管理型最終処分)</p> <p>○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板</p> <p>○埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>除去した石綿含有付け材(セメント系)の処分</p> <p>・埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p>																																																																																							
③ 石綿含有成形板の除去(レベル3)	除去対象範囲 図示	<p>石綿含有成形板(セメント系)の除去(レベル3)方法</p> <p>・ビニールシート等による養生を行う</p> <p>・除去した石綿含有成形板の処分</p> <p>・石綿含有せっこうボード</p> <p>※埋立処分(管理型最終処分)</p> <p>○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板</p> <p>○埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>除去した石綿含有付け材(セメント系)の処分</p> <p>・埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p>																																																																																							
④ 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)	除去対象範囲 図示	<p>石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)方法</p> <p>・ビニールシート等による養生を行う</p> <p>・除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分</p> <p>・石綿含有せっこうボード</p> <p>※埋立処分(管理型最終処分)</p> <p>○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板</p> <p>○埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>除去した石綿含有付け材(セメント系)の処分</p> <p>・埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p>																																																																																							
⑤ 鉛含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)	除去対象範囲 図示	<p>鉛含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)方法</p> <p>・ビニールシート等による養生を行う</p> <p>・除去した鉛含有建築用仕上塗材等の処分</p> <p>・鉛含有せっこうボード</p> <p>※埋立処分(管理型最終処分)</p> <p>○鉛含有せっこうボードを除く鉛含有成形板</p> <p>○埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>除去した鉛含有付け材(セメント系)の処分</p> <p>・埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p>																																																																																							
⑥ PCB含有シーリング材処分	除去対象範囲 図示	<p>PCB含有シーリング材の処分方法</p> <p>・ビニールシート等による養生を行う</p> <p>・除去したPCB含有シーリング材の処分</p> <p>・PCB含有せっこうボード</p> <p>※埋立処分(管理型最終処分)</p> <p>○PCB含有せっこうボードを除くPCB含有成形板</p> <p>○埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>除去したPCB含有付け材(セメント系)の処分</p> <p>・埋立処分(安定型最終処分)</p> <p>・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p>																																																																																							
⑦ 外断熱改修工事	図示	<p>外断熱改修工事の施工方法</p> <p>・断熱材の施工</p> <p>・防水層の施工</p> <p>・仕上材の施工</p>																																																																																							
⑧ 断熱・防露改修工事	図示	<p>断熱・防露改修工事の施工方法</p> <p>・断熱材の施工</p> <p>・防露層の施工</p> <p>・仕上材の施工</p>																																																																																							
⑨ 屋上緑化改修工事	図示	<p>屋上緑化改修工事の施工方法</p> <p>・緑化土の施工</p> <p>・緑化植物の施工</p> <p>・排水層の施工</p>																																																																																							
⑩ 透水型アスファルト舗装改修工事	図示	<p>透水型アスファルト舗装改修工事の施工方法</p> <p>・透水型アスファルトの施工</p> <p>・排水層の施工</p> <p>・仕上材の施工</p>																																																																																							
⑪ 舗装版切断時に発生する濁水の処理(舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)	濁水の処理	<p>1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。</p> <p>種類及び処理量 図示による</p> <p>処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却含む) <p>2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、産業物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理業(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 <p>提出書類等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計案理の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合には、別途監督員と協議するものとする。 																																																																																							

10	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	SD295	※D16以下		SD345	※D19以上												
	種類の記号	呼び径(mm)	備考																				
SD295	※D16以下																						
SD345	※D19以上																						
② 溶接金網	形状等 (5.2.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	溶接金網				鉄筋格子												
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																				
溶接金網																							
鉄筋格子																							
③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐力スラブ、土圧壁</td> <td>・ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1.6.1、7.1.7.3、8.1) ・基礎主筋の継手位置 図5.2 図5.3 図5.4 ・図示による() <p>柱及び梁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ウ)) ・図示による() <p>柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所における部分の位置及び施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図示による() 	部位	継手方法	呼び径(mm)	柱、梁の主筋	・ガス圧接	※D19以上		・溶接継手			・重ね継手		耐力壁の鉄筋	・重ね継手		基礎、耐力スラブ、土圧壁	・ガス圧接		その他の鉄筋	・重ね継手	
部位	継手方法	呼び径(mm)																					
柱、梁の主筋	・ガス圧接	※D19以上																					
	・溶接継手																						
	・重ね継手																						
耐力壁の鉄筋	・重ね継手																						
基礎、耐力スラブ、土圧壁	・ガス圧接																						
その他の鉄筋	・重ね継手																						
④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4)	<p>○図示による()</p> <p>機械式定着工法</p> <p>運用場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第三者機関の評定等を取付している工法とする <p>必要定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※評定等の評価内容による <p>補強筋形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ※評定等の評価内容による <p>かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※評定等の評価内容による <p>品質確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ※評定等の評価内容による <p>検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ※評定等の評価内容による <p>鉄筋の余長の長さ</p> <p>構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。</p>																					
⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による() <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あり 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上に確保する <p>耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm 																					
⑥ 各部配筋	※図示による (5.3.7)																						
⑦ ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)	<p>圧接完了後の圧接部の試験</p> <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>試験項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)による) ・引張試験 試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)(b)による 																					
⑧ 機械式継手	適用箇所 (5.5.3.5)	<p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() H12建第1463号に適合する性能 ・A級 <p>溶接継手の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>鉄筋相互のあき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による() <p>施工完了後の圧接部の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜き取り ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする <p>試験の箇所数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ロットに対して()箇所 <p>全数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部欠陥の検出 <p>試験項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による <p>不合格となった場合の措置</p>																					
⑨ 溶接継手	試験項目	<p>試験項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による <p>不合格となった場合の措置</p>																					

⑪ コンクリート工事	① コンクリートの種類等	類別 (6.2.1) ※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スラブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○C21</td> <td>2.3程度</td> <td>・15又は18 ○18</td> <td>立上り (掃出し戸下部)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S=3 (3月3日~7月10日、9月11日~11月18日) S=6 (暑中 7月11日~9月10日) S=6 (寒中 11月19日~3月2日)	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラブ	適用箇所	○C21	2.3程度	・15又は18 ○18	立上り (掃出し戸下部)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	14 無筋コンクリート (6.14.1)	コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ㊦ ・フライアッシュセメントB種 ㊧ 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ()						
	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラブ	適用箇所																										
	○C21	2.3程度	・15又は18 ○18	立上り (掃出し戸下部)																										
	・	・	・	・																										
	・	・	・	・																										
	・	・	・	・																										
	② セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 ㊦ ・フライアッシュセメントB種 ㊧ 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む))	15 コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び降下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放す。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を番面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17F法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。																										
	③ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)																												
	④ 混和材料	①混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ②混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による																												
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による ()																												
	⑥ 湿潤養生	湿潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日																												
⑦ コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>○ c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table>	種 別	適用箇所	・ A種	※図示による ()	・ B種	※図示による ()	○ C種	※図示による ()	種 別	適用箇所	・ a種	※図示による ()	・ b種	※図示による ()	○ c種	※図示による ()													
種 別	適用箇所																													
・ A種	※図示による ()																													
・ B種	※図示による ()																													
○ C種	※図示による ()																													
種 別	適用箇所																													
・ a種	※図示による ()																													
・ b種	※図示による ()																													
○ c種	※図示による ()																													
8 打増し厚さ (打放し仕上げ部)																														
⑨ 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板 (※12mm) ㊦ コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材種・規格等 ・図示による () 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 (※図示による ())																													
10 軽量コンクリート																														
⑪ 寒中コンクリート	適用期間 (11月9日~3月2日) (6.11.1、2) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による ()、S= ()																													
⑫ 暑中コンクリート	適用期間 (7月11日~9月10日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・図示による ()、S= ()																													
13 マスコンクリート																														

設計概要	
計画地	春日部市大倉496番地455
工事種別	改修工事
敷地概要	
敷地面積	4,503.76㎡ (工事エリア 約1,272㎡ CAD測定)
区域区分	市街化区域
用途地域	第一種中高層住居専用地域
防火地域	指定なし
指定区域等	法第22条区域
地区計画	指定なし
角地	緩和適用あり
指定建蔽率	60%
指定容積率	200%
施設概要	
施設名称	ひまわり園棟
用途	社会福祉施設 (心身障害者通所支援施設)
耐震安全性の分類	構造体 II 類、建築非構造部材 B 類、建築設備 乙類
延べ面積	271.15㎡
構造	鉄骨造
階数	地上1階/地下-1階
竣工年	平成10年











〈参考〉令和7年度 アスベスト含有分析調査結果			
ひまわり園棟 (平成10年竣工)			
位置	部位	仕上材	結果
玄関	床	タイル 下地モルタル	無し
廊下	床	ビニル床シート	無し
"	巾木	ソフト巾木	アスベスト検出(クリソタイル) (2層目繊維状材料に含有)
"	壁	クロス 下地石膏ボード	無し
"	天井	化粧石膏ボード	無し
多目的兼相談室	受付台	人研ぎ	無し
身障者便所	壁	100角タイル 下地モルタル	無し
女子便所	壁	フレキシブルボード	アスベスト検出(クリソタイル) (2層目繊維状材料に含有)
物入	壁	塗装仕上 下地石膏ボード	無し
物入	天井	ケイカル板	無し
外壁	壁	ボード	アスベスト検出(クリソタイル) (3層目繊維状材料に含有)
外壁	壁	シーリング材	無し
ポーチ	天井	ケイカル板	アスベスト検出(クリソタイル) (2層目繊維状材料に含有)



案内図 S=1/3,500

設計年月日	2026.03	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺 A1-1:3,500 A3-1:7,000	工事名称 ひまわり園改修工事	図面名称 設計概要、案内図、アスベスト調査結果	図面番号 A-07
-------	---------	---------------------	--------------------------------	-------------------	----------------------------	--------------

仮設計画凡例

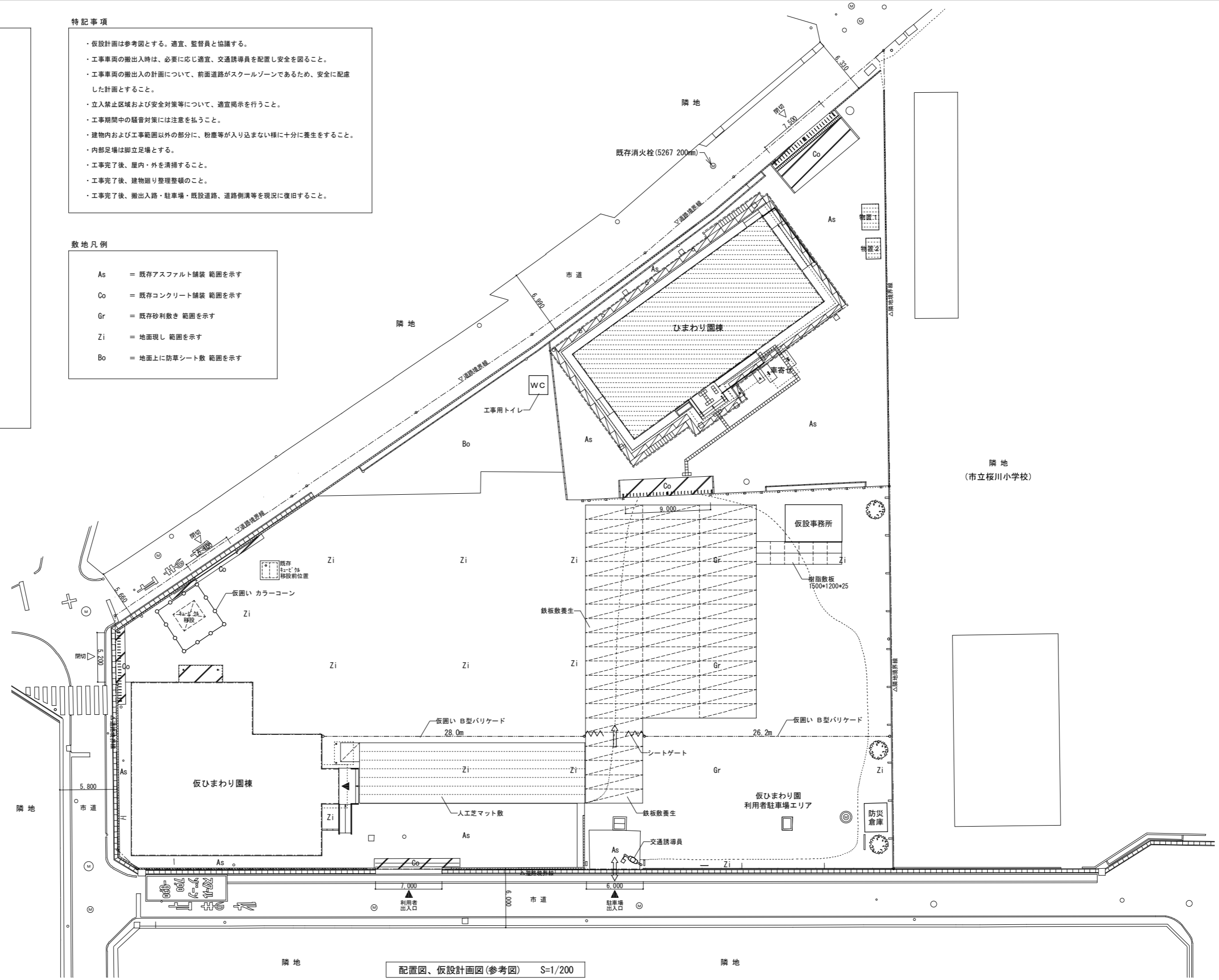
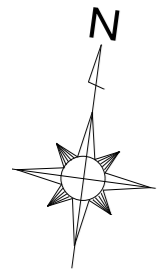
-  = 工事対象の建築物を示す
-  = 工事車両出入口を示す
-  = 工事車両搬入路を示す
-  = 交通誘導員を示す
(想定配備人数 80人)
-  = シートゲート (W6.3m、H4.5m)
-  = 仮囲い B型バリケード (樹脂製、H1.2m)
- ※ 仮囲いの表記寸法は参考値とする。
-  = 仮囲い カラーコーン (バー、ラバー重り共)
(適宜、配置。想定 100m/5か月)
-  = 枠組本足場 W600 手摺先行方式
防音シート張
(南東面はメッシュシート張)
-  = 鉄板敷養生 (t22×W1500×L6000)
※撤去後、整地 (凹凸部を均し現状復旧すること)
-  = 鉄板敷養生 + 人工芝マット敷
※撤去後、整地 (凹凸部を均し現状復旧すること)

特記事項

- ・仮設計画は参考図とする。適宜、監督員と協議する。
- ・工事車両の搬出時は、必要に応じ適宜、交通誘導員を配置し安全を図ること。
- ・工事車両の搬出入の計画について、前面道路がスクールゾーンであるため、安全に配慮した計画とすること。
- ・立入禁止区域および安全対策等について、適宜掲示を行うこと。
- ・工事期間中の騒音対策には注意を払うこと。
- ・建物内および工事範囲以外の部分に、粉塵等が入り込まない様に十分に養生をすること。
- ・内部足場は脚立足場とする。
- ・工事完了後、屋内・外を清掃すること。
- ・工事完了後、建物廻り整理整頓のこと。
- ・工事完了後、搬出入路・駐車場・既設道路、道路側溝等を現況に復旧すること。

敷地凡例

- As = 既存アスファルト舗装 範囲を示す
- Co = 既存コンクリート舗装 範囲を示す
- Gr = 既存砂利敷き 範囲を示す
- Zi = 地面現し 範囲を示す
- Bo = 地面上に防草シート敷 範囲を示す



配置図、仮設計画図(参考図) S=1/200

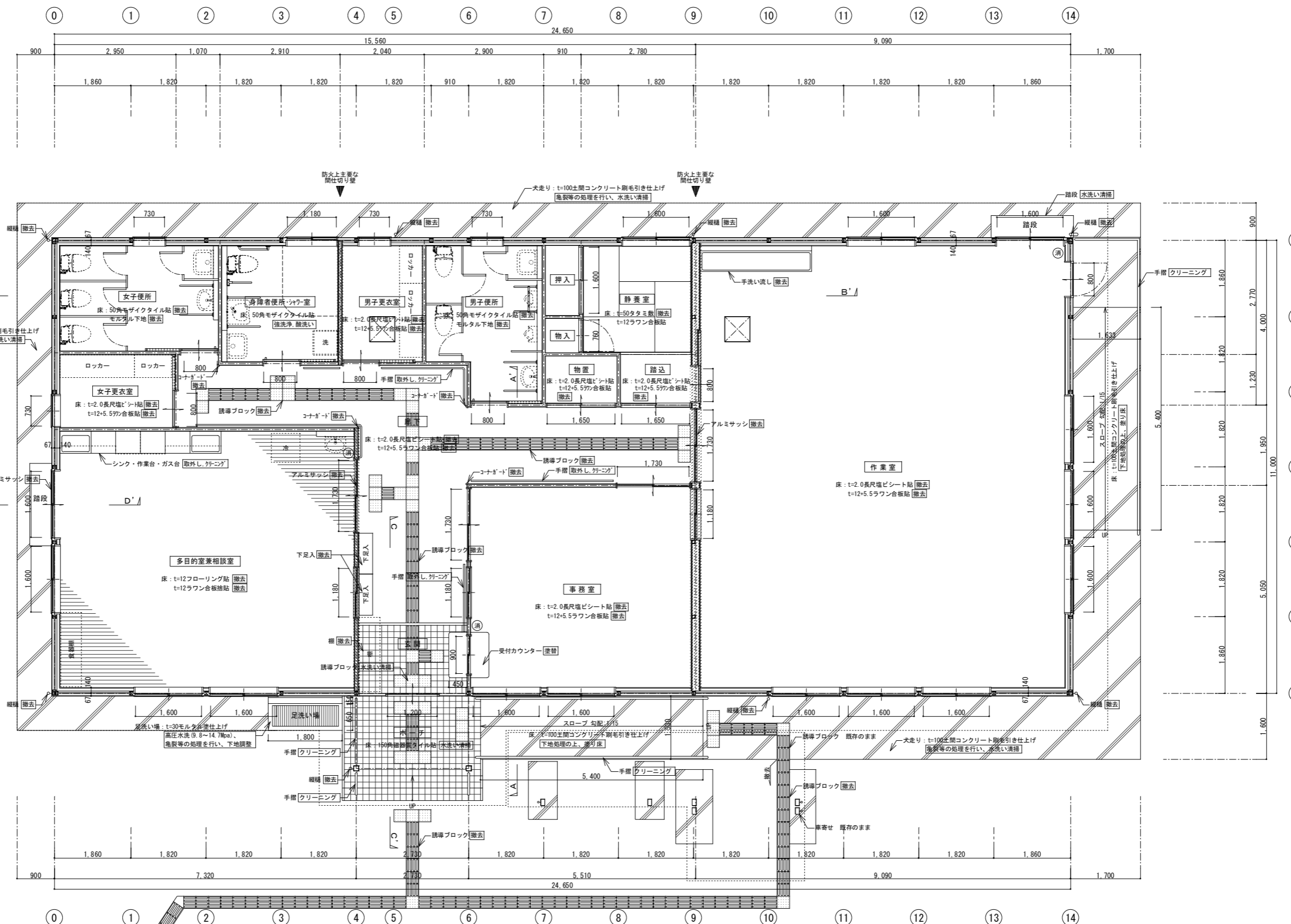
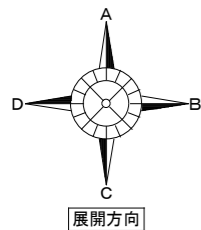
設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:200 A3-1:400	ひまわり園改修工事	配置図、仮設計画図(参考図)	A-08

外部仕上表 (改修前・後)				特記事項 ※【AS、LV3】は アスベスト含有建材レベル3(石綿含有成形板等)を示す。撤去する場合、レベル3の解体、除去作業および処分とする。 ※残置するアスベスト含有建材へ、孔明け等をする際は、アスベスト飛散防止対策 (HEPAフィルター付ドリルの使用等) をおこなうこと。			※「t=12サイディングボード張」は 窯業系、フラットタイプ、無塗装品とする。 ※「特殊ポリウレタン樹脂塗料」は 二次元、カラー鋼板塗替用、可とう性、耐候性 のものを使用する。			※「外壁目地シーリング」は ポリウレタン系シーリング (一成分形、ノブリッド)を使用する。 ※「建具廻りシーリング」は ポリウレタン系シーリング (一成分形、ノブリッド)を使用する。		
部 位	改修前 (既存) 仕上	撤去・下地処理	改修後 (新設) 仕上	部 位	改修前 (既存) 仕上	撤去・下地処理	改修後 (新設) 仕上	部 位	改修前 (既存) 仕上	撤去・下地処理	改修後 (新設) 仕上	
屋根	t=0.35カラー鋼板 横置き、アスファルトフェルト17kg、t=9ラワン合板張 除棟・隅棟：t=0.35カラー鋼板加工	高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、清掃、下地調整の上、塗装 高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、清掃、下地調整の上、塗装	下地調整の上、錆止め、特殊ポリウレタン樹脂塗料 下地調整の上、錆止め、特殊ポリウレタン樹脂塗料	水切金物	t=0.35カラー鋼板加工	下地調整の上、塗装	下地調整の上、錆止め、DP塗	外巾木	コンクリート打放し補修 床下換気口：300×150 鋼製網格子	高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、亀裂等の処理を行い、下地調整の上、ノロ引き 下地調整の上、塗装	下地調整の上、樹脂モルタルノロ引き 下地調整の上、錆止め、DP塗	
鼻隠し	t=0.35カラー鋼板巻き H=300	高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、清掃、下地調整の上、塗装	下地調整の上、錆止め、特殊ポリウレタン樹脂塗料	犬走り	t=100土間コンクリート金ゴテ仕上げ	亀裂等の処理を行い、水洗い清掃	—	踏 段	モルタル金ゴテ仕上げ	水洗い清掃	—	
軒 天	t=6ケイカル板張(一部有孔)【AS、LV3】VEP塗	下地調整の上、塗替	下地調整の上、AEP塗	ポーチ	150角磁器質タイル貼、モルタル下地 手摺：ステンレス製 φ48.6	水洗い清掃 クリーニング	—	足洗い場	立上：t=30モルタル塗仕上げ 排水口：SUS製グレーチング	高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、亀裂等の処理を行い、下地調整 クリーニング(U字溝内部 水洗い清掃)	下地調整の上、アクリルウレタン樹脂塗	
軒 種	塩ビ製120角 SUS製受金物	撤去	硬質塩ビ製(前高)7 130)W170xH120 新設	足洗い場	立上：t=30モルタル塗仕上げ 排水口：SUS製グレーチング	高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、亀裂等の処理を行い、下地調整 クリーニング(U字溝内部 水洗い清掃)	—	スロープ (ポーチ側) (作業側側)	床面：t=100土間コンクリート剛毛引き仕上げ 立上：コンクリート打放し補修 手摺：ステンレス製 φ48.6	高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、下地調整の上、塗り床 高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、下地調整の上、ノロ引き クリーニング	下地調整の上、アクリル樹脂系塗り床(防滑性) 下地調整の上、樹脂モルタルノロ引き —	
縦 種	塩ビ製φ65 SUS製支持金物	撤去	カラー硬質塩ビ管φ70 新設	特記事項	・特記なき限り使用材料は、すべて☆☆☆☆品及び環境対応品を使用する。 ・本工事に使用する建材で下地材、仕上材を問わず健康に影響を及ぼす恐れのあるものは使用しない。 ・特記なき木材・造材は米相とする。塗装する場合EP-G塗とする。 ・撤去により露出した鉄部が錆びていた場合、錆止めの塗装(タッチアップ程度)を行うこと。 ・塗装工事の下地調整は特記なき限り、建築改修工事共通仕様書7章2節の下地調整R値による。	高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、下地調整の上、塗替	下地調整の上、複層塗材E	・既存床土撤去後の仕上工事に関しては、全て下地処理補正を行うこと。 ・既存床土撤去に伴う下地補修は、建築改修工事共通仕様書6章2節による。既存接着剤は全て撤去すること。 ・既存木床組下地材については、腐朽状態を確認し、整理者・監督員へ報告を行うこと。 ・既存木床組下地材へ防蟻防湿処理剤を塗布を行うこと。 ・既存床土と大引の仕口については、プレート金物を設置し補強すること。(全面所)	外 壁	t=12サイディングボード張【AS、LV3】吹付タイル押え アスファルトフェルト17kg、t=5.5ラワン合板下地 目地：外壁目地シーリング	撤去	外壁目地シーリング 新設
(一部、外壁撤去範囲)	t=12サイディングボード張【AS、LV3】吹付タイル押え アスファルトフェルト17kg、t=5.5ラワン合板下地 目地：外壁目地シーリング	撤去	レベル3撤去	開口部	アルミ製自動ドア	クリーニング(ガラス側)、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去	建具廻りシーリング 新設					

内部仕上表 (改修前・後) 特記事項 ※【AS、LV3】は アスベスト含有建材レベル3(石綿含有成形板等)を示す。撤去する場合、レベル3の解体、除去作業および処分とする。
※残置するアスベスト含有建材へ、孔明け等をする際は、アスベスト飛散防止対策 (HEPAフィルター付ドリルの使用等) をおこなうこと。

階数	室 名		床		巾 木		壁		上 壁		天 井		天井高		内装制限		備 考		
	改修前	→ 改修後	改修前	改修後	改修前	H	改修後	H	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後			
1	玄関	→ 玄関	100角磁器質タイル貼 水洗い清掃 モルタル下地 既存のまま	—	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	—	2,700	2,700	壁、天井 準不燃	壁、天井 準不燃	下足入：撤去
	廊下	→ 廊下	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	—	2,700	2,700	壁、天井 準不燃	壁、天井 準不燃	コーナガード：撤去、新設 手摺：取外し、クリーニング、再取付 掲示板：取外し、クリーニング、再取付
	事務室	→ 事務室	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	—	2,700	2,700	壁、天井 難燃	壁、天井 難燃	受付カウンター：塗替
	作業室	→ 作業室	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	—	2,700	2,700	壁、天井 難燃	壁、天井 難燃	手洗い流し：撤去、新設
	多目的室兼相談室	→ 多目的室兼相談室	t=12フローリング貼 撤去 t=12ラワン合板貼 撤去	t=12複合フローリング貼 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	—	2,700	2,700	壁、天井 難燃	壁、天井 難燃	シンク・作業台・ガス台：取外し、クリーニング、再取付 吊戸棚：クリーニング
	静養室	→ 静養室	t=50タタミ敷 撤去 t=12ラワン合板貼 既存のまま	t=50樹脂タタミ敷 新設 —	—	—	タタミ寄せ15×50 新設	—	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9.5化粧石膏ボード張(木目調) 撤去 LGS下地 既存のまま	—	2,400	2,400	壁、天井 難燃	壁、天井 難燃	—
	踏 込	→ 踏 込	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	ビニルクロス張 撤去 t=9.5石膏ボード下地 既存のまま LGS下地 既存のまま	—	2,400	2,400	—	—	—
	押 入 物 入	→ 押 入 → 物 入	t=9ラワン合板貼 既存のまま	—	雑巾箱15×10 既存のまま	—	—	—	一部：t=12.5+12.5石膏ボード下地 一部撤去 一部：t=5.5ラワン合板張 既存のまま	一部：t=12.5+12.5石膏ボード下地 一部新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=4ラワン合板張 既存のまま 木下地 既存のまま	—	—	—	—	—	—
	男子更衣室	→ 男子更衣室	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	—	2,400	2,400	—	—	—
	女子更衣室	→ 女子更衣室	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	ビニルクロス張 撤去 t=15強化石膏ボード下地 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張 新設	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	—	2,400	2,400	—	—	—
	身障者便所 ・シャワー室	→ 身障者トイレ ・シャワー室	50角モザイクタイル張 強洗浄、酸洗い モルタル下地 既存のまま	—	100角磁器タイル張 強洗浄、酸洗い	100	—	—	100角磁器タイル張 強洗浄、酸洗い t=67x47x7 貼下地【AS、LV3】 既存のまま LGS下地(65形) 既存のまま	—	腰壁と同様	腰壁と同様	t=9xバシリブ 撤去 LGS下地 既存のまま	—	2,400	2,400	—	—	吊下げカーテンレール：撤去、新設 手摺：撤去、新設
	男子便所	→ 男子トイレ	50角モザイクタイル貼 撤去 モルタル下地 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼(抗菌性) 新設 モルタル下地 新設	100角磁器タイル張 撤去	100	ソフト巾木 新設	75	100角磁器タイル張 撤去 t=6フレキシブルボード下地【AS、LV3】 撤去 LGS下地(65形) 既存のまま	t=6化粧ケイカル板張(7x37x3) 新設 t=6フレキシブルボード【AS、LV3】VP塗 撤去 LGS下地(65形) 既存のまま	t=6化粧ケイカル板張【AS、LV3】VP塗 撤去 LGS下地(65形) 既存のまま	t=6化粧ケイカル板張(7x37x3) 新設 t=5ケイカル板張【AS、LV3】VP塗 撤去 —	t=9.5化粧石膏ボード張 新設 —	—	2,400	2,400	—	—	トイレブース：撤去、新設 手摺：撤去、新設
	女子便所	→ 女子トイレ	50角モザイクタイル貼 撤去 モルタル下地 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼(抗菌性) 新設 モルタル下地 新設	100角磁器タイル張 撤去	100	ソフト巾木 新設	75	100角磁器タイル張 撤去 t=6化粧ケイカル板張(7x37x3) 新設 t=6フレキシブルボード下地【AS、LV3】 撤去 LGS下地(65形) 既存のまま	t=6化粧ケイカル板張(7x37x3) 新設 t=6フレキシブルボード【AS、LV3】VP塗 撤去 LGS下地(65形) 既存のまま	t=6化粧ケイカル板張【AS、LV3】VP塗 撤去 —	t=5ケイカル板張【AS、LV3】VP塗 撤去 —	t=9.5化粧石膏ボード張 新設 —	—	2,400	2,400	—	—	トイレブース：撤去、新設 手摺：撤去、新設
	物 置	→ 物 置	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	75	ソフト巾木 新設	75	t=67x47x7 貼下地【AS、LV3】VP塗 塗替 下地調整の上、EP塗	腰壁と同様	腰壁と同様	t=5ケイカル板張【AS、LV3】VP塗 塗装 LGS下地 既存のまま	—	2,400	2,400	—	—	—	

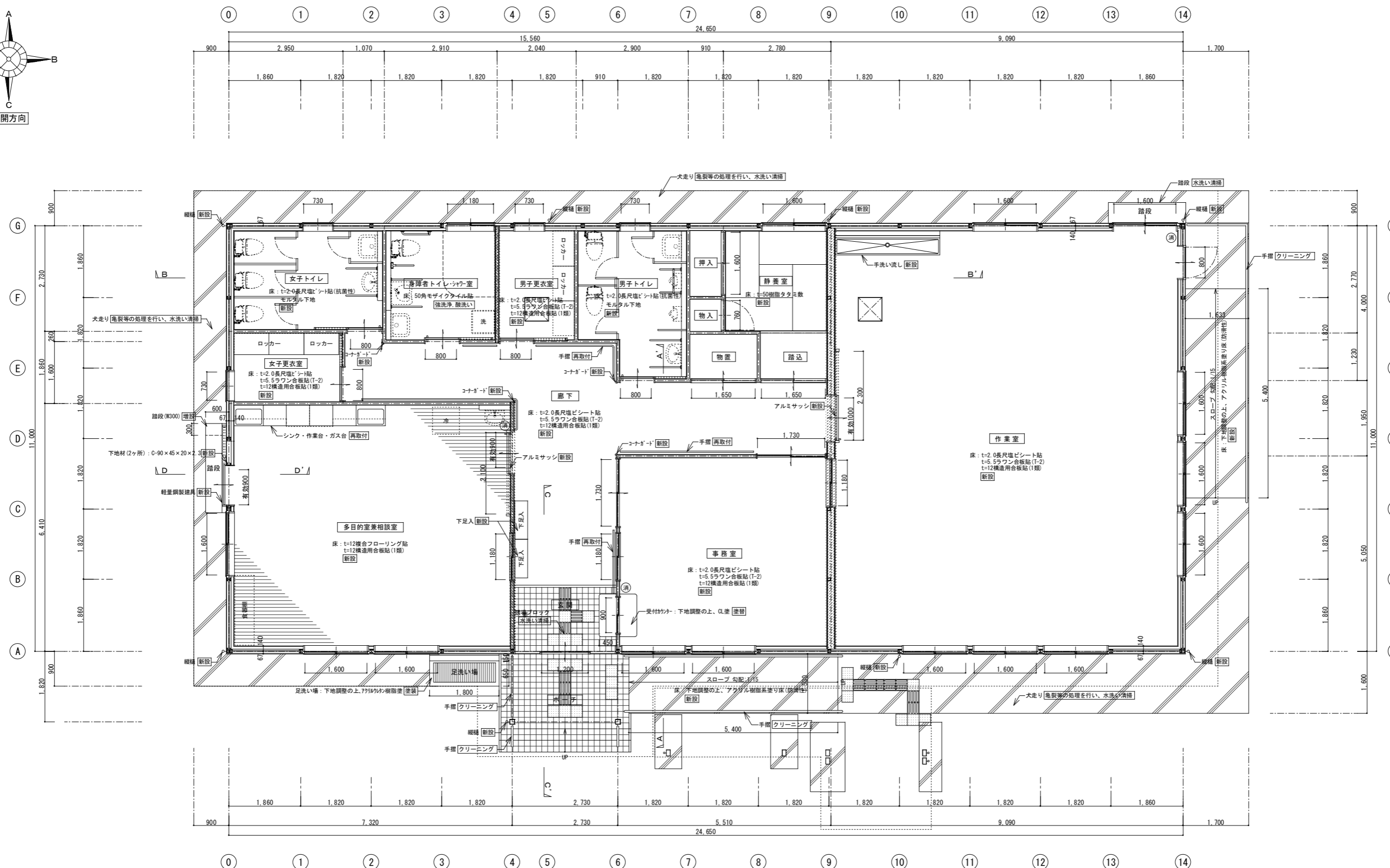
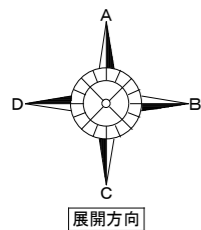
設計年月日	2026.03	縮 尺	A1-1: - A3-1: -	工 事 名 称	ひまわり園改修工事	図 面 名 称	仕上表 (改修前・後)	図面番号	A-09
春 日 部 市 福 祉 部 障 が い 者 支 援 課									



平面詳細図 (改修前) S=1/50

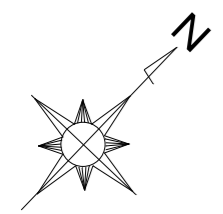
- 凡例
- = 防火上主要な間仕切り壁を示す (t=12.5+12.5石膏ボード張 両面共、LGS地下)
 - = 防火上主要な間仕切り壁を示す (t=9.5+9.5石膏ボード張 両面共、LGS地下)
 - = 床下点検口 (SUS製、600角) 撤去
 - = 粉末消火器10型 (設置スタンド共) 取外し、保管、再取付
- 特記事項
- ※各室のデスク・椅子・戸棚・ロッカー・その他家具の移設を見込む。
 - = 移設対象外の家具を示す

設計年月日	2026.03	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺 A1-1:50 A3-1:100	工事名称 ひまわり園改修工事	図面名称 平面詳細図 (改修前)	図面番号 A-10
-------	---------	---------------------	---------------------------	-------------------	---------------------	--------------



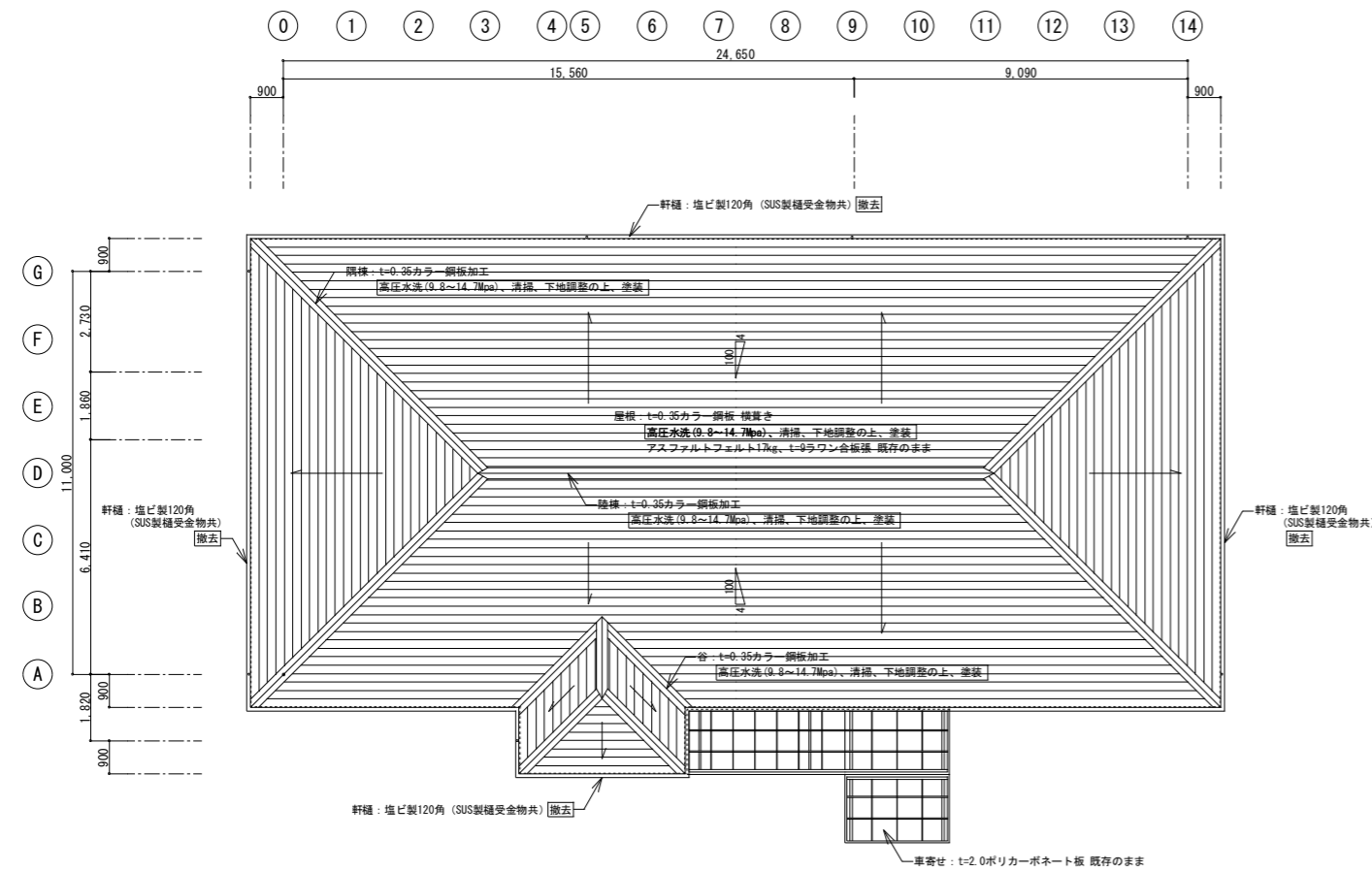
平面詳細図 (改修後) S=1/50

- 凡例
- = 防火上主要な間仕切り壁を示す (t=12.5+12.5石膏ボード張 両面共、LGS下地)
 - = 防火上主要な間仕切り壁を示す (t=9.5+9.5石膏ボード張 両面共、LGS下地)
 - = 床下点検口 (SUS製、600角) 新設
 - = 粉末消火器10型 (設置スタンド共) 再取付



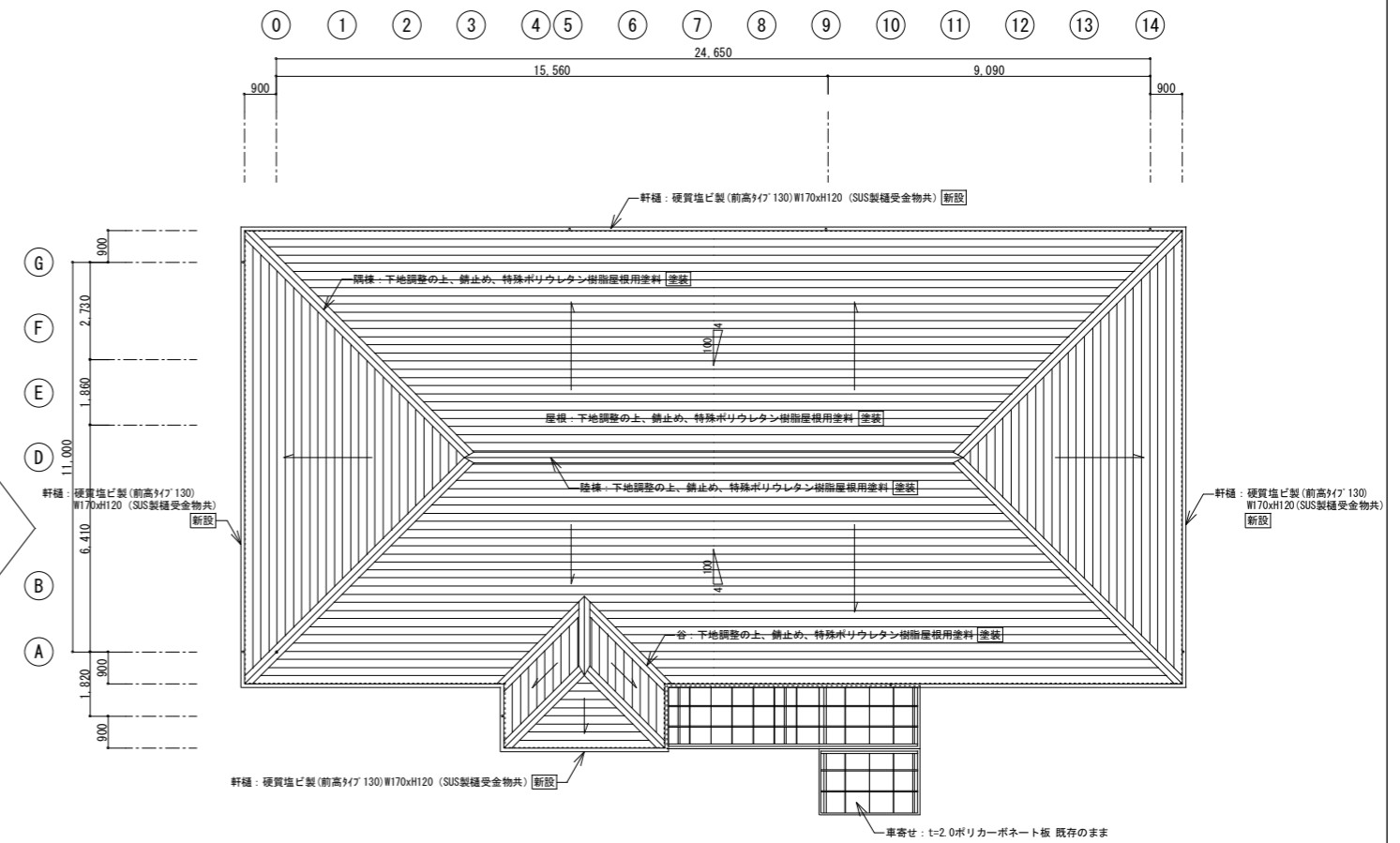
設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:50 A3-1:100	ひまわり園改修工事	平面詳細図 (改修後)	A-11

改修前



屋根伏図 (改修前) S=1/100

改修後

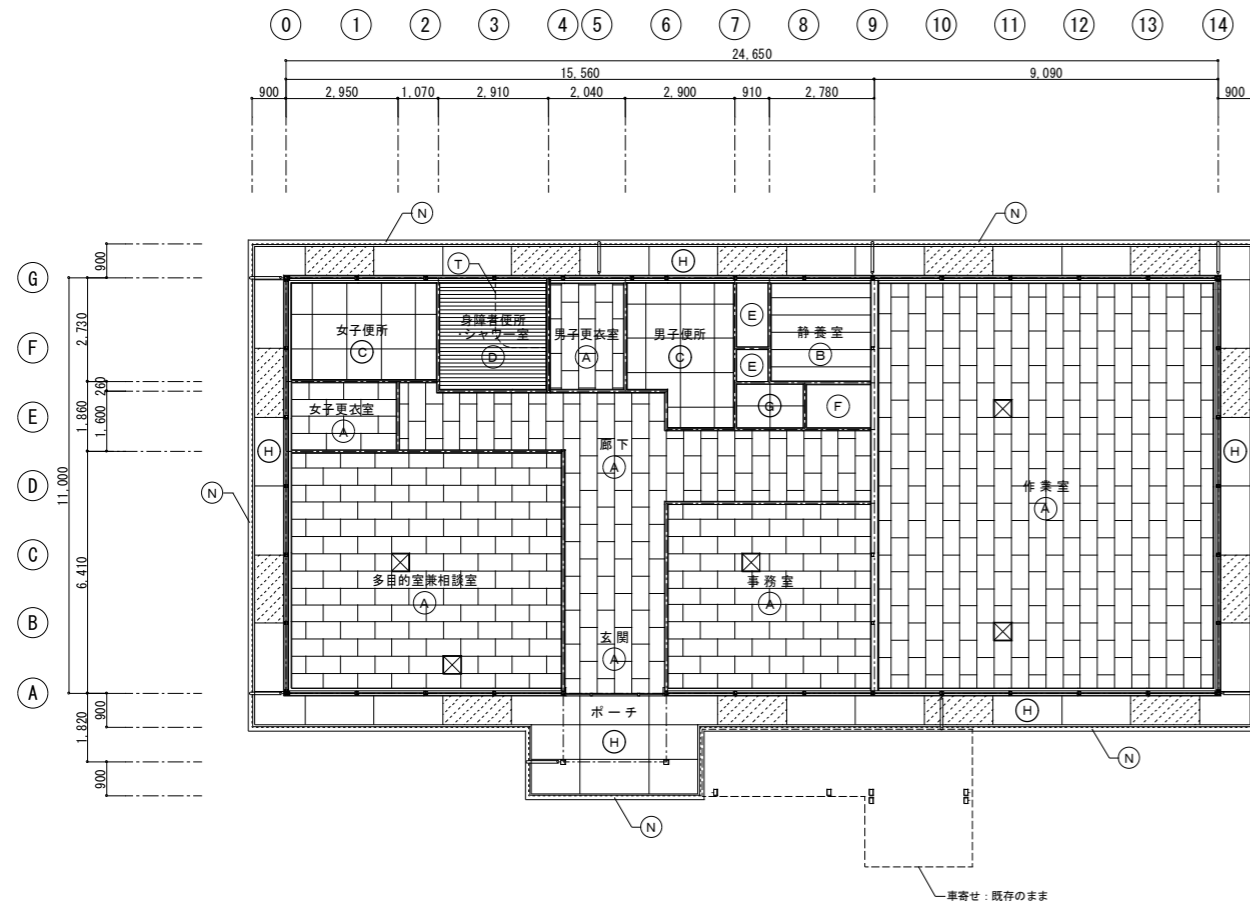


屋根伏図 (改修後) S=1/100

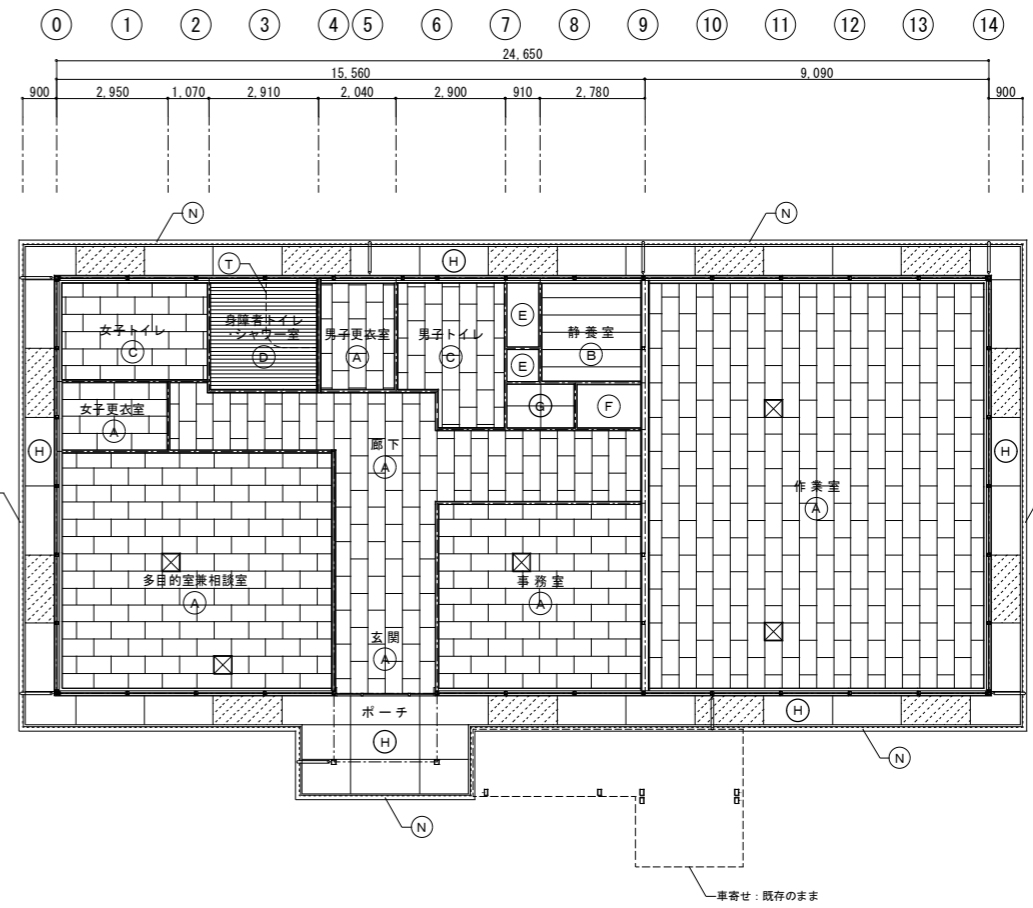
	設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2026.03		A1-1:100 A3-1:200	ひまわり園改修工事	ひまわり園棟 屋根伏図 (改修前・後)	A-12

改修前

改修後



天井伏図 (改修前) S=1/100



天井伏図 (改修後) S=1/100

凡例 (改修前)

- : 今回工事内容を示す
- : 軒樋 塩ビ製120角 (SUS製樋受金物共) 撤去
- : 軒天 有孔ケイカル板の位置を示す
- : 天井点検口450角 アルミ製 塗装
- : 吊下げカーテンレール 撤去 (カーテンレール等詳細図を参照)
- : 設備改修工事に伴い、天井材を一部撤去する範囲を示す
- : 設備改修工事に伴い、天井点検口450角 アルミ製 撤去

凡例 (改修前)

記号	仕 上	廻縁
(A)	天井: t=9.5化粧石膏ボード張 (455×910) 下地調整の上、塗装	廻縁: 塩ビ製 既存のまま
(B)	天井: t=9.5化粧石膏ボード張 (木目調) 既存のまま	廻縁: 木製30×40 既存のまま
(C)	天井: t=5ケイカル板張(一部有孔)【AS.LV3】VP塗 撤去(7スレスト含有レバ M3 撤去)	廻縁: 塩ビ製 撤去
(D)	天井: t=9バスリブ張 撤去	廻縁: 塩ビ製 撤去
(E)	天井: t=4ラワン合板張 既存のまま	廻縁: 木製15×10 既存のまま
(F)	天井: t=9.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 クロス撤去	---
(G)	天井: t=5ケイカル板張【AS.LV3】VP塗 下地調整の上、塗替	廻縁: 塩ビ製 既存のまま
(H)	軒天: t=6ケイカル板張(一部有孔)【AS.LV3】VEP塗 下地調整の上、塗替	廻縁: 既存のまま

特記事項
 ・特記なき限り、天井下地は「LGS下地 既存のまま」とする。
 ・ラワン合板張の天井下地は「木下地 既存のまま」とする。

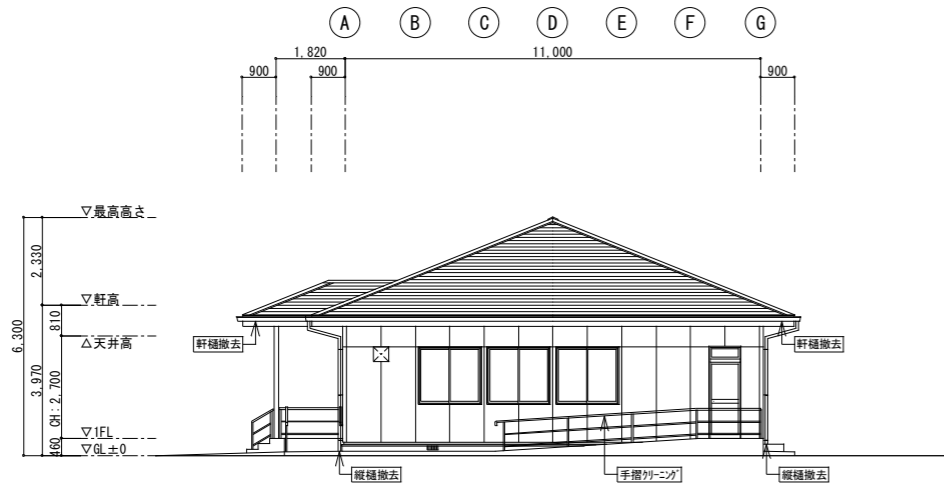
凡例 (改修後)

- : 今回工事内容を示す
- : 軒樋 硬質塩ビ製(前高47°)130)W170xH120 (SUS製樋受金物共) 新設
- : 軒天 有孔ケイカル板の位置を示す
- : 天井点検口450角 アルミ製 下地調整の上、E.P.塗
- : 吊下げカーテンレール 新設 (カーテンレール等詳細図を参照)
- : 設備改修工事に伴い、天井材を一部新設する範囲を示す
- : 設備改修工事に伴い、天井点検口450角 アルミ製 新設

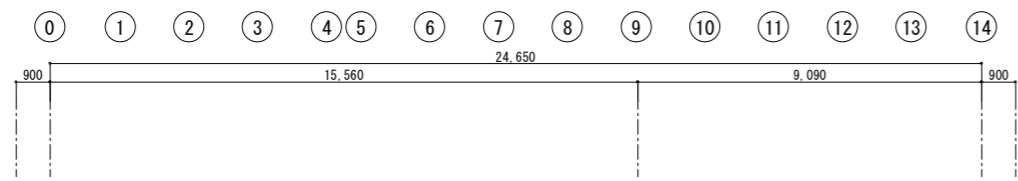
凡例 (改修後)

記号	仕 上	廻縁
(A)	天井: 下地調整の上、E.P.塗	廻縁: 塩ビ製 既存のまま
(B)	天井: t=9.5化粧石膏ボード張 (木目調) 既存のまま	廻縁: 木製30×40 既存のまま
(C)	天井: t=9.5化粧石膏ボード張 新設	廻縁: 塩ビ製 新設
(D)	天井: t=9バスリブ張 新設	廻縁: 塩ビ製 新設
(E)	天井: t=4ラワン合板張 既存のまま	廻縁: 木製15×10 既存のまま
(F)	天井: 下地調整の上、ビニルクロス張 新設	---
(G)	天井: 下地調整の上、E.P.塗	廻縁: 既存のまま
(H)	軒天: 下地調整の上、A.E.P.塗	廻縁: 既存のまま

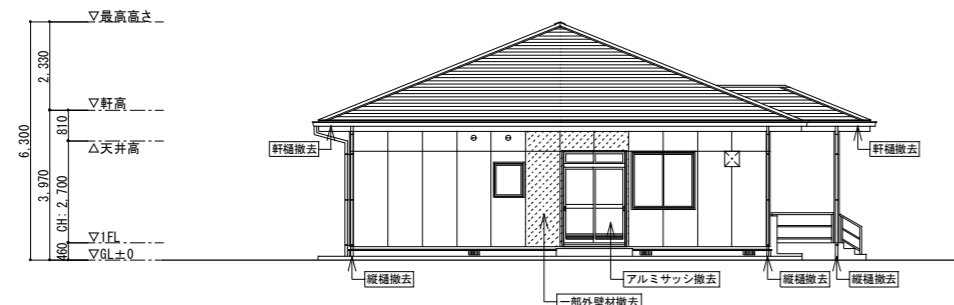
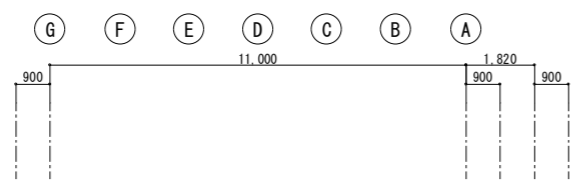
特記事項
 ・特記なき限り、天井下地は「LGS下地 既存利用」とする。
 ・施工に伴う機械整備のセンサー取外し・再取付けは本工事に含まれる。



東側平面図 (改修前) S=1/100



南側平面図 (改修前) S=1/100

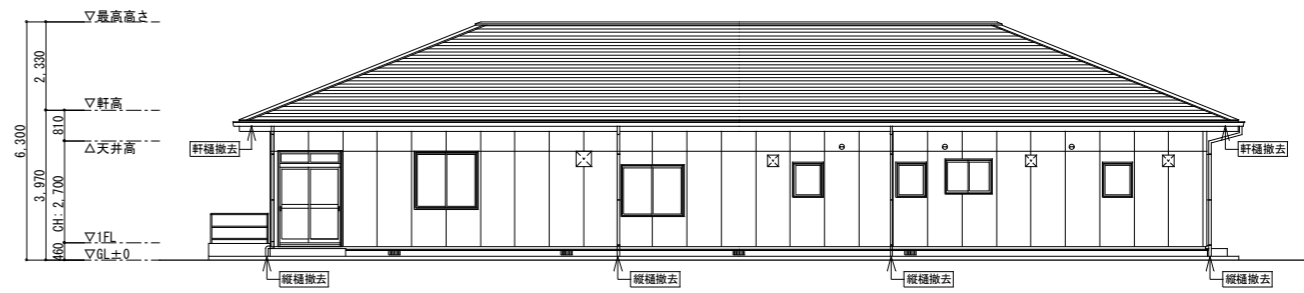
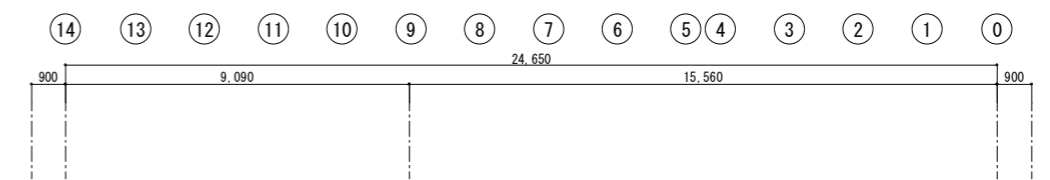


西側平面図 (改修前) S=1/100

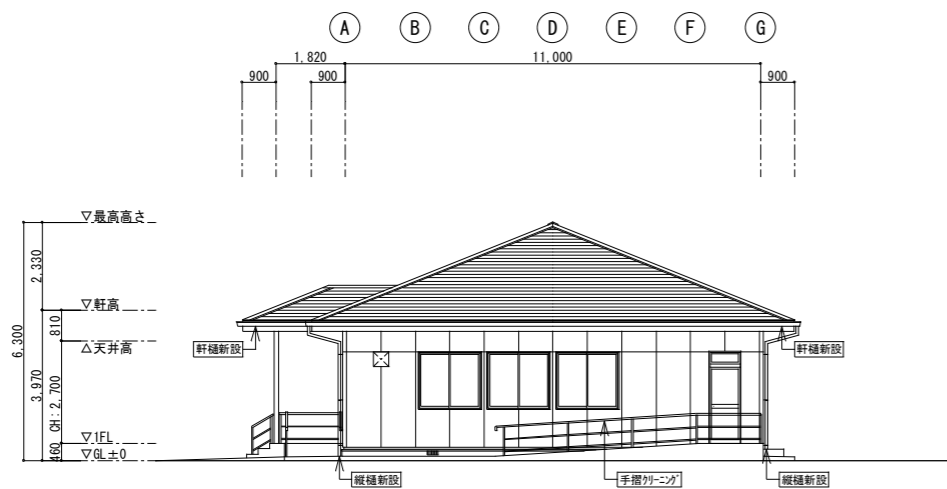
凡例

- : 今回工事内容を示す
- : 一部、外壁撤去範囲を示す
- : 屋外フード(SUS製、深型)を示す
- : 屋外フード(SUS製、丸型)を示す
- : 床下換気口(300×150鋼製縦格子)を示す

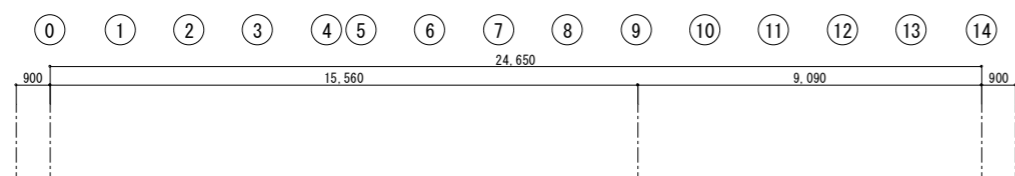
部位	外部仕上表
屋根	t=0.35カラー鋼板 横置き [高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、清掃、下地調整の上、塗装] アスファルトフェルト17kg、t=9ラワン合板張 既存のまま 隠棟・隅棟 : t=0.35カラー鋼板加工 [高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、清掃、下地調整の上、塗装]
鼻隠し	t=0.35カラー鋼板巻き H=300 [高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、清掃、下地調整の上、塗装]
軒種	塩ビ製120角、SUS製受金物共 [撤去]
縦種	塩ビ製φ65、SUS製支持金物共 [撤去]
軒天	t=6ケイカル板張(一部有孔)【AS.LV3】VEP塗 [下地調整の上、塗替]
外壁	t=12サイディングボード張【AS.LV3】吹付タイル押え [高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、下地調整の上、塗替] アスファルトフェルト17kg、t=5.5ラワン合板張 既存のまま 目地 : 外壁目地シーリング [撤去]
(一部、外壁撤去範囲)	t=12サイディングボード張【AS.LV3】吹付タイル押え [レベル3撤去] アスファルトフェルト17kg、t=5.5ラワン合板張 [撤去] 目地 : 外壁目地シーリング [撤去]
開口部	アルミサッシ [クリーニング(ガラス共)、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去] アルミ製自動ドア [クリーニング(ガラス共)、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去]
水切金物	t=0.35カラー鋼板加工 [高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、下地調整の上、塗装]
外巾木	コンクリート打放し補修 [高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、亀裂等の処理を行い、下地調整の上、ノロ引き] 床下換気口 : 300×150 鋼製縦格子 [下地調整の上、塗装]
犬走り	t=100土間コンクリート金ゴテ仕上げ [亀裂等の処理を行い、水洗い清掃]
ポーチ床	モルタル下地、150角磁器質タイル貼 [水洗い清掃]
踏段	モルタル金ゴテ仕上げ [水洗い清掃]
スロープ	床面 : t=100土間コンクリート刷毛引き仕上げ [高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、下地調整の上、塗り床] 立上 : コンクリート打放し補修 [高圧水洗(9.8~14.7Mpa)、下地調整の上、ノロ引き] 手摺 : ステンレス製 φ48.6 [クリーニング]



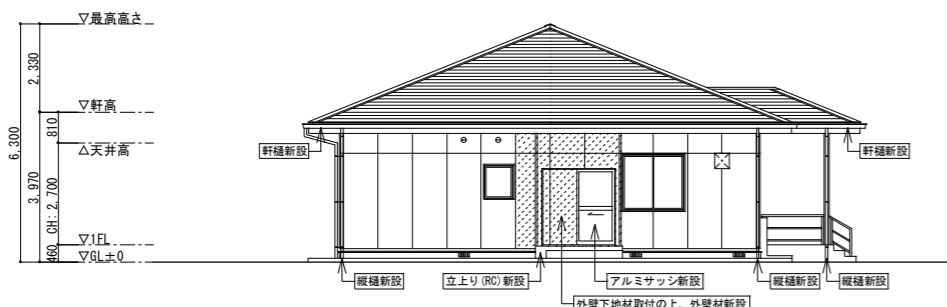
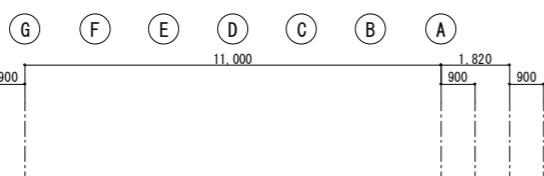
北側平面図 (改修前) S=1/100



東側立面図 (改修後) S=1/100



南側立面図 (改修後) S=1/100

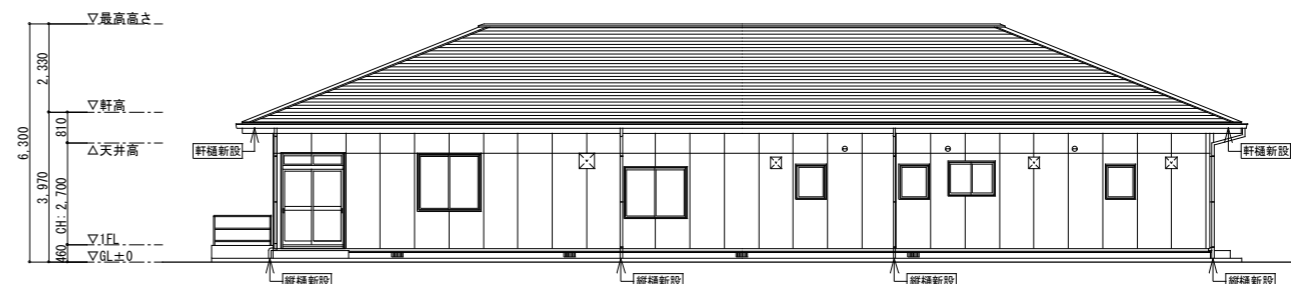
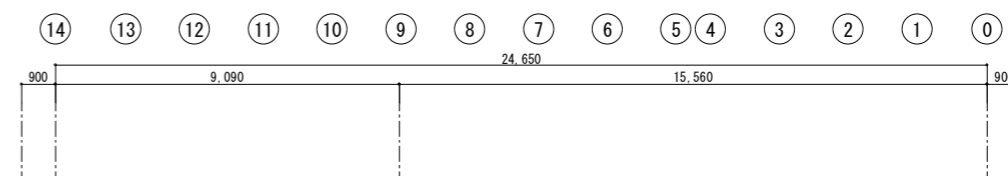


西側立面図 (改修後) S=1/100

凡例

- : 今回工事内容を示す
- : 一部、外壁新設範囲を示す
- : 屋外フード(SUS製、深型)を示す
- : 屋外フード(SUS製、丸型)を示す
- : 床下換気口(300×150鋼製縦格子)を示す

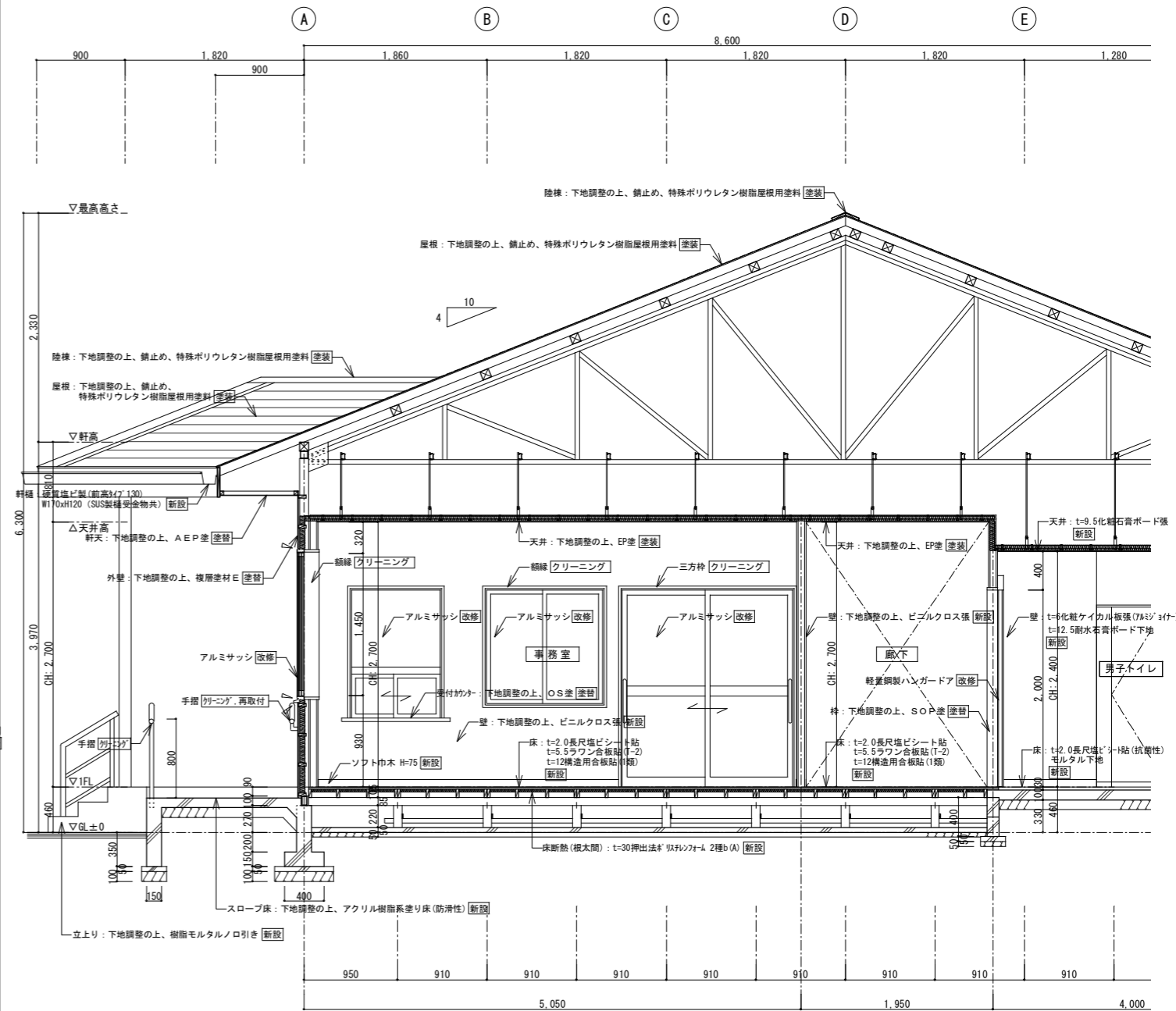
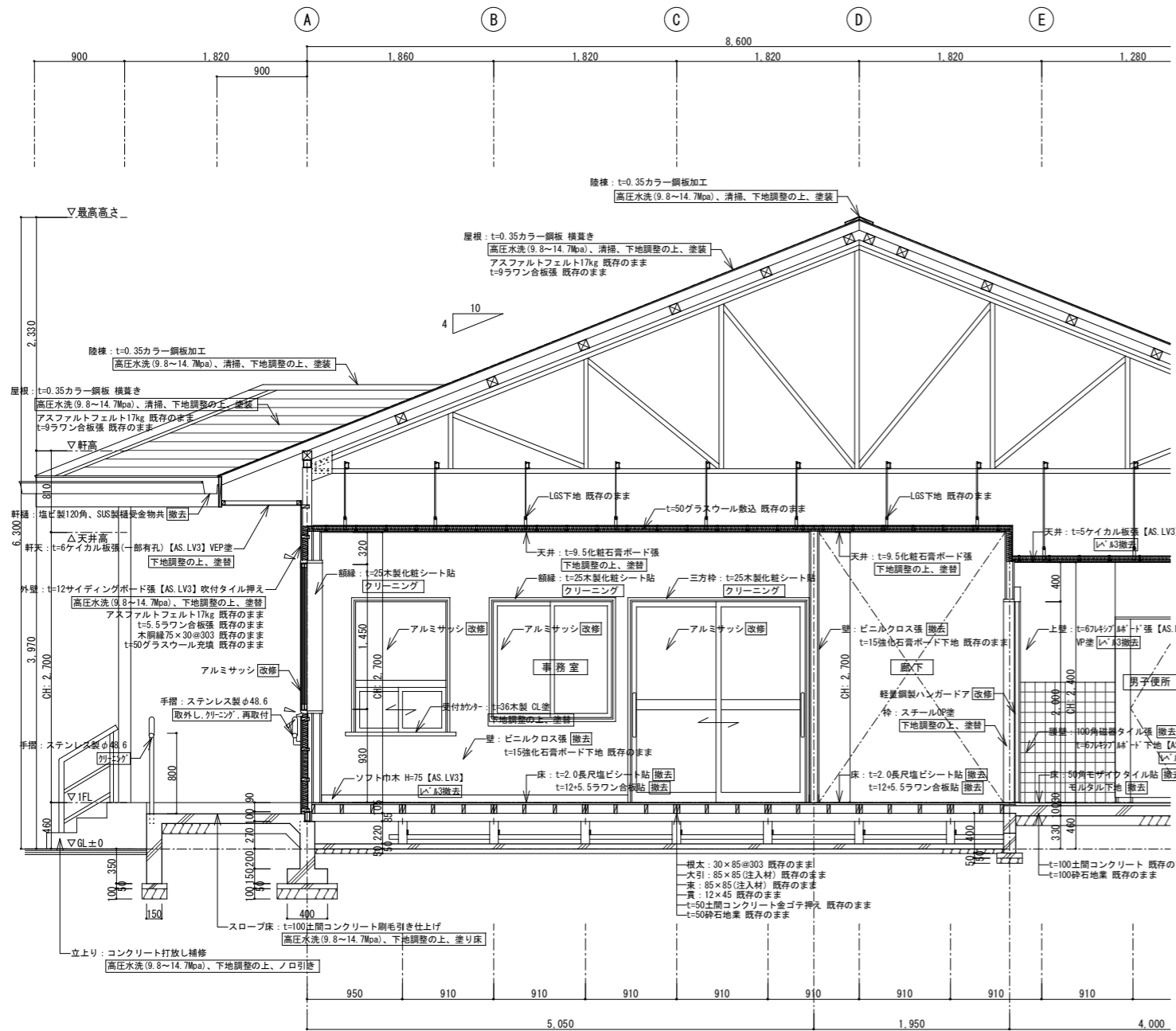
部位	外部仕上表
屋根	下地調整の上、錆止め、特殊ポリウレタン樹脂屋根用塗料 [塗装]
	陰棟・隅棟：錆止め、特殊ポリウレタン樹脂屋根用塗料 [塗装]
鼻隠し	下地調整の上、錆止め、特殊ポリウレタン樹脂屋根用塗料 [塗装]
軒 樋	硬質塩ビ製(前高タイプ) W170xH120、SUS製樋受金物共 [新設]
縦 樋	カラー硬質塩ビ管φ70、SUS製支持金物共 [新設]
軒 天	下地調整の上、AEP塗 [塗替]
外 壁	下地調整の上、複層塗材E [塗替]
	目地：外壁目地シーリング [新設]
(一部、外壁新設範囲)	t=12サイディングボード張 複層塗材E [新設] 透湿防水シート、t=5.5ラワン合板張(T-1)、縦鋼線C-100×50×20×2.3@606、t=50グラスウール充填 [新設] 目地：外壁目地シーリング [新設]
開口部	アルミサッシ [クリーニング(ガラス共)、建具点検調整、建具廻りシーリング新設] アルミ製自動ドア [クリーニング(ガラス共)、建具点検調整、建具廻りシーリング新設]
水切金物	下地調整の上、錆止め、DP塗 [塗装]
外巾木	下地調整の上、樹脂モルタルノリ引き [新設]
	床下換気口：下地調整の上、錆止め、DP塗 [塗装]
犬走り	t=100土間コンクリート金ゴテ仕上げ [亀裂等の処理を行い、水洗い清掃]
ポーチ床	モルタル下地、150角磁器質タイル貼 [水洗い清掃]
踏 段	モルタル金ゴテ仕上げ [水洗い清掃]
スロープ	床面：下地調整の上、アクリル樹脂系塗床(防汚性) [新設]
	立上：下地調整の上、樹脂モルタルノリ引き [新設]
手摺	クリーニング



北側立面図 (改修後) S=1/100

改修前

改修後



【凡例】
 *** □ = 今回工事内容を示す
 / = シーリング打替を示す
 [AS.LV3] = アスベスト含有建材レベル3を示す

A-A' 矩計図 (改修前) S=1/30

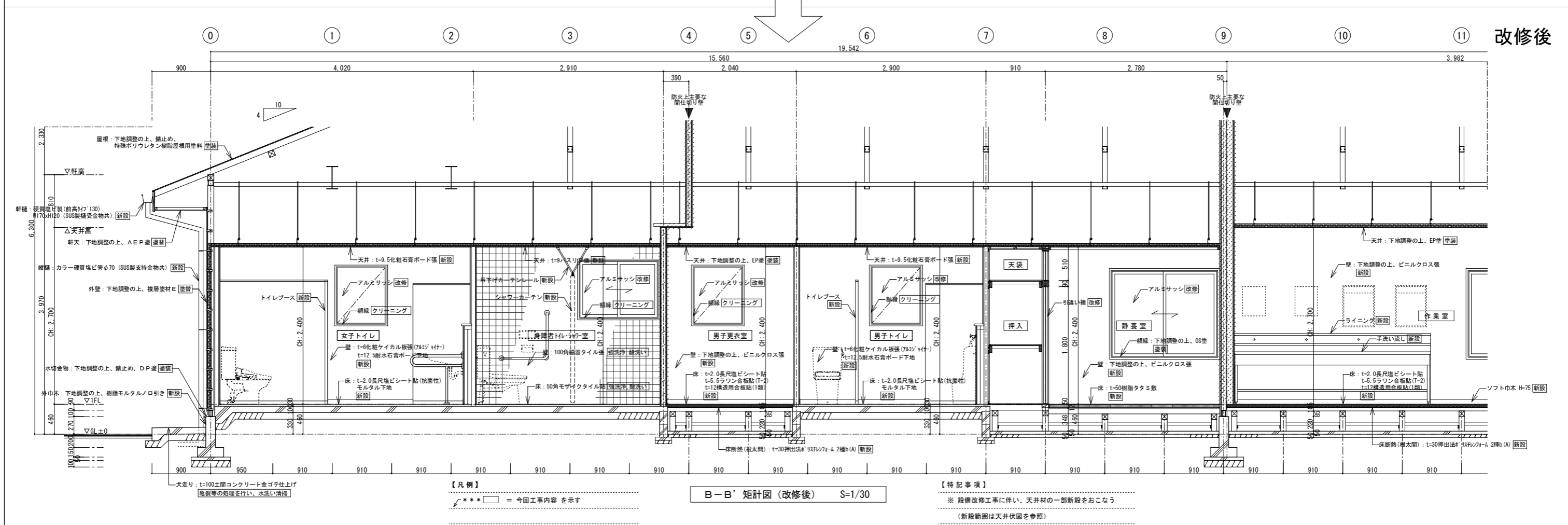
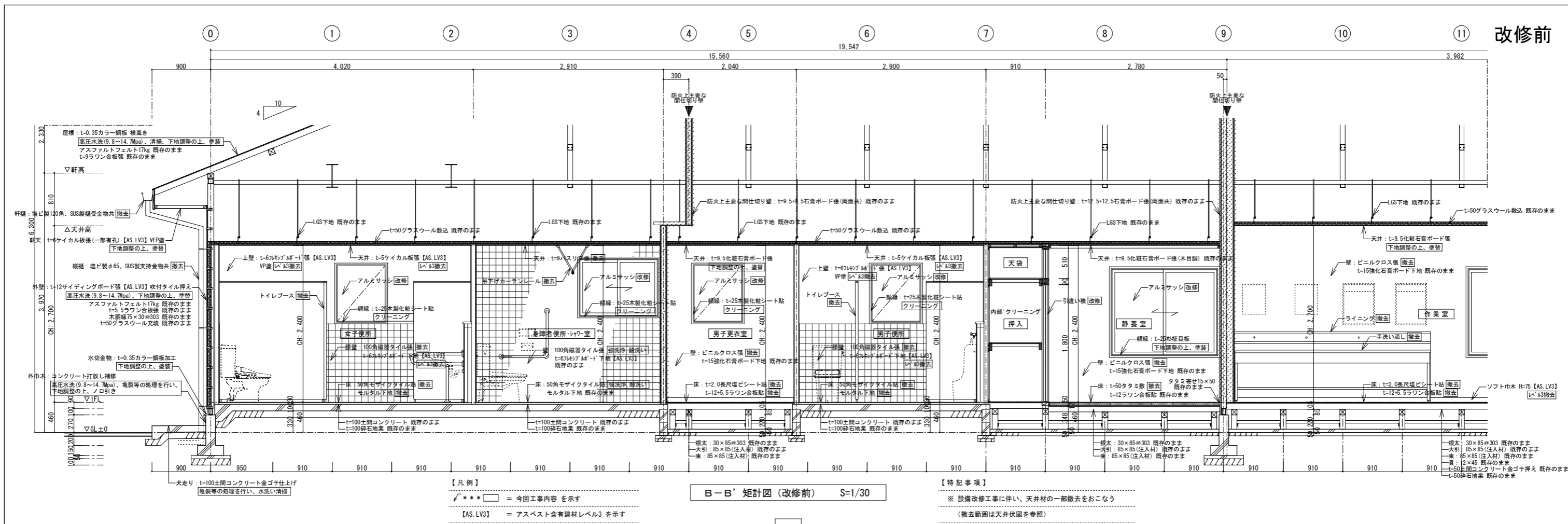
【特記事項】
 ※ 設備改修工事に伴い、天井材の一部撤去をおこなう
 (撤去範囲は天井伏図を参照)

【凡例】
 *** □ = 今回工事内容を示す
 / = シーリング打替を示す

A-A' 矩計図 (改修後) S=1/30

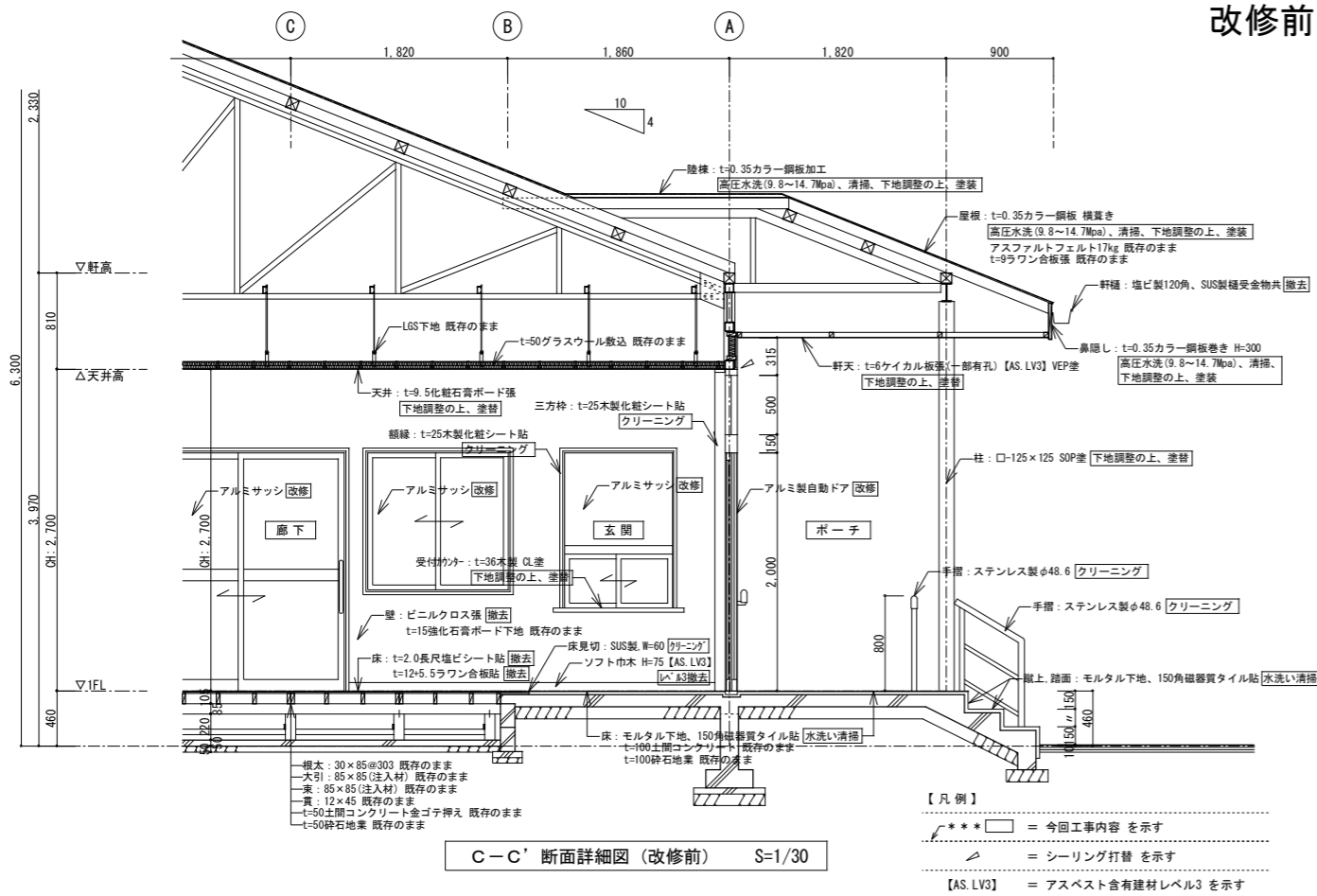
【特記事項】
 ※ 設備改修工事に伴い、天井材の一部新設をおこなう
 (新設範囲は天井伏図を参照)

設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:30 A3-1:60	ひまわり園改修工事	矩計図(1)(改修前・後)	A-16



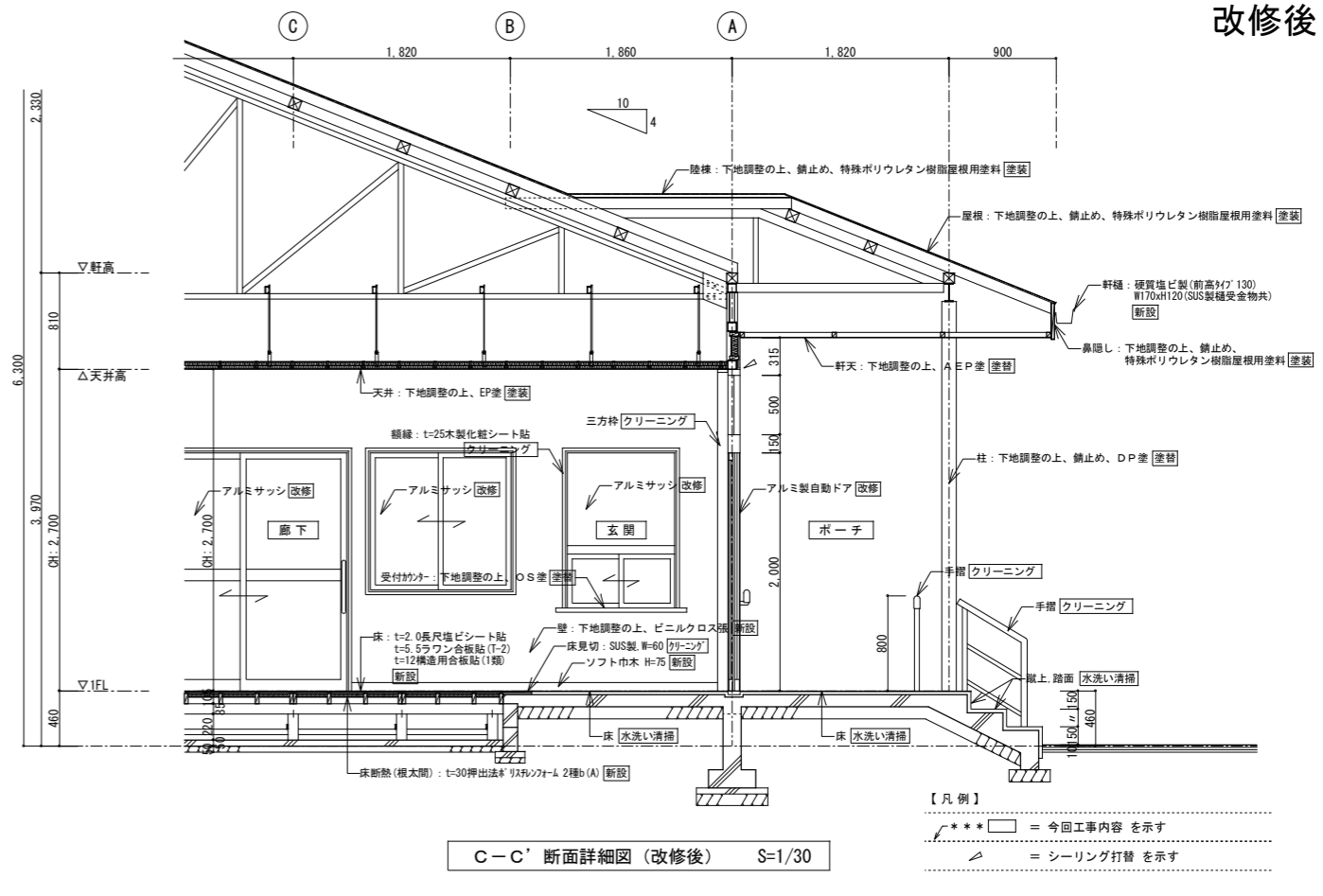
設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:30 A3-1:60	ひまわり園改修工事	矩計図(2)(改修前・後)	A-17

改修前



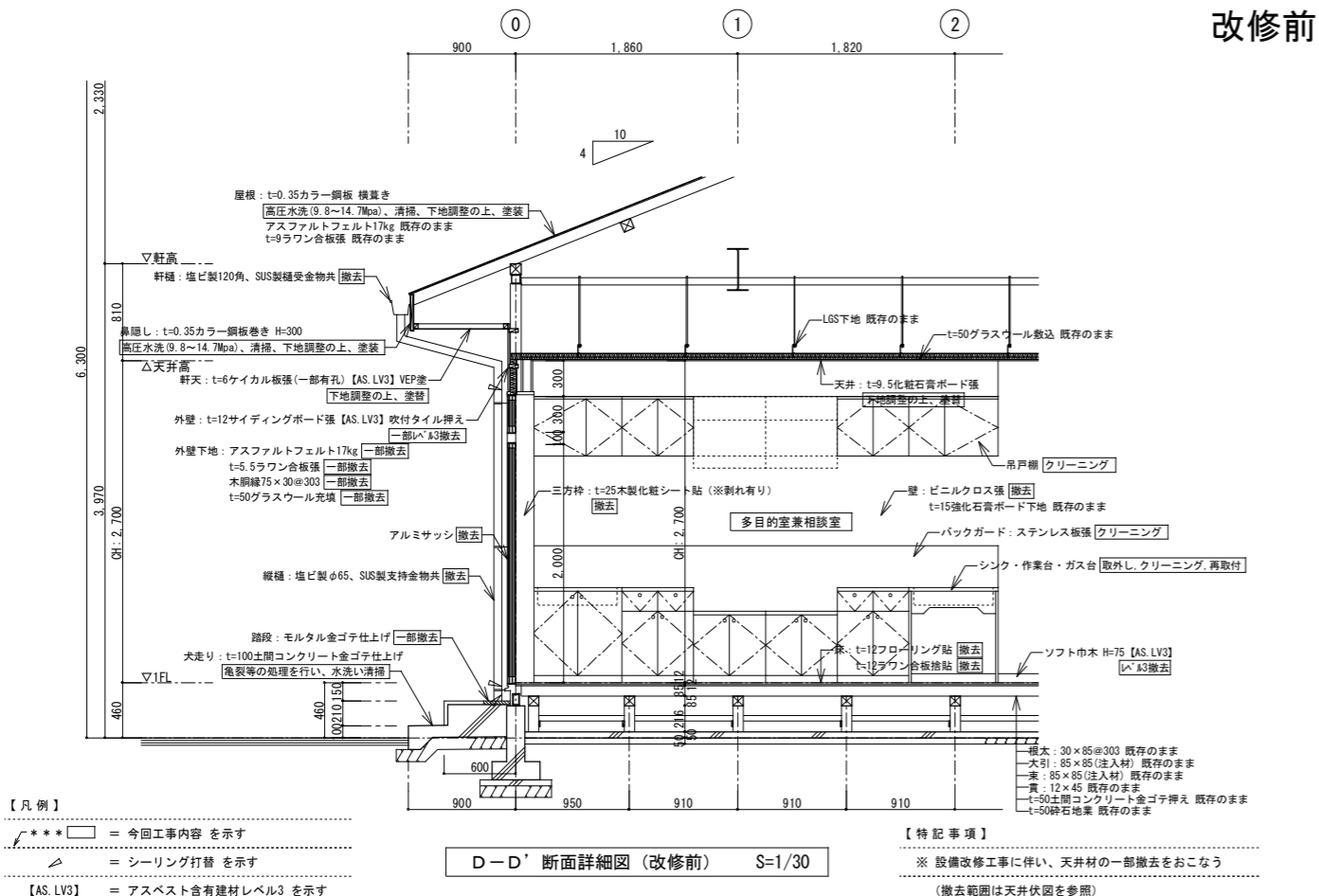
C-C' 断面詳細図 (改修前) S=1/30

改修後



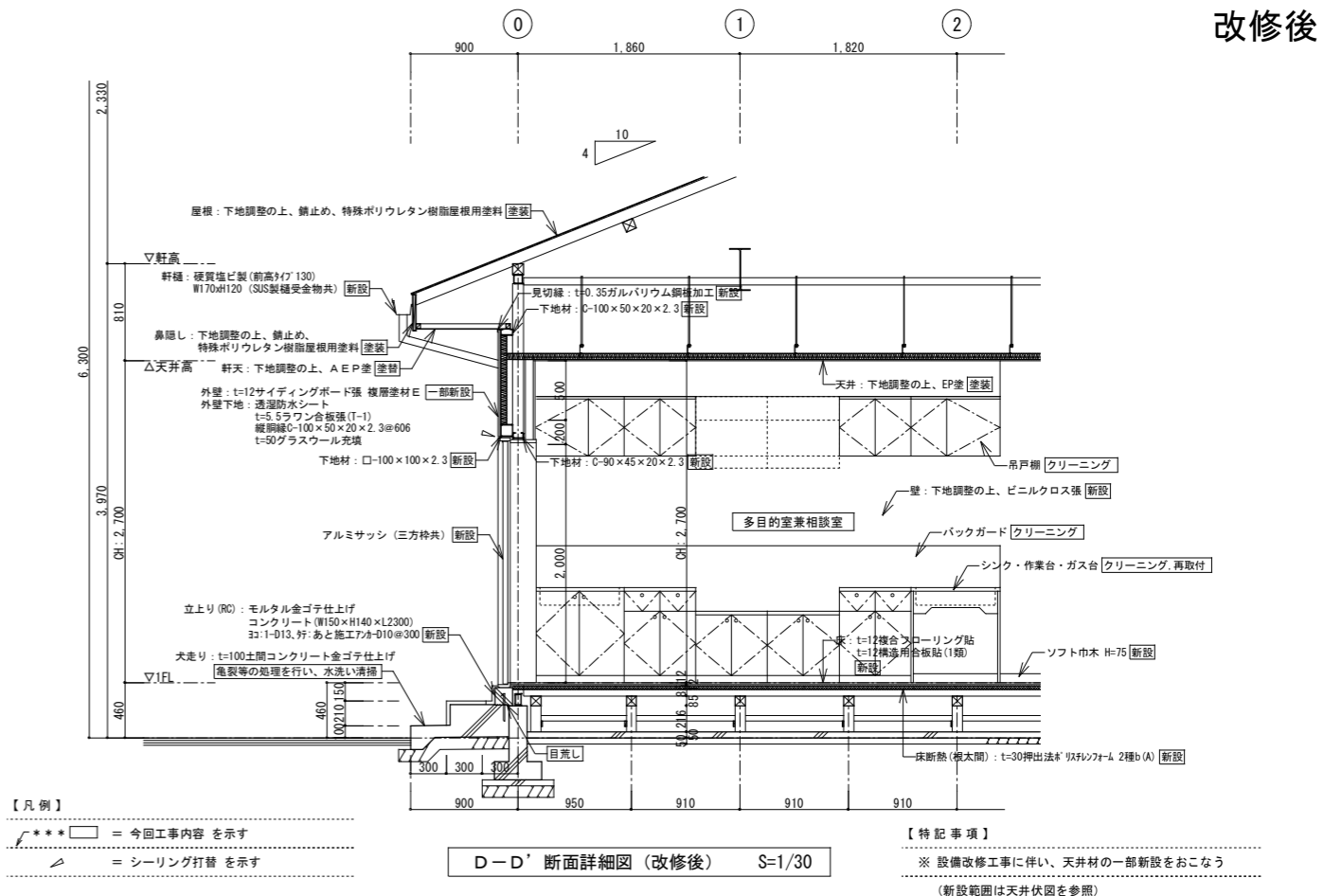
C-C' 断面詳細図 (改修後) S=1/30

改修前



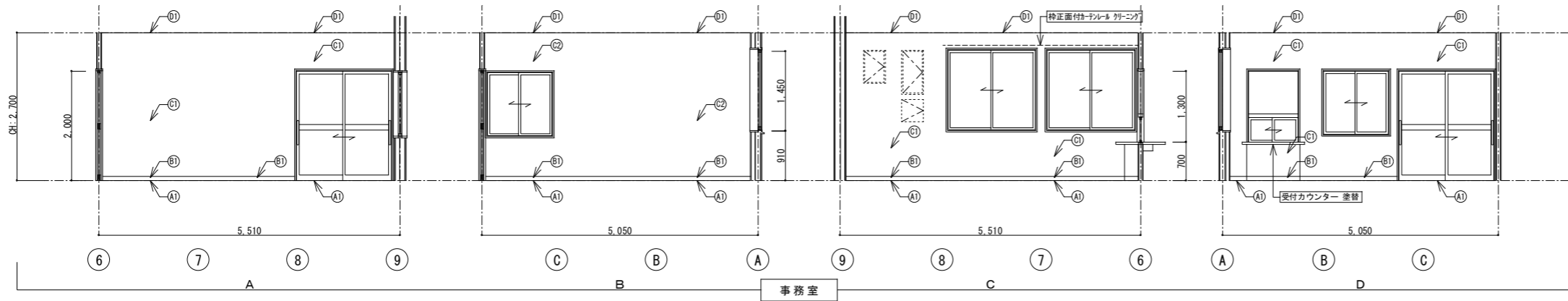
D-D' 断面詳細図 (改修前) S=1/30

改修後

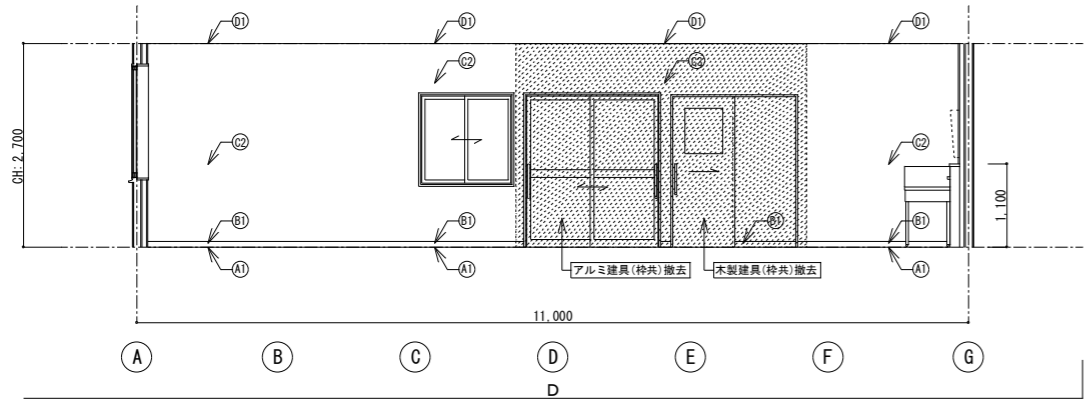
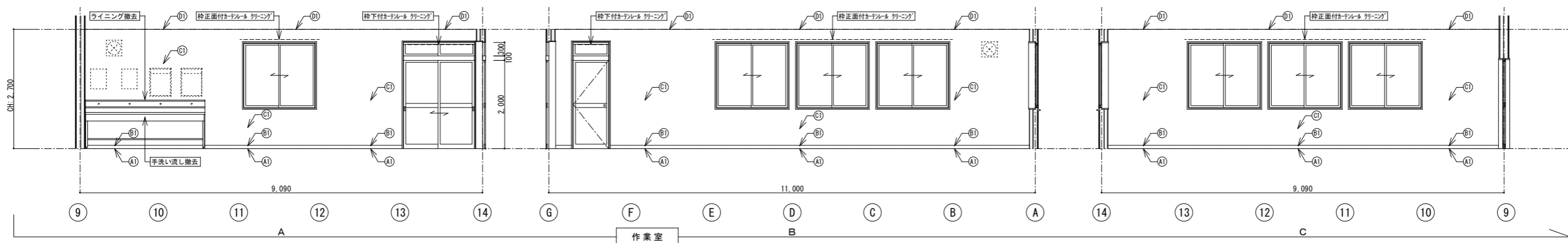


D-D' 断面詳細図 (改修後) S=1/30

設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:30 A3-1:60	ひまわり園改修工事	断面詳細図 (改修前・後)	A-18



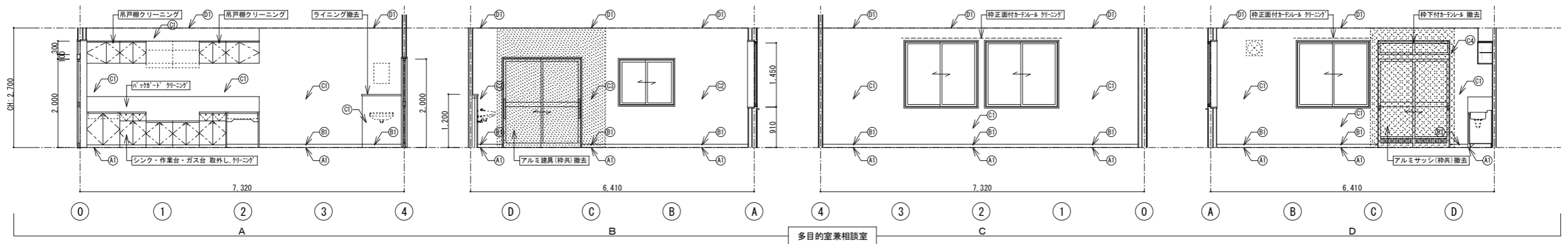
床	(A1)	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去
巾木	(B1)	ソフト巾木 H=75【AS.LV3】 \times V \times 3撤去
壁	(C1)	t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
	(C2)	t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
天井	(D1)	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装
備考		

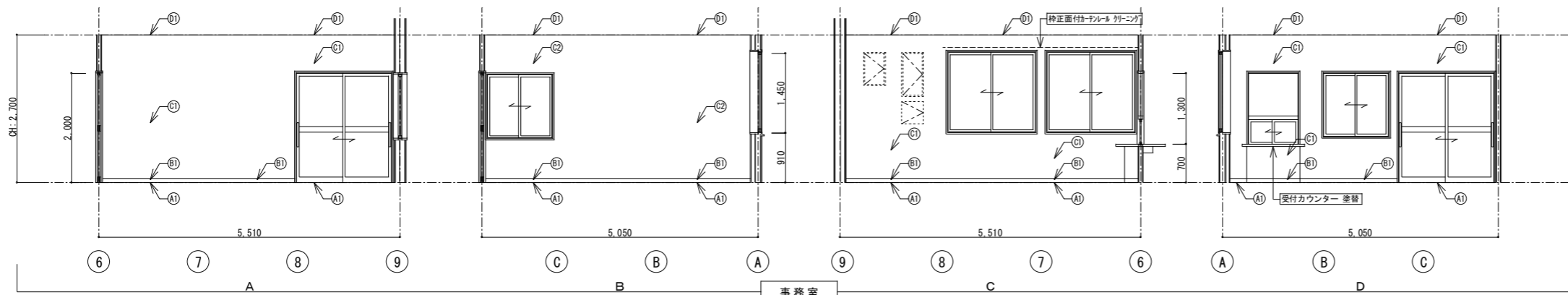


- 凡例
- = 防火上主要な間仕切り壁の一部撤去範囲を示す (t=12.5+12.5石膏ボード張 両面共、LGS下地)
 - = 防火上主要な間仕切り壁の一部撤去範囲を示す (t=9.5+9.5石膏ボード張 両面共、LGS下地)
 - = 外部建具撤去に伴う、内壁の一部撤去範囲を示す (t=12.5石膏ボード張、LGS下地)

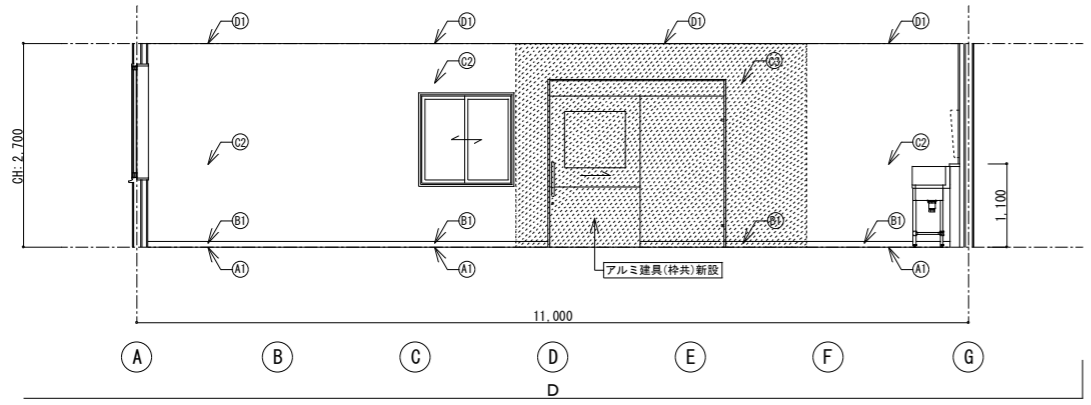
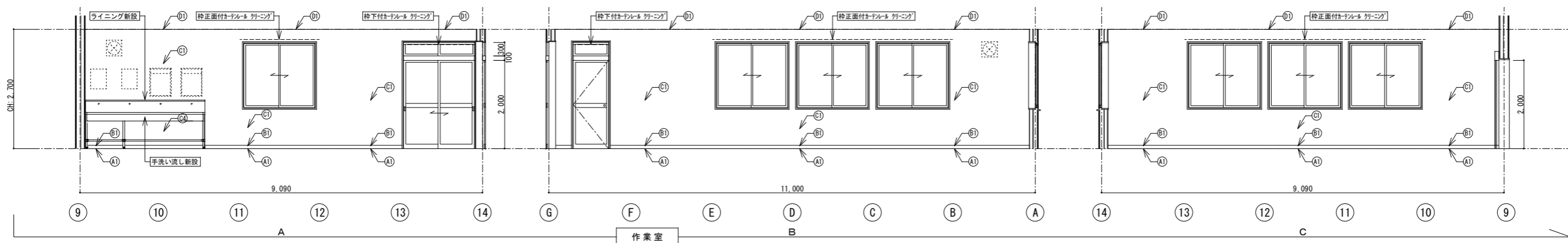
床	(A1)	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去
巾木	(B1)	ソフト巾木 H=75【AS.LV3】 \times V \times 3撤去
壁	(C1)	t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
	(C2)	t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
	(C3)	t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 撤去
天井	(D1)	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装
備考		※壁天井：雑燃以上【内装制限】 ※設備改修工事に伴い、天井材の一部撤去をおこなう (撤去範囲は天井伏図を参照)

床	(A1)	t=12フローリング貼 撤去 t=12ラワン合板捨貼 撤去
巾木	(B1)	ソフト巾木 H=75【AS.LV3】 \times V \times 3撤去
壁	(C1)	t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
	(C2)	t=9.5+9.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
	(C3)	t=9.5+9.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 撤去
	(C4)	t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 撤去
天井	(D1)	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装
備考		※壁天井：雑燃以上【内装制限】 ※設備改修工事に伴い、天井材の一部撤去をおこなう (撤去範囲は天井伏図を参照)





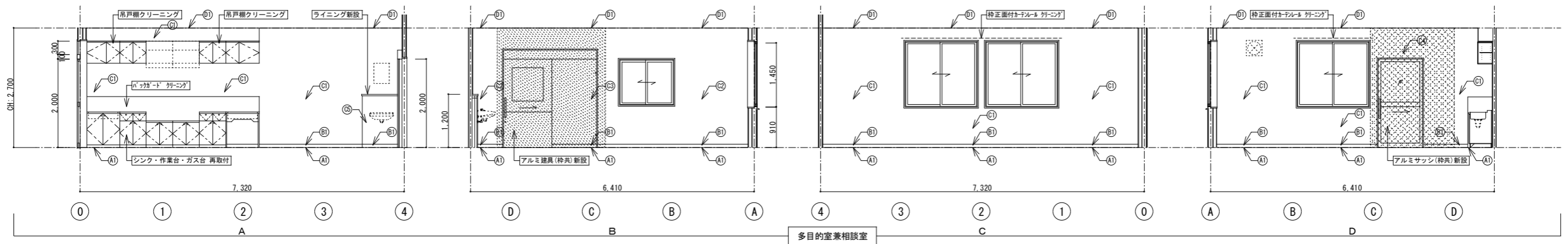
床	(A1)	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=12構造用合板貼(1類)、t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設
巾木	(B1)	ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C1)	下地調整の上、ビニルクロス張 新設
	(C2)	下地調整の上、ビニルクロス張 新設
天井	(D1)	下地調整の上、EP塗 塗装
備考		

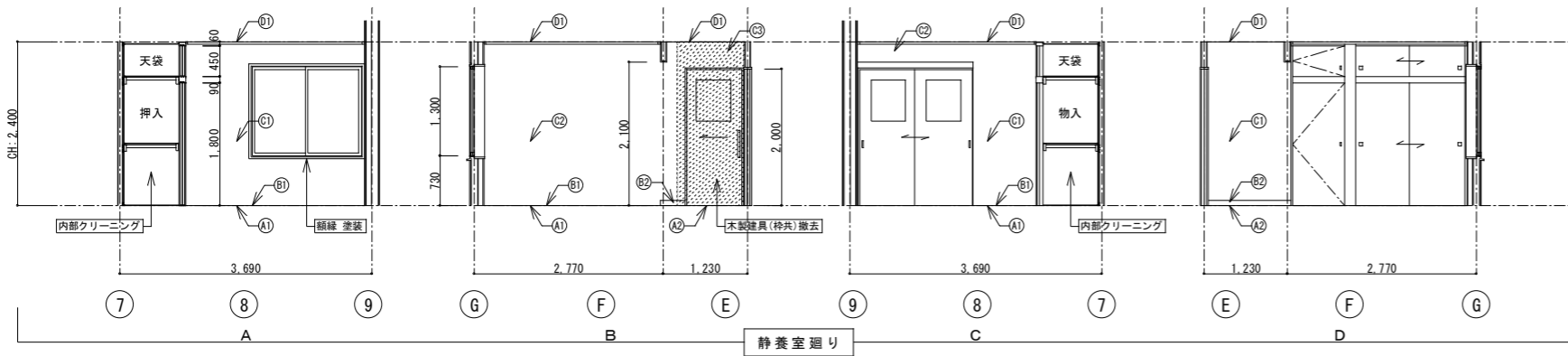


- 凡例
- = 防火上主要な間仕切り壁の 復旧範囲を示す (t=12.5+12.5石膏ボード張 両面共、LGS下地) (目地処理・四周処理をおこなうこと)
 - = 防火上主要な間仕切り壁の 復旧範囲を示す (t=9.5+9.5石膏ボード張 両面共、LGS下地) (目地処理・四周処理をおこなうこと)
 - = 外部建具新設に伴う、内壁の一部新設範囲を示す (t=12.5石膏ボード張、LGS下地)

床	(A1)	t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=12構造用合板貼(1類)、t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設
巾木	(B1)	ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C1)	下地調整の上、ビニルクロス張 新設
	(C2)	下地調整の上、ビニルクロス張 新設
	(C3)	t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
	(C4)	t=3メラミン化粧板張(樹脂製ジョイナー) 新設 t=12.5耐水石膏ボード下地 新設
天井	(D1)	下地調整の上、EP塗 塗装
備考		※壁天井：雑然以上【内装制限】 ※設備改修工事に伴い、天井材の一部新設をおこなう (新設範囲は天井伏図を参照)

床	(A1)	t=12複合フローリング貼 新設 t=12構造用合板貼(1類) 新設
巾木	(B1)	ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C1)	下地調整の上、ビニルクロス張 新設
	(C2)	下地調整の上、ビニルクロス張 新設
	(C3)	t=9.5+9.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
	(C4)	t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
	(C5)	t=3メラミン化粧板張(樹脂製ジョイナー) 新設 t=12.5耐水石膏ボード下地 新設
天井	(D1)	下地調整の上、EP塗 塗装
備考		※壁天井：雑然以上【内装制限】 ※設備改修工事に伴い、天井材の一部新設をおこなう (新設範囲は天井伏図を参照)



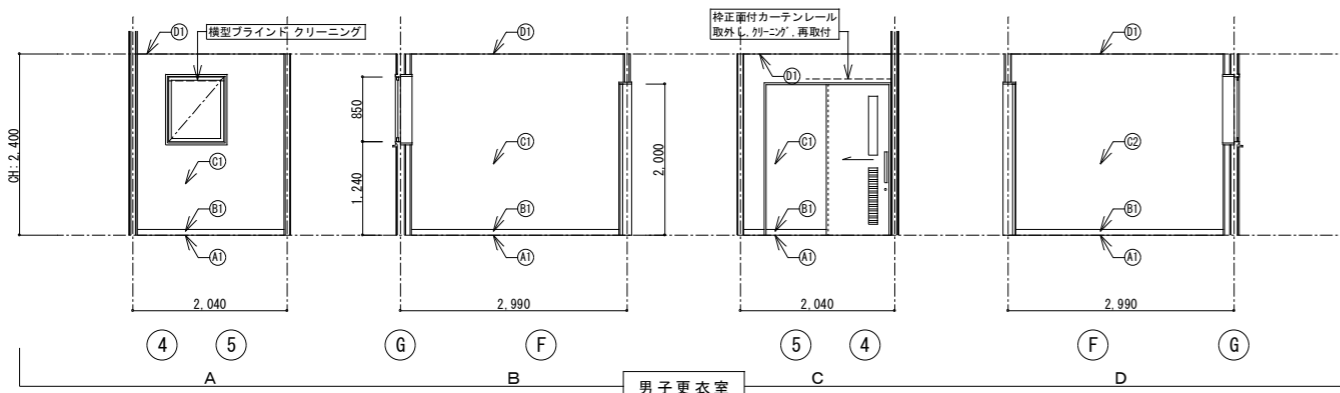


床	(A1) t=50タタミ敷 撤去 t=12ラワン合板貼
巾木	(B1) タタミ寄せ15×50
壁	(C1) t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去 (C2) t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
天井	(D1) t=9.5化粧石膏ボード張(木目調)
備考	※壁天井：難燃以上【内装制限】

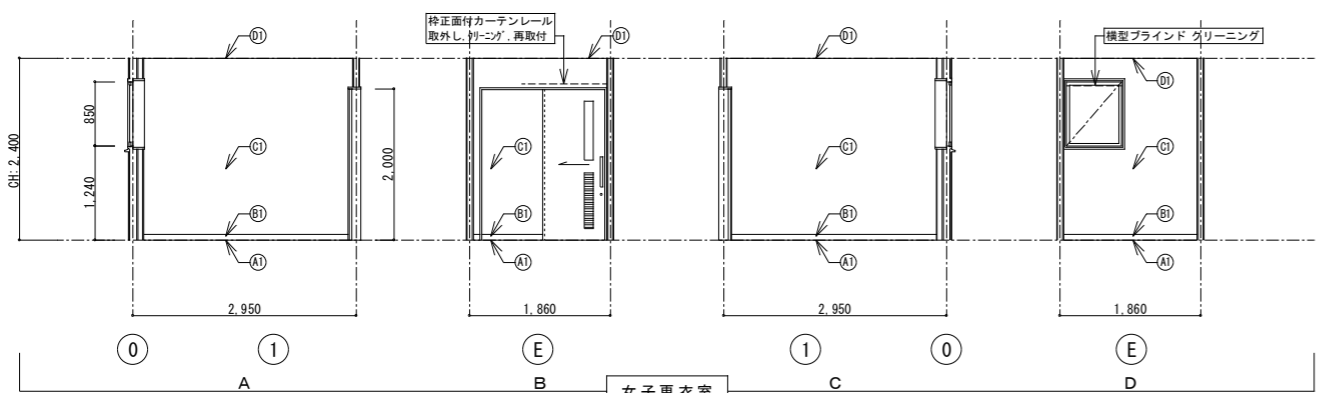
床	(A2) t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去
巾木	(B2) ソフト巾木 H=75【AS.LV3】 \sqrt{A} 撤去
壁	(C1) t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去 (C2) t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去 (C3) t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 撤去
天井	(D2) t=9.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
備考	※壁天井：難燃以上【内装制限】

凡例
 = 防火上主要な間仕切り壁の一部撤去範囲を示す (t=12.5+12.5石膏ボード張 両面共、LGS下地)

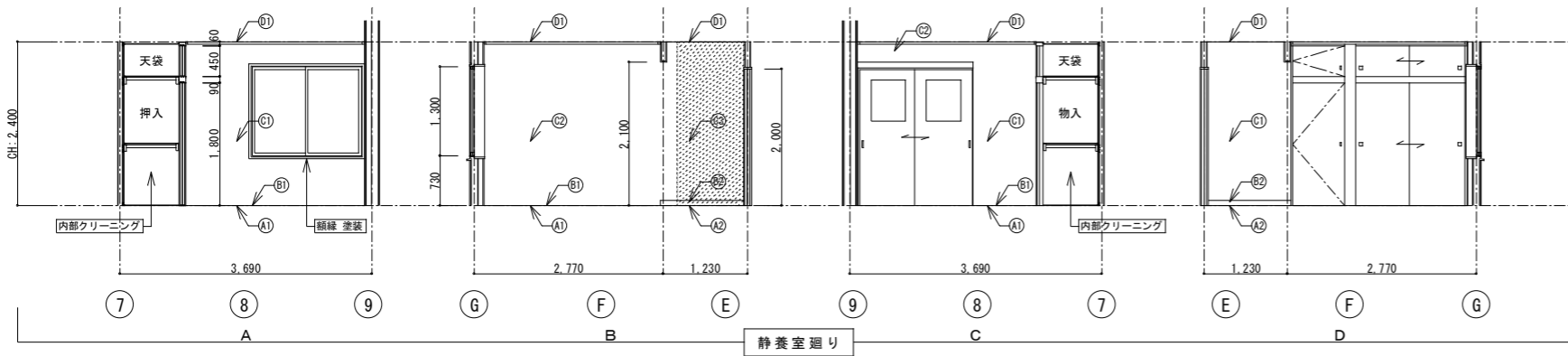
床	(A3) t=9ラワン合板貼
巾木	(B3) 雑巾摺15×10
壁	(C3) t=5.5ラワン合板張
天井	(D3) t=4ラワン合板張
備考	



床	(A1) t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去
巾木	(B1) ソフト巾木 H=75【AS.LV3】 \sqrt{A} 撤去
壁	(C1) t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去 (C2) t=9.5+9.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
天井	(D1) t=9.5化粧石膏ボード張 塗装
備考	



床	(A1) t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去
巾木	(B1) ソフト巾木 H=75【AS.LV3】 \sqrt{A} 撤去
壁	(C1) t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 加2撤去
天井	(D1) t=9.5化粧石膏ボード張 塗装
備考	

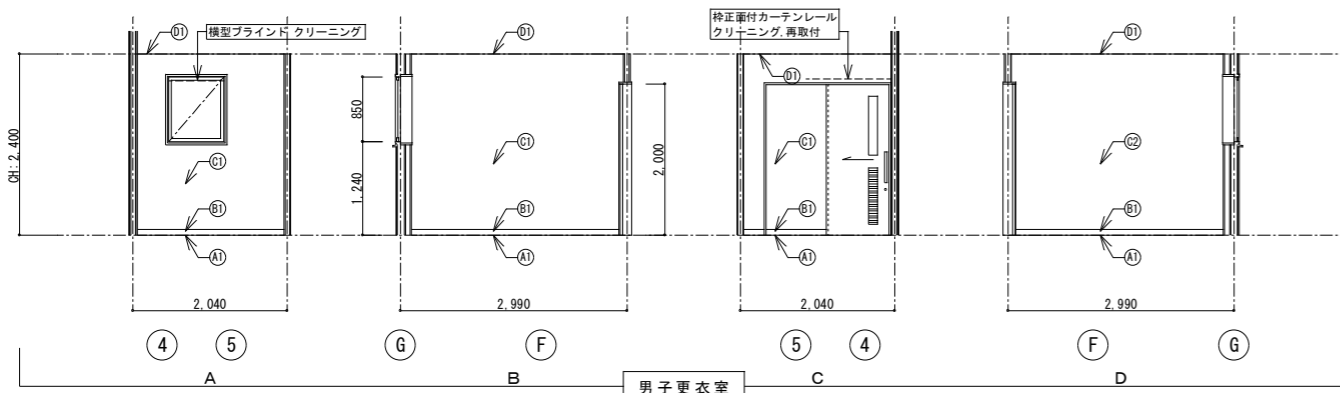


床	(A1) t=50樹脂タタミ敷 新設
巾木	(B1) タタミ寄せ15×50
壁	(C1) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設 (C2) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設
天井	(D1) t=9.5化粧石膏ボード張(木目調)
備考	※壁天井：難燃以上【内装制限】

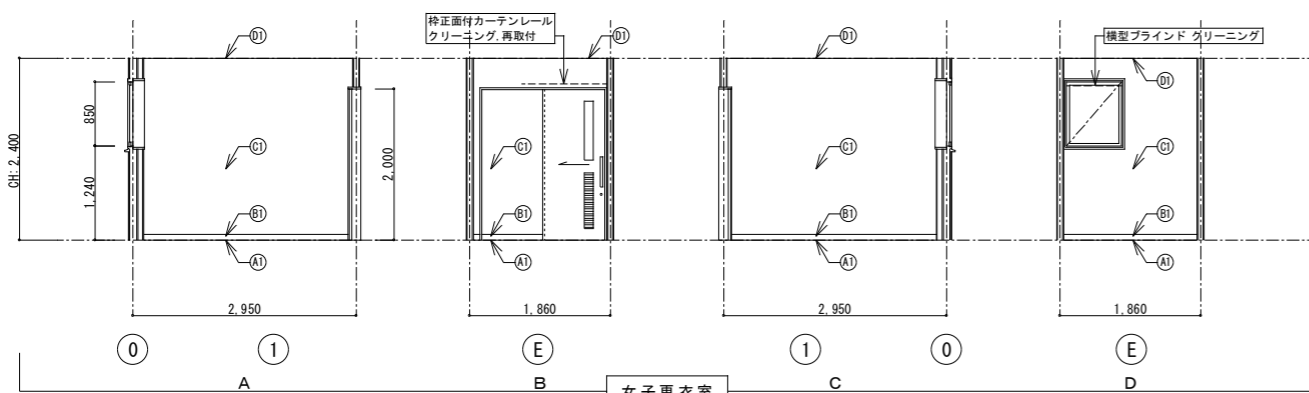
床	(A2) t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=12構造用合板貼(1類)、t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設
巾木	(B2) ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C1) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設 (C2) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設 (C3) t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
天井	(D2) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設
備考	※壁天井：難燃以上【内装制限】

凡例
 = 防火上主要な間仕切り壁の復旧範囲を示す (t=12.5+12.5石膏ボード張 両面共、LGS下地) (目地処理・四周処理をおこなうこと)

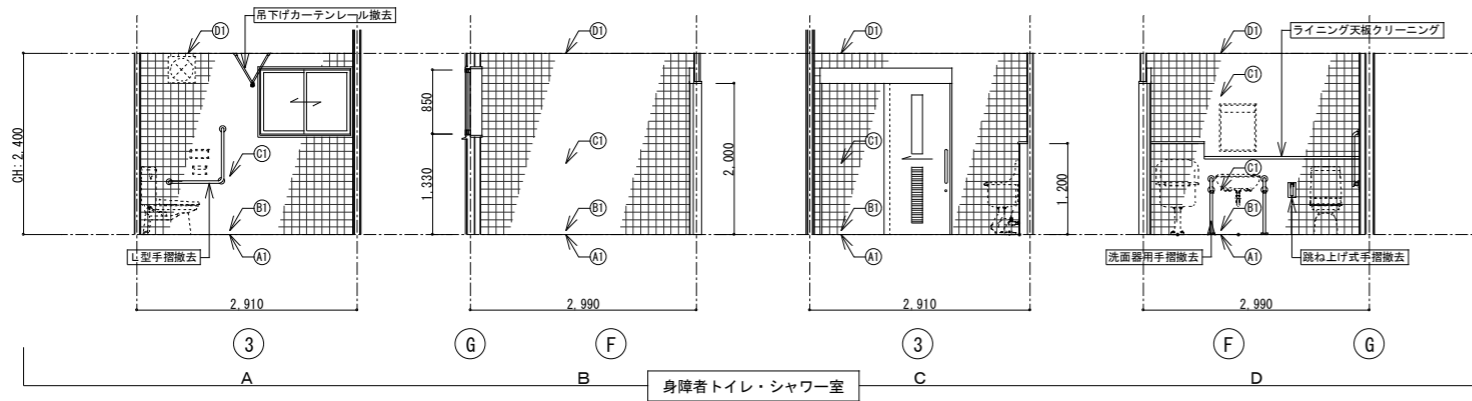
床	(A3) t=9ラワン合板貼
巾木	(B3) 雑巾摺15×10
壁	(C3) t=5.5ラワン合板張
天井	(D3) t=4ラワン合板張
備考	



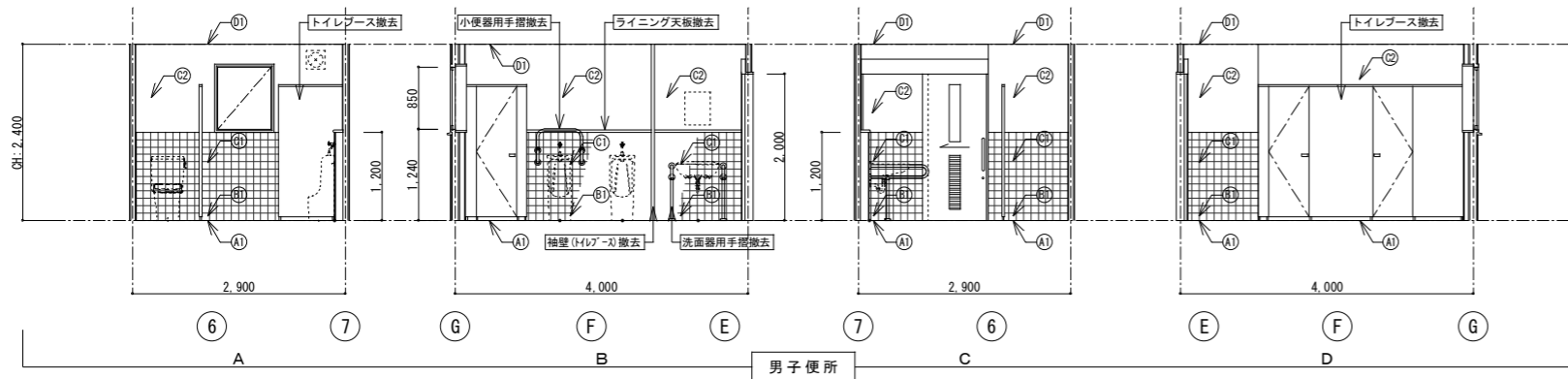
床	(A1) t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=12構造用合板貼(1類)、t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設
巾木	(B1) ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C1) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設 (C2) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設
天井	(D1) 下地調整の上、EP塗 塗装
備考	



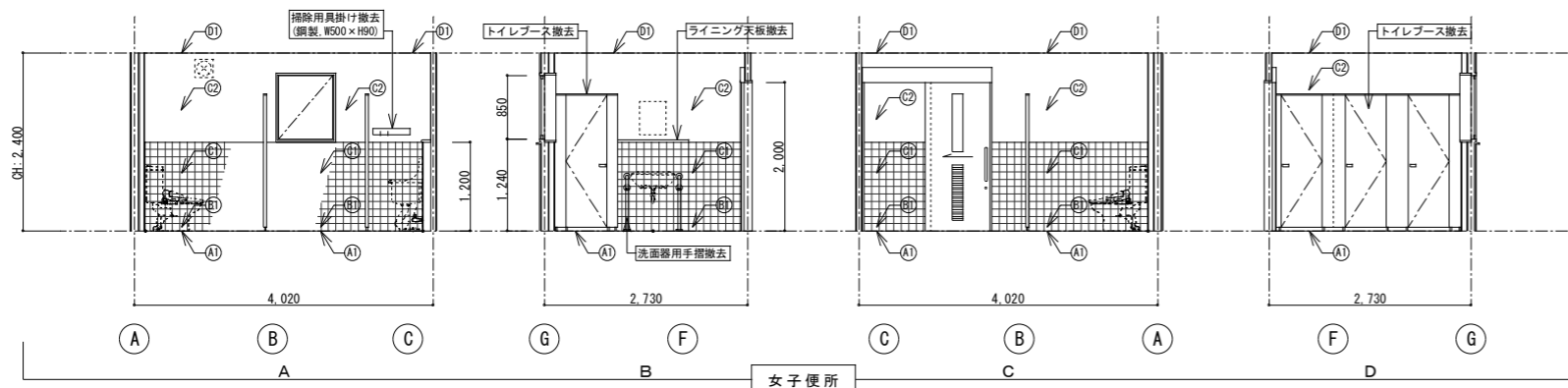
床	(A1) t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=12構造用合板貼(1類)、t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設
巾木	(B1) ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C1) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設
天井	(D1) 下地調整の上、EP塗 塗装
備考	



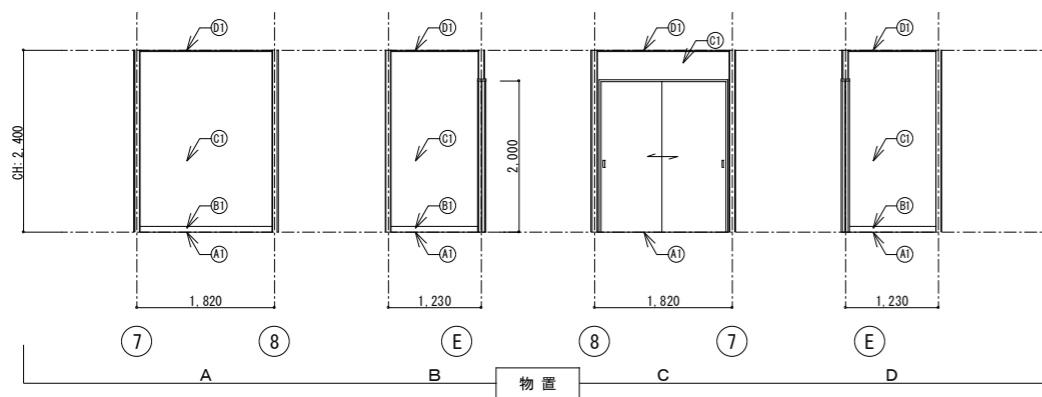
床	(A) 50角モザイクタイル貼 強洗浄、酸洗い モルタル下地
巾木	(B) 100角磁器タイル張 強洗浄、酸洗い
壁	(C) 100角磁器タイル張 強洗浄、酸洗い t=6フレキシブルボード下地【AS.LV3】
天井	(D) t=9バスのり張 撤去
備考	



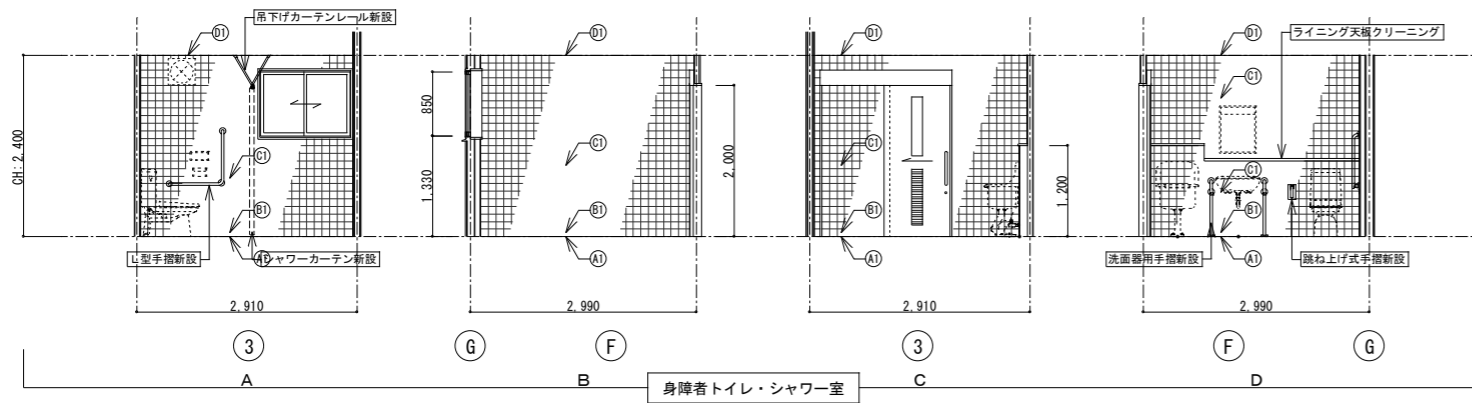
床	(A) 50角モザイクタイル貼 撤去 モルタル下地 撤去
巾木	(B) 100角磁器タイル張 撤去
壁	(C) 100角磁器タイル張 撤去 t=6フレキシブルボード下地【AS.LV3】 (D) t=6フレキシブルボード張【AS.LV3】VP塗 撤去
天井	(E) t=5ケイカル板張【AS.LV3】VP塗 撤去
備考	



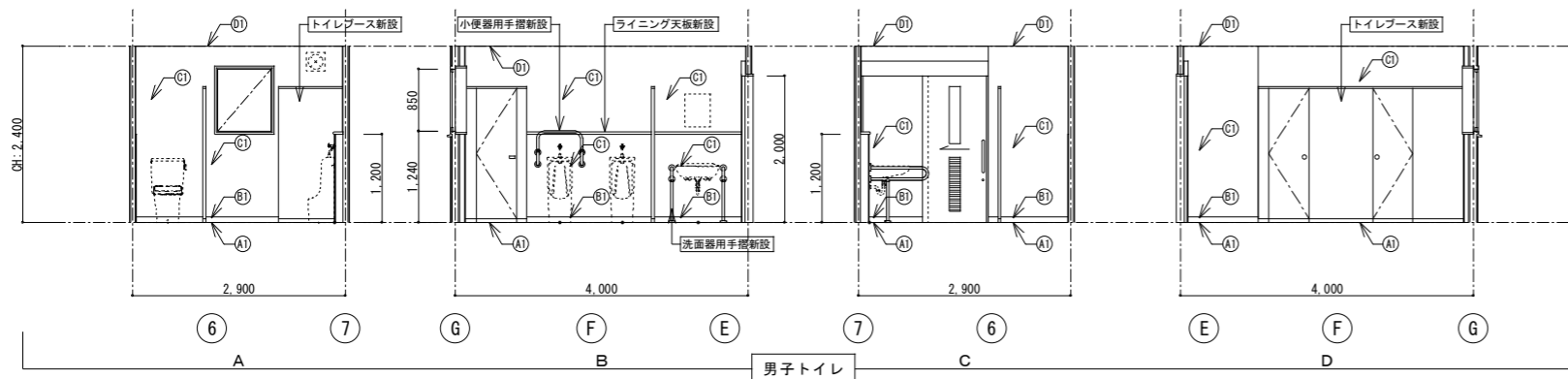
床	(A) 50角モザイクタイル貼 撤去 モルタル下地 撤去
巾木	(B) 100角磁器タイル張 撤去
壁	(C) 100角磁器タイル張 撤去 t=6フレキシブルボード下地【AS.LV3】 (D) t=6フレキシブルボード張【AS.LV3】VP塗 撤去
天井	(E) t=5ケイカル板張【AS.LV3】VP塗 撤去
備考	



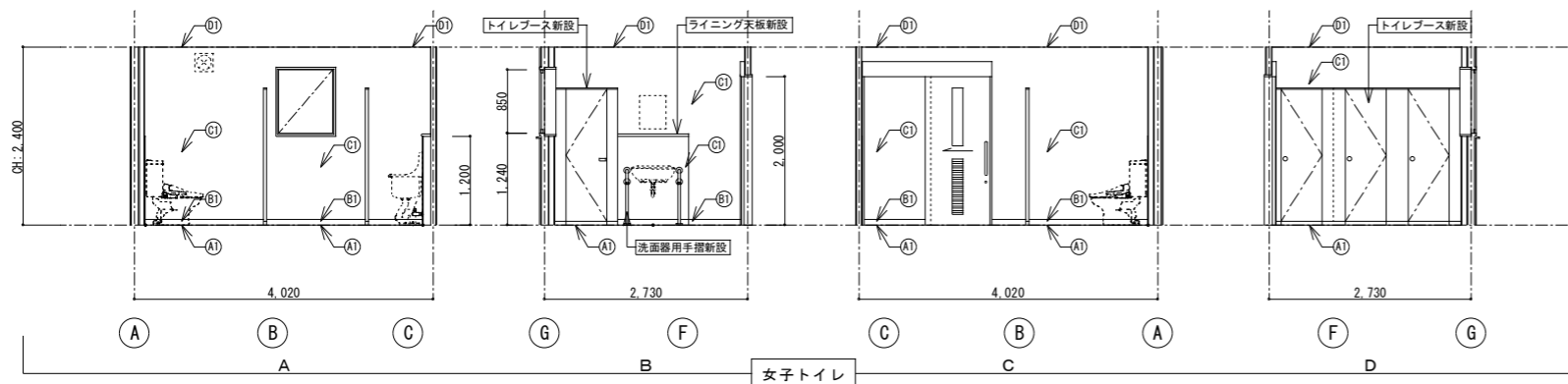
床	(A) t=2.0奥尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去
巾木	(B) ソフト巾木 H=75【AS.LV3】 (C) 撤去
壁	(D) t=6フレキシブルボード張【AS.LV3】VP塗 塗替
天井	(E) t=5ケイカル板張【AS.LV3】VP塗 塗替
備考	



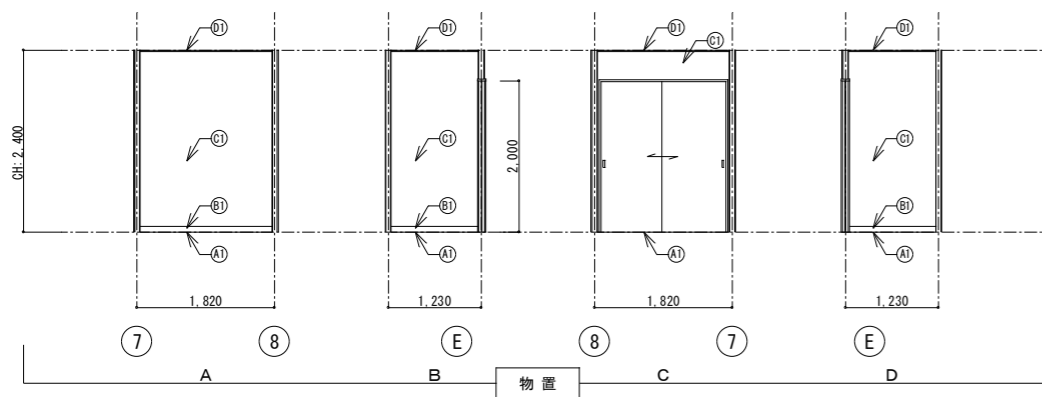
床	(A) 50角モザイクタイル貼 強洗浄、酸洗い
巾木	(B) 100角磁器タイル張 強洗浄、酸洗い
壁	(C) 100角磁器タイル張 強洗浄、酸洗い
天井	(D) t=9バスのり張 新設
備考	※手摺は全てφ34SUS製樹脂被覆タイプ



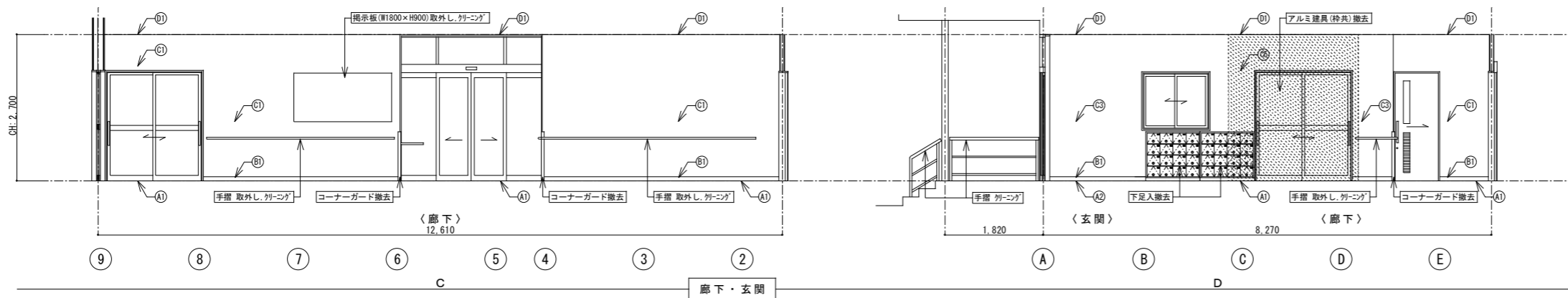
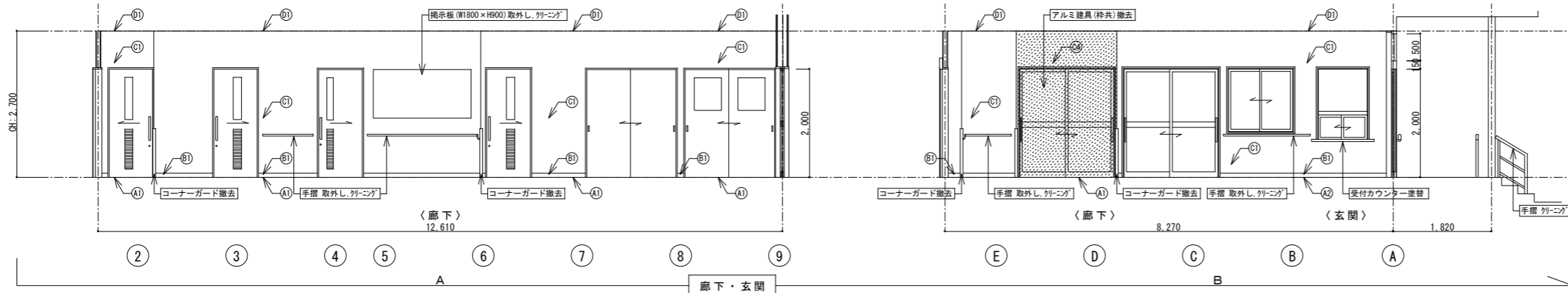
床	(A) t=2.0長尺塩ビシート貼 (抗菌性) 新設 モルタル下地 新設
巾木	(B) ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C) t=6化粧ケイカル板張 (7&8シヨイテ) 新設 (C2) t=12.5耐水石膏ボード下地 新設
天井	(D) t=9.5化粧石膏ボード張 新設
備考	※手摺は全てφ34SUS製樹脂被覆タイプ



床	(A) t=2.0長尺塩ビシート貼 (抗菌性) 新設 モルタル下地 新設
巾木	(B) ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C) t=6化粧ケイカル板張 (7&8シヨイテ) 新設 (C2) t=12.5耐水石膏ボード下地 新設
天井	(D) t=9.5化粧石膏ボード張 新設
備考	※手摺は全てφ34SUS製樹脂被覆タイプ



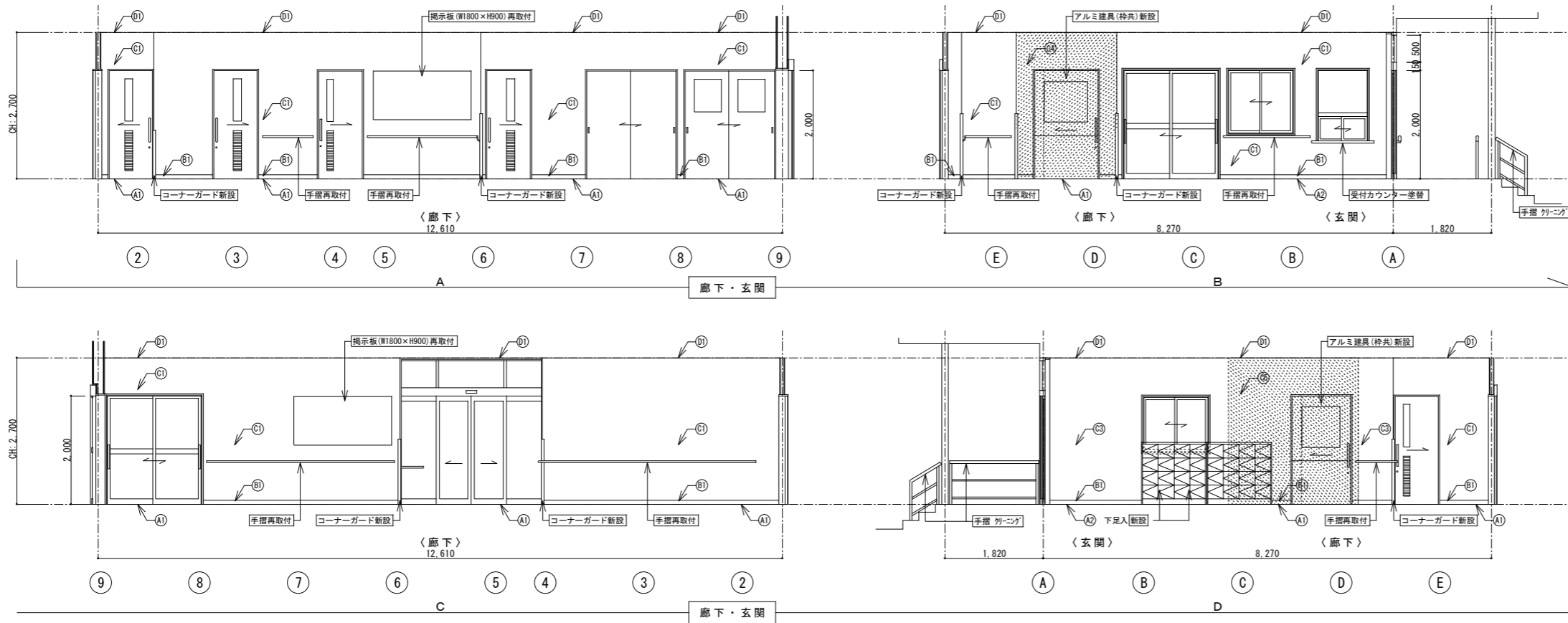
床	(A) t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=12構造用合板貼 (1類)、t=5.5ラワン合板貼 (T-2) 新設
巾木	(B) ソフト巾木 H=75 新設
壁	(C) 下地調整の上、EP塗 塗替
天井	(D) 下地調整の上、EP塗 塗替
備考	



床	(A1)	t=2.0長尺塩ビシート貼 撤去 t=12+5.5ラワン合板貼 撤去
巾木	(B1)	ソフト巾木 H=75【AS、LV3】 $\text{L}^{\text{A}} \text{B}^{\text{A}}$ 撤去
壁	(C1)	t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 A^{A} 撤去
	(C2)	t=12.5+12.5石膏 A^{A} - D 下地、ビニルクロス張 A^{A} 撤去
	(C3)	t=9.5+9.5石膏 A^{A} - D 下地、ビニルクロス張 A^{A} 撤去
	(C4)	t=12.5+12.5石膏 A^{A} - D 下地、ビニルクロス張 撤去
天井	(D1)	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装
	備考	※壁天井：準不燃以上【内装制限】 ※設備改修工事に伴い、天井材の一部撤去をおこなう (撤去範囲は天井伏図を参照)

床	(A2)	100角磁器質タイル貼 水洗い清掃 モルタル下地
巾木	(B1)	ソフト巾木 H=75【AS、LV3】 $\text{L}^{\text{A}} \text{B}^{\text{A}}$ 撤去
壁	(C1)	t=15強化石膏ボード下地、ビニルクロス張 A^{A} 撤去
	(C3)	t=9.5+9.5石膏 A^{A} - D 下地、ビニルクロス張 A^{A} 撤去
天井	(D1)	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装
備考		※壁天井：準不燃以上【内装制限】

	= 防火上主要な間仕切り壁の一部撤去範囲を示す (t=12.5+12.5石膏ボード張 両面共、LGS下地)
	= 防火上主要な間仕切り壁の一部撤去範囲を示す (t=9.5+9.5石膏ボード張 両面共、LGS下地)



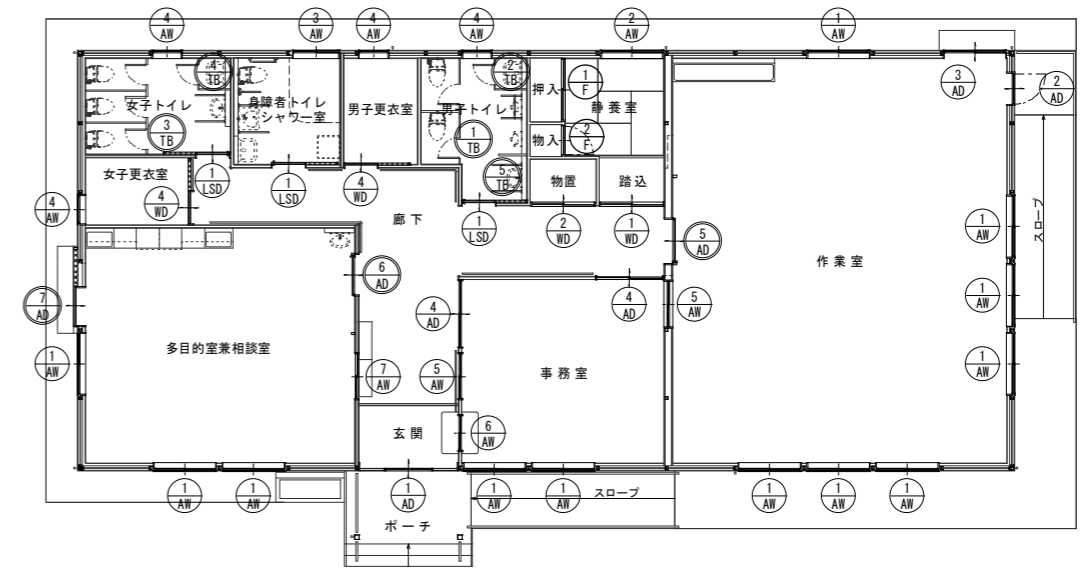
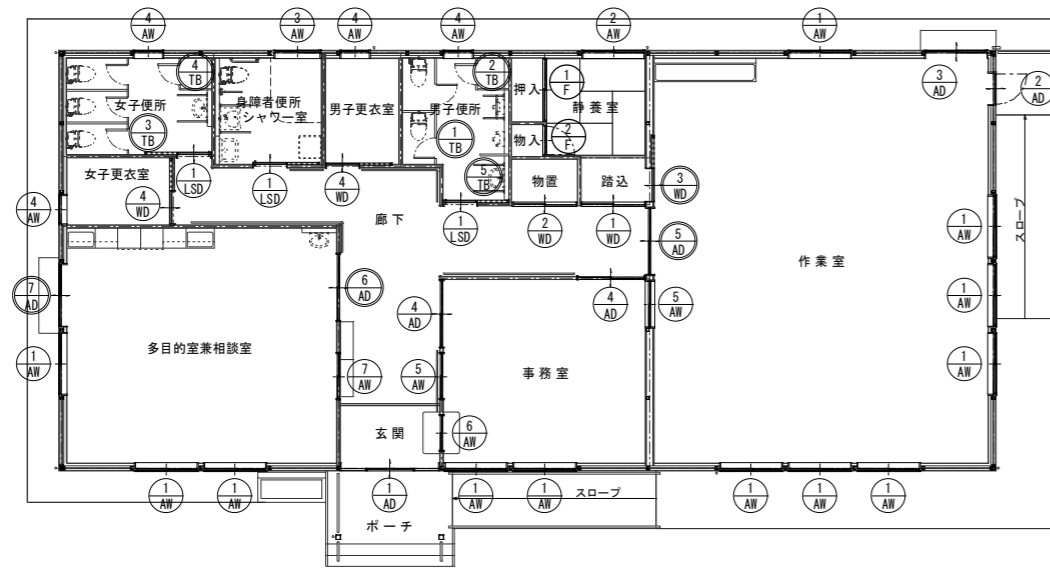
廊下 (改修後)	
仕上表	
床	A1 t=2.0長尺塩ビシート貼 新設 t=12構造用合板貼(1類)、t=5.5ラワン合板貼(T-2) 新設
巾木	B1 ソフト巾木 H=75 新設
壁	C1 下地調整の上、ビニルクロス張 新設 C2 下地調整の上、ビニルクロス張 新設 C3 下地調整の上、ビニルクロス張 新設 C4 t=12.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設 C5 t=9.5+9.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
天井	D1 下地調整の上、EP塗 塗装
備考	※壁天井：準不燃以上【内装制限】 ※設備改修工事に伴い、天井材の一部新設をおこなう (新設範囲は天井伏図を参照)

玄関 (改修後)	
仕上表	
床	A1 100角磁器質タイル貼 水洗い清掃
巾木	B1 ソフト巾木 H=75 新設
壁	C1 下地調整の上、ビニルクロス張 新設 C2 下地調整の上、ビニルクロス張 新設
天井	D1 下地調整の上、EP塗 塗装
備考	※壁天井：準不燃以上【内装制限】

凡例	
	= 防火上主要な間仕切り壁の 復旧範囲 を示す (t=12.5+12.5石膏ボード張 両面共、LGS下地) (目地処理・四周処理をおこなうこと)
	= 防火上主要な間仕切り壁の 復旧範囲 を示す (t=9.5+9.5石膏ボード張 両面共、LGS下地) (目地処理・四周処理をおこなうこと)

改修前

改修後



建具キープラン (改修前) S=1/100

建具キープラン (改修後) S=1/100

凡例
 (1/**) : 改修建具を示す
 (1/**) : 撤去建具を示す

凡例
 (1/**) : 改修建具を示す
 (1/**) : 新設建具を示す

設計年月日	2026.03	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	A1-1:100 A3-1:200	工事名称	ひまわり園改修工事	図面名称	建具キープラン (改修前・後)	図面番号	A-27

ひまわり園棟

改修前・後

姿 図	<p>(AW、AD 特記事項)</p> <p>既存建具</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部サッシのアルミカラーはホワイト色とする。 内部サッシのアルミカラーはブロンズ色とする。 網戸は既存のままとする。 ドアハンドル：真鍮製 L=400 <p>改修建具</p> <ul style="list-style-type: none"> 建具点検調整は、全てのクレセント・戸車をおこなう。 クリーニングは、ガラス両面共を含む。 一部、錠（鍵）の交換をおこなう。 <p>新設建具</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部サッシのアルミカラーはブロンズ色とする。 ドアハンドル：ステンレス製 L=450 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 建具廻りシーリング撤去・新設は、水切り下端も含む。 		<p>① AW 改修</p>	<p>② AW 改修</p>	<p>③ AW 改修</p>	<p>④ AW 改修</p>	<p>⑤ AW 改修</p>						
	型式	見込	アルミ製 引違い窓	70	アルミ製 引違い窓	70	アルミ製 引違い窓	70	アルミ製 横滑り出し窓	70	アルミ製 引違い窓	70	
位置	数量	事務室、作業室、多目的室兼相談室	12	静養室	1	身障者便所	1	男子・女子更衣室、男子・女子便所	4	事務室、作業室	2		
硝子	仕上	t=3 透明ガラス	カラーアルミ	t=3 透明ガラス	カラーアルミ	t=4 型ガラス	カラーアルミ	t=4 型ガラス	カラーアルミ	t=3 透明ガラス	カラーアルミ		
金物	戸車、レール、クレセント、水切り、網戸、付属金物一式												
今回工事	クリーニング（ガラス共）、建具点検調整 建具廻りシーリング撤去・新設												
姿 図	<p>⑥ AW 改修</p>		<p>⑦ AW 改修</p>		<p>① AD 改修</p>		<p>② AD 改修</p>		<p>③ AD 改修</p>		<p>④ AD 改修</p>		
	型式	見込	アルミ製 引違い窓	70	アルミ製 引違い窓	70	アルミ製 引き分け自動ドア ランマ付	100	アルミ製 片開き戸 ランマ付	70	アルミ製 引違い戸 ランマ付	70	アルミ製 引違い戸
位置	数量	事務室	1	多目的室兼相談室	1	玄関	1	作業室	1	作業室	1	事務室	2
硝子	仕上	t=3 透明ガラス	カラーアルミ	t=3 透明ガラス	カラーアルミ	t=5 強化透明ガラス ランマ：t=3 透明ガラス	カラーアルミ	t=3 透明ガラス 腰：t=6.8 網入り透明ガラス	カラーアルミ	t=3 透明ガラス 腰：t=6.8 網入り透明ガラス	カラーアルミ	t=6.8 網入り透明ガラス	カラーアルミ
金物	戸車、レール、クレセント、付属金物一式												
今回工事	クリーニング（ガラス共）、建具点検調整 建具廻りシーリング撤去・新設												
姿 図	<p>⑤ AD 撤去</p>		<p>⑤ AD 新設</p>		<p>⑥ AD 撤去</p>		<p>⑥ AD 新設</p>		<p>⑦ AD 撤去</p>		<p>⑦ AD 新設</p>		
	型式	厚厚	アルミ製 引違い戸	70	アルミ製 片引き ハンガー フラッシュドア (外付け)	100	アルミ製 引違い戸	70	アルミ製 片引き ハンガー フラッシュドア (外付け)	100	アルミ製 引違い戸 ランマ付	70	アルミ製 片引き (外付け)
位置	数量	作業室	1	作業室	1	多目的室兼相談室	1	多目的室兼相談室	1	多目的室兼相談室	1	多目的室兼相談室	1
硝子	仕上	t=6.8 網入り透明ガラス	カラーアルミ	t=4 強化透明ガラス	カラーアルミ	t=6.8 網入り透明ガラス	カラーアルミ	t=4 強化透明ガラス	カラーアルミ	t=3 透明ガラス 腰：t=6.8 網入り透明ガラス	カラーアルミ	t=4 強化透明ガラス	カラーアルミ
金物	ドアハンドル、空錠/空錠、戸車、レール、付属金物一式												
今回工事	撤去（枠共）												
<p>新設</p> <p>アルミ三方枠新設（コナガト付 H=1800）</p>													

設計年月日	2026.03	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	A1-1:50 A3-1:100	工事名称	ひまわり園改修工事	図面名称	建具表(1) (改修前・後)	図面番号	A-28
-------	---------	------------------------	----	---------------------	------	-----------	------	----------------	------	------

ひまわり園棟

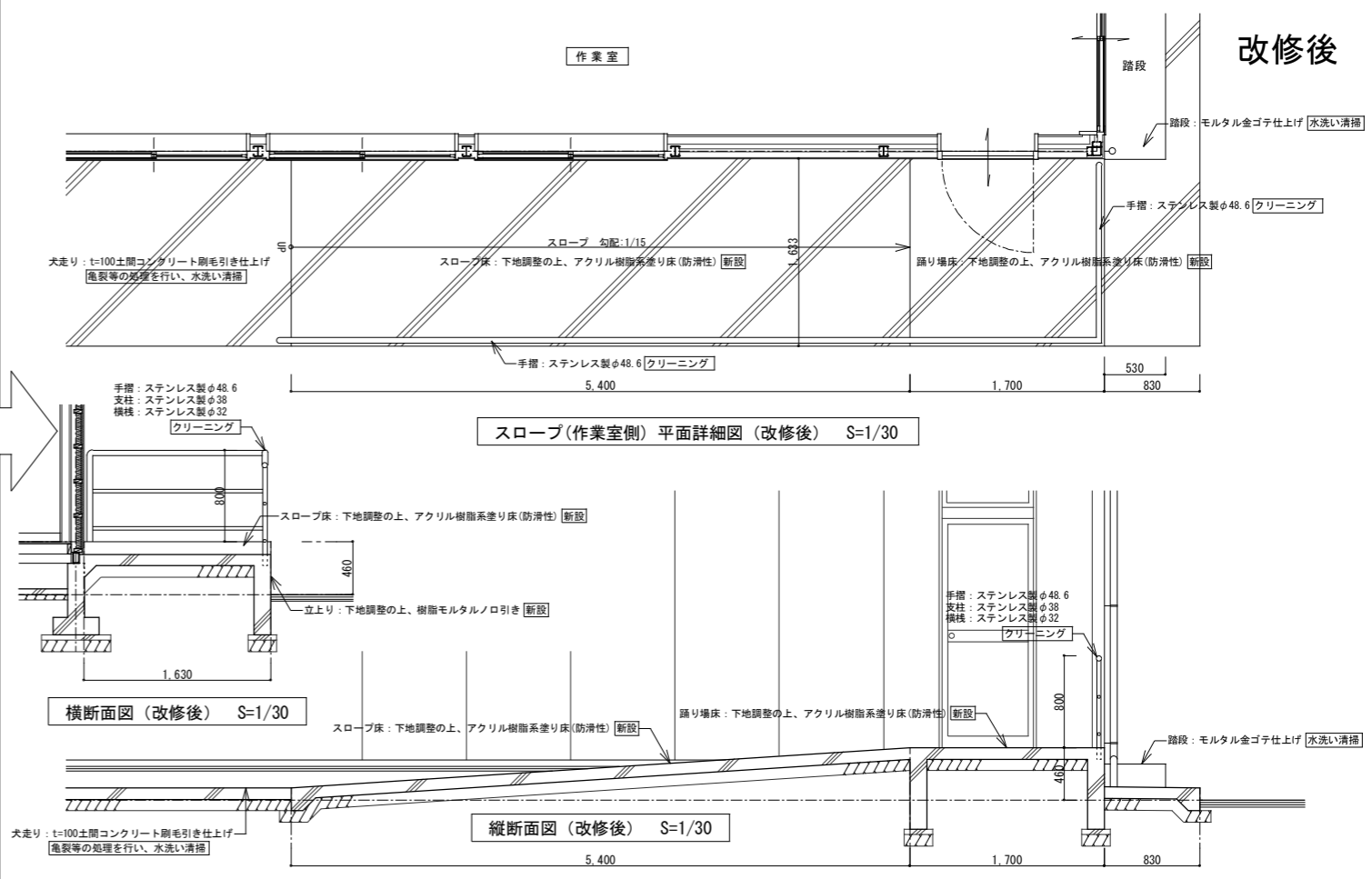
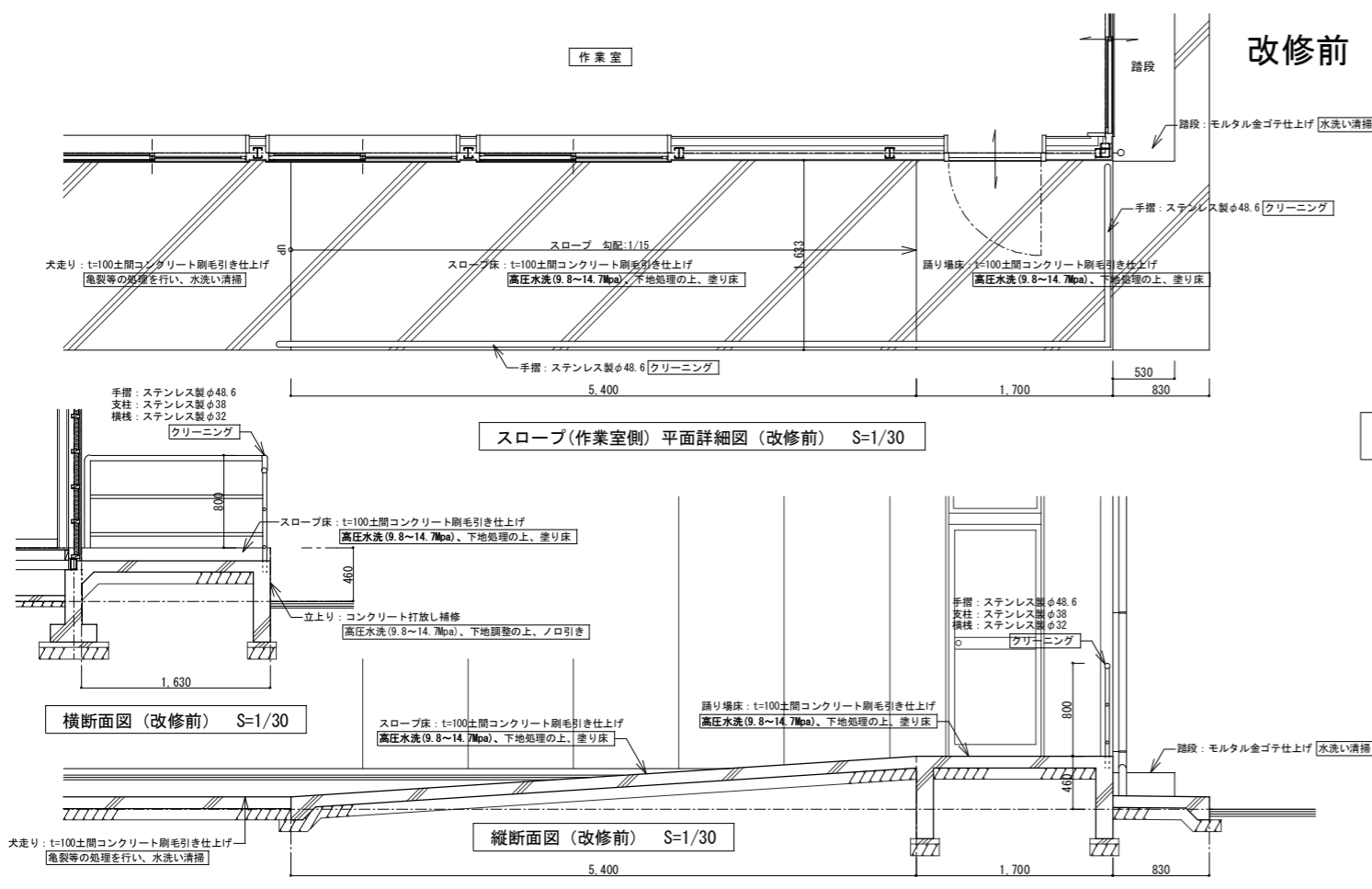
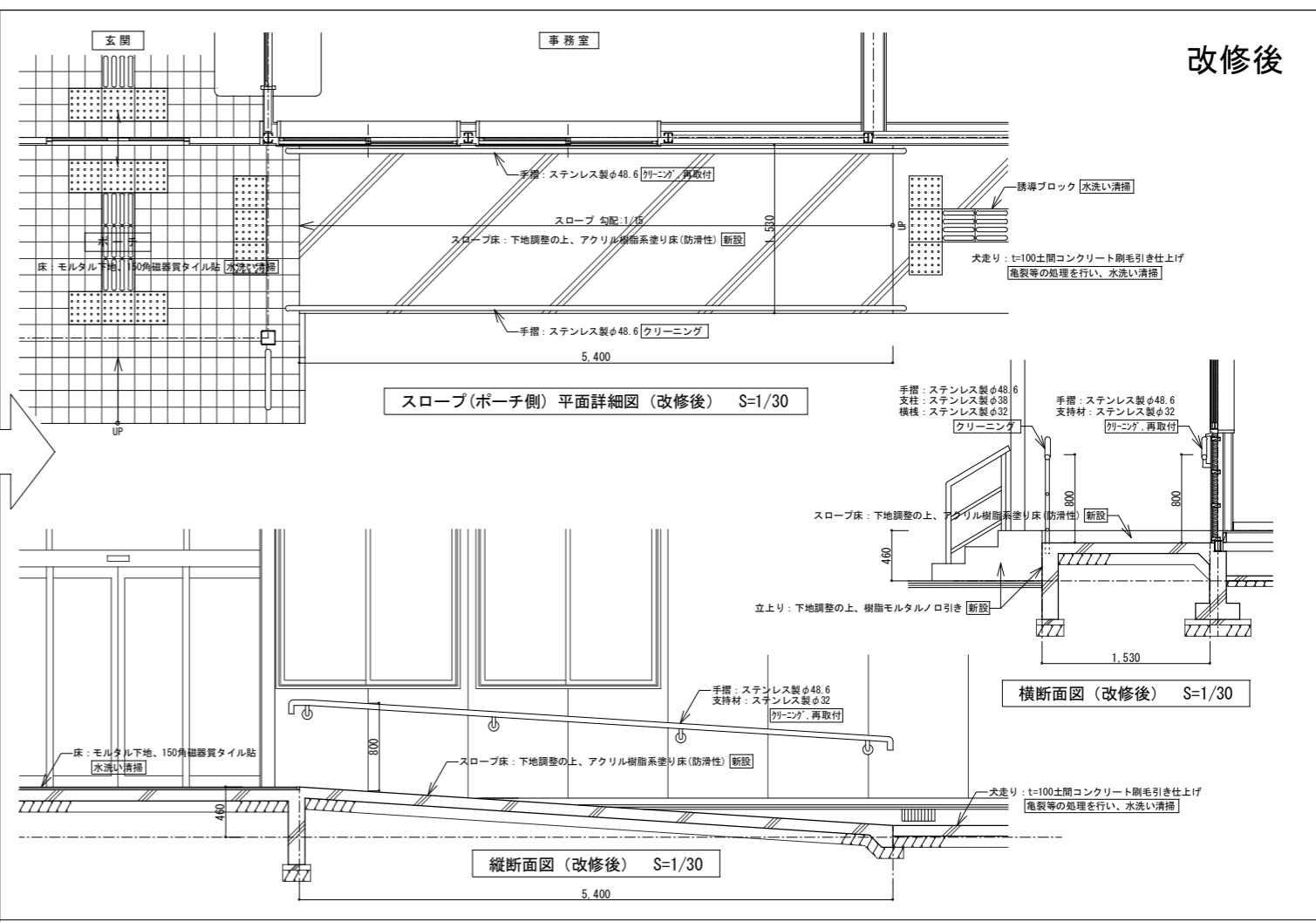
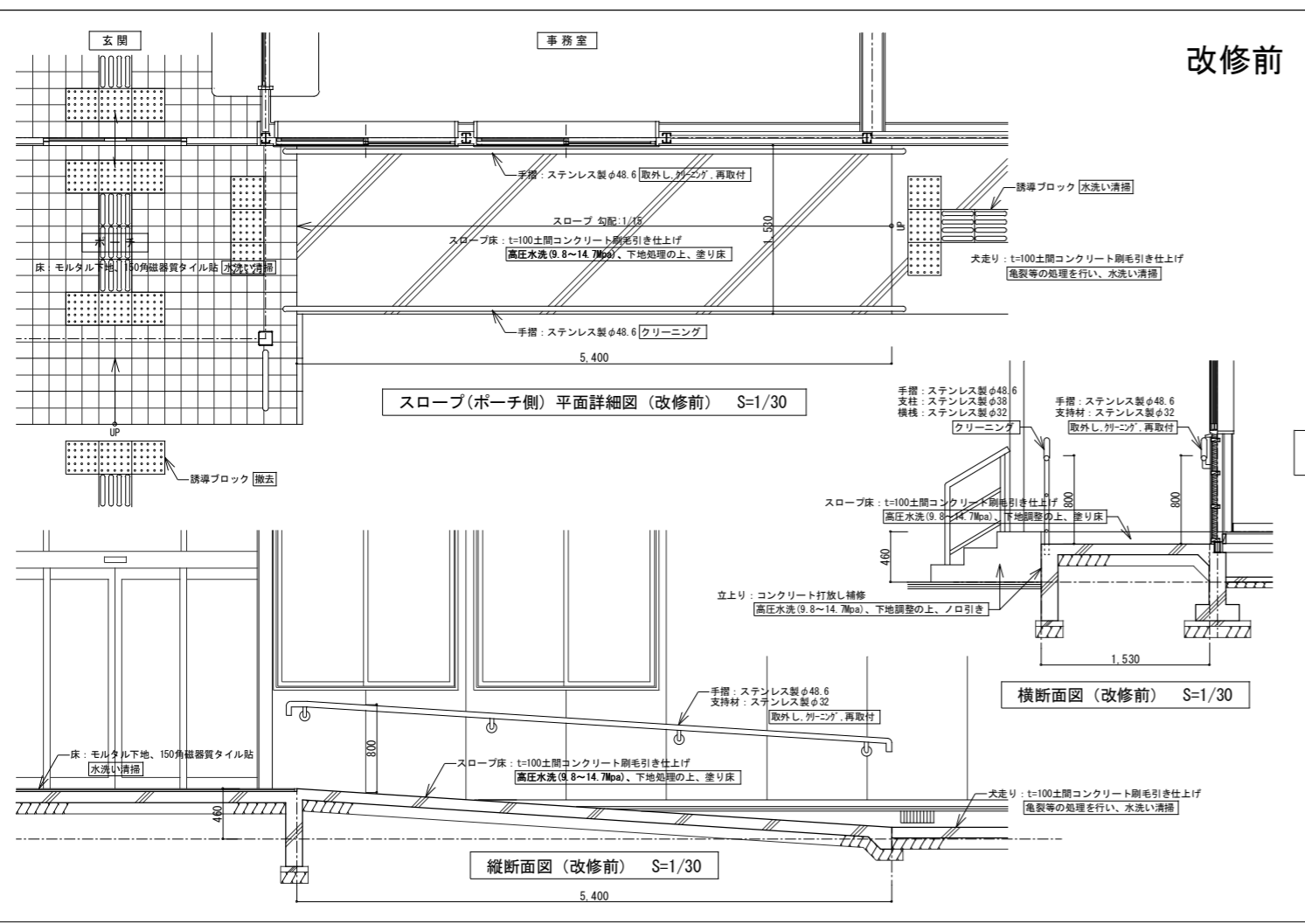
改修前・後

姿 図	<p>〈LSD 特記事項〉</p> <p>既存建具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特記なき限り、枠はスチール製SOP塗とする。 ・ドアハンドル：真鍮製 L=400 <p>改修建具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングは、ガラス両面共を含む。 ・クリーニングは、ガラリの清掃を含む。 ・錠（鍵）の交換をおこなう。 ・扉の取外し、再取付を見込む。 <p>新設建具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具の色はホワイトを基調とする。 ・ドアハンドル：ステンレス製 L=450 		<p>① LSD 改修</p>											
	型式	扉厚	軽量鋼製 片引き ハンガードア	36										
	位置	数量	男子便所、女子便所、身障者便所	3										
	硝子	仕上	t=4 型ガラス	戸：化粧鋼板 枠：スチールOP塗										
	金物	今回工事	ドアハンドル、表示錠（非常解錠）/別錠錠、ハンガーレール、戸当り、SUS製番指、自閉機能、付属金物一式											
姿 図	<p>〈WD 特記事項〉</p> <p>既存建具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特記なき限り、扉仕上はポリ化粧合板とする。 ・特記なき限り、枠は木製化粧シート貼とする。 ・ドアハンドル：真鍮製 L=400 <p>改修建具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングは、ガラス両面共を含む。 ・クリーニングは、ガラリの清掃を含む。 ・一部、錠（鍵）の交換をおこなう。 		<p>① WD 改修</p>		<p>② WD 改修</p>		<p>③ WD 撤去 開口閉塞</p>		<p>④ WD 改修</p>					
	型式	扉厚	木製 引違い戸	36	木製 引違い戸	36	木製 片引き戸	40	木製 片引き戸	40				
	位置	数量	静養室 踏込	1	物置	1	作業室	1	男子更衣室、女子更衣室	2				
	硝子	仕上	t=4 型ガラス	戸：ポリ化粧合板 枠：木製化粧シート張	—	戸：ポリ化粧合板 枠：木製化粧シート張	t=4 型ガラス	戸：ポリ化粧合板 枠：木製化粧シート張	t=4 型ガラス	戸：ポリ化粧合板 枠：木製化粧シート張				
	金物	今回工事	引手、空錠/空錠、戸車、SUS製レール、付属金物一式		引手、空錠/空錠、戸車、SUS製レール、付属金物一式		ドアハンドル、空錠/空錠、戸車、SUS製レール、付属金物一式		ドアハンドル、別錠錠/別錠錠、戸車、SUS製レール、付属金物一式					
今回工事	扉：クリーニング（ガラス共）、建具点検調整 枠：下地調整の上 SOP塗替、敷居レール撤去・新設		扉：クリーニング、建具点検調整 枠：下地調整の上 SOP塗替、敷居レール撤去・新設		撤去（枠共）		扉：クリーニング（ガラス・ガラリ共）、建具点検調整、錠の交換 枠：下地調整の上 SOP塗替、敷居レール撤去・新設							
姿 図	<p>① F 改修</p>		<p>② F 改修</p>											
	型式	扉厚	換 引違い 天袋付	21					換 片開き 天袋付	21				
	位置	数量	静養室 押入	1					静養室 物入	1				
	硝子	仕上	—	新島の子片面貼					—	新島の子片面貼				
	金物	今回工事	引手、付属金物一式						取手、丁番、付属金物一式					
今回工事	クリーニング、建具点検調整		クリーニング、建具点検調整											

ひまわり園棟

改修前・後

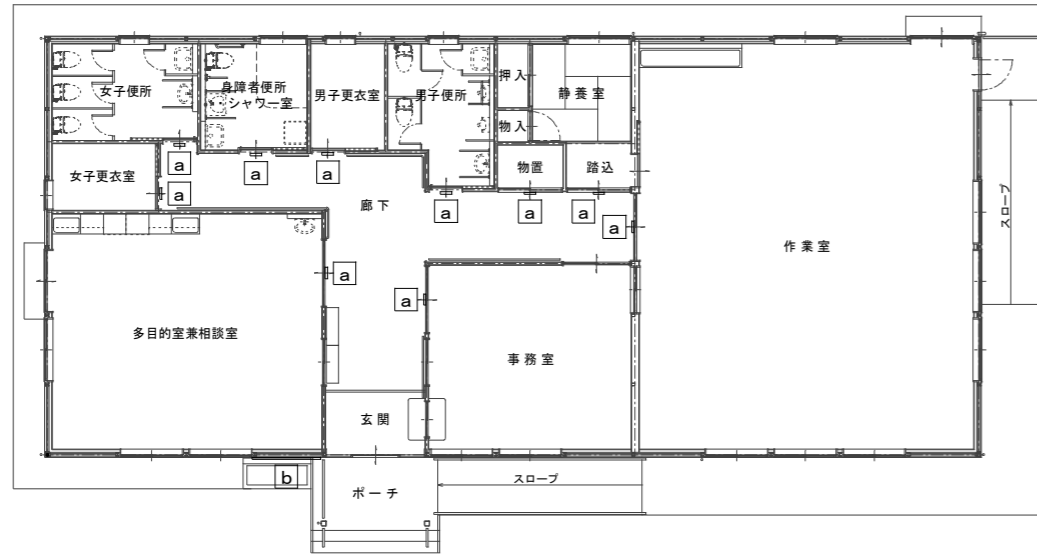
姿 図													
	型式	見込	トイレブース	40	トイレブース	40	トイレブース	40	トイレブース	40	トイレブース	40	
位置	数量	男子便所	1	男子トイレ	1	男子便所 掃除流し	1	男子トイレ 掃除流し	1	女子便所	1	女子トイレ	1
積子	仕上	-	ポリ化粧合板	-	ポリ化粧合板	-	ポリ化粧合板	-	ポリ化粧合板	-	ポリ化粧合板	-	ポリ化粧合板
金物	スライドラッチ（表示付）、ヒンジ、戸当り、帽子掛け、SUS製笠木、SUS製脚金具、アルミ製壁レール、付属金物一式 表示付打掛け錠、グラビティヒンジ、戸当り、帽子掛け、SUS製笠木、SUS製巾木、アルミ製壁レール、付属金物一式 取手、ヒンジ、戸当り、SUS製笠木、SUS製脚金具、アルミ製壁レール、付属金物一式 取手、グラビティヒンジ、SUS製笠木、SUS製巾木、アルミ製壁レール、付属金物一式 スライドラッチ（表示付）、ヒンジ、戸当り、帽子掛け、SUS製笠木、SUS製脚金具、アルミ製壁レール、付属金物一式 表示付打掛け錠、グラビティヒンジ、戸当り、帽子掛け、SUS製笠木、SUS製巾木、アルミ製壁レール、付属金物一式												
今回工事	撤去 新設 撤去 新設 撤去 新設 撤去 新設												
姿 図													
	型式	見込	トイレブース	40	トイレブース	40	トイレブース	40					トイレブース
位置	数量	女子便所 掃除流し	1	女子トイレ 掃除流し	1	男子便所 袖壁	1	男子トイレ 袖壁	1				
積子	仕上	-	ポリ化粧合板	-	ポリ化粧合板	-	ポリ化粧合板	-	ポリ化粧合板	-			
金物	取手、ヒンジ、戸当り、SUS製笠木、SUS製脚金具、アルミ製壁レール、付属金物一式 取手、ヒンジ、グラビティヒンジ、SUS製笠木、SUS製巾木、アルミ製壁レール、付属金物一式 SUS製笠木、アルミ製支柱、付属金物一式 SUS製笠木、SUS製巾木、アルミ製壁レール、付属金物一式												
今回工事	撤去 新設 撤去 新設												
姿 図													
	型式	厚											
位置	数量												
積子	仕上												
金物													
今回工事													



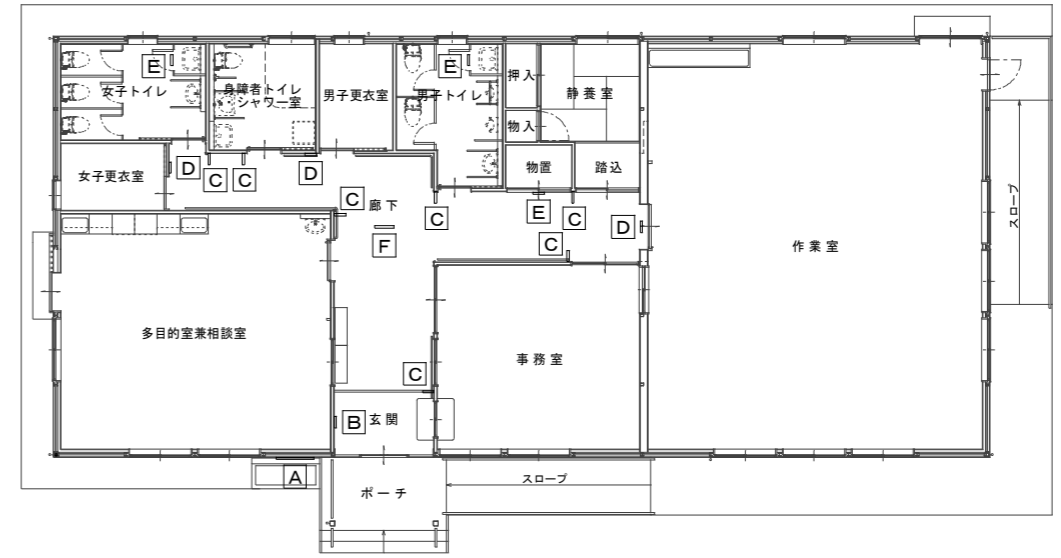
設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:30 A3-1:60	ひまわり園改修工事	スロープ詳細図(改修前・後)	A-31

改修前

改修後



サインキープラン (改修前) S=1/100



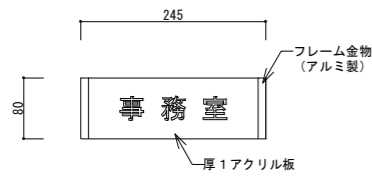
サインキープラン (改修後) S=1/100

a 平付型サイン (数量: 10) S=1:5

b 館銘板 (数量: 1) S=1:20

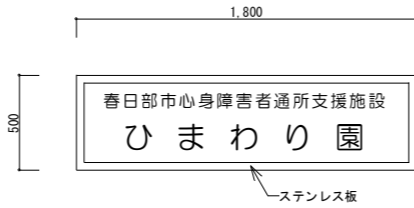
A 館名サイン (数量: 1) S=1:2, 1:10

B 館内案内板 (数量: 1) S=1:3, 1:5



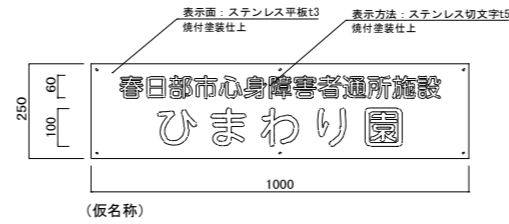
※撤去した後のねじ穴はパテ埋めの上、下地調整をおこなうこと。

撤去

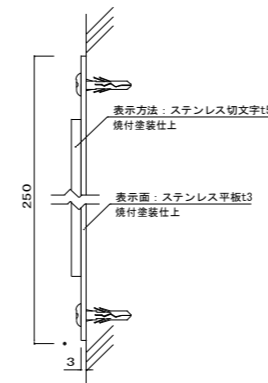


※撤去した後の館名板の跡は、下地調整をおこなうこと。

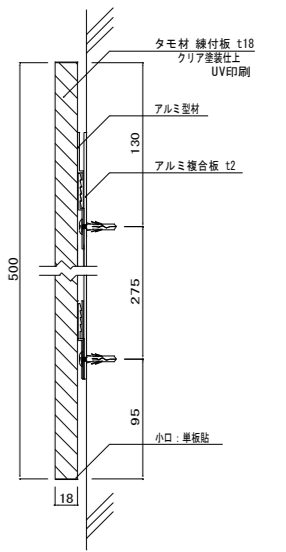
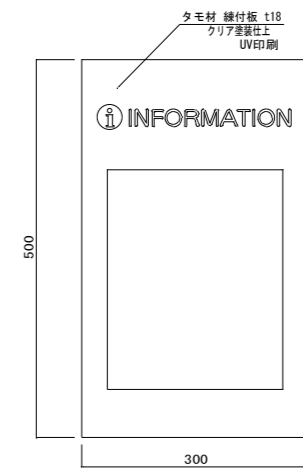
撤去



(仮名称)

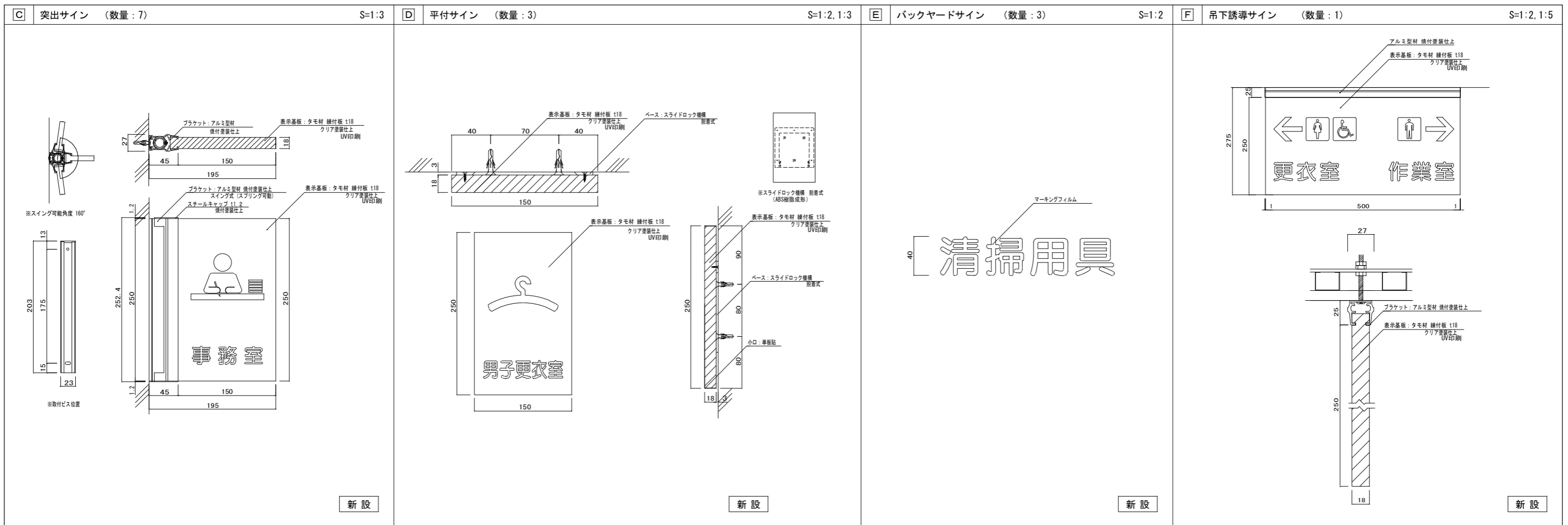


新設



新設

設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:100, 他 A3-1:200, 他	ひまわり園改修工事	サイン詳細図(1) (改修前・後)	A-32



特記事項

■サイン特記仕様

[1] 使用材料

- 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応) とする。
- アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材)
- アクリル : JIS-K-6718-1 (キャスト板), JIS-K-6718-2 (押出板)
- ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL仕上

[2] フォント

- 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。
※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。

[3] ピクトグラム

- 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

[4] ユニバーサルデザイン

- ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
- 多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作とする。

[5] 取付位置・方法

- 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
- 取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
- 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

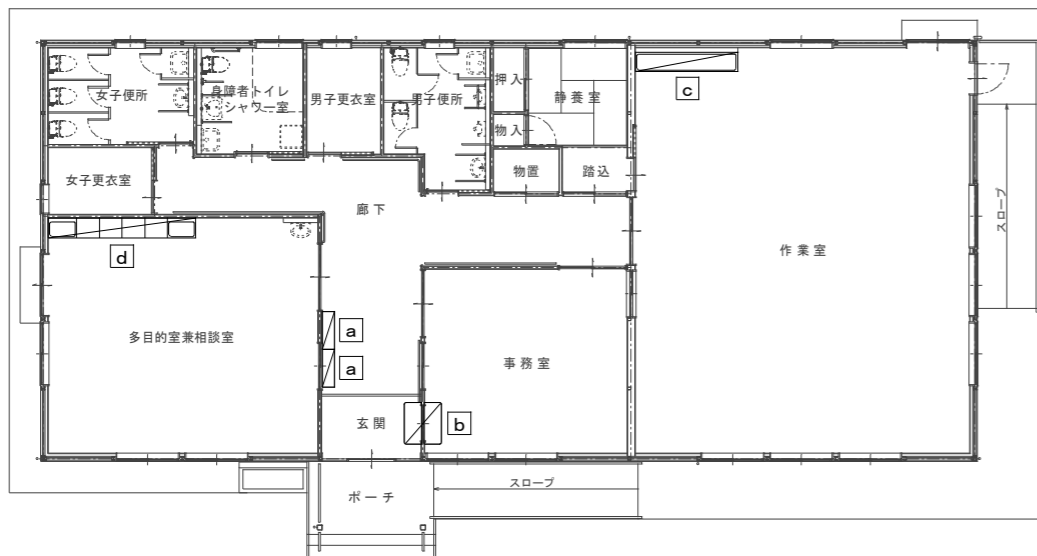
[6] その他

- 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるように脱着式を基本とする。
又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し
商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様とすること。
- サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。

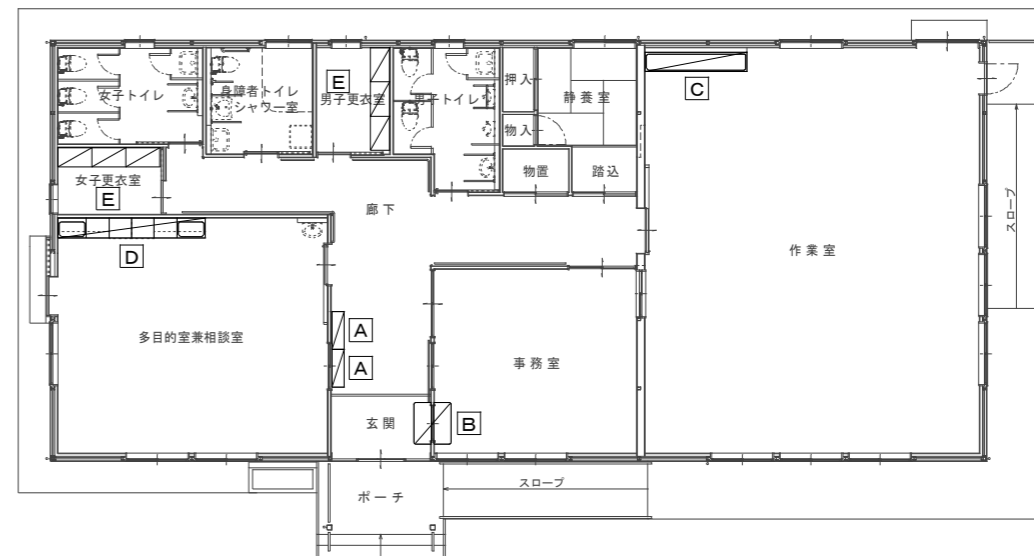
設計年月日	2026.03	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	A1-1:100, 他 A3-1:200, 他	工事名称	ひまわり園改修工事	図面名称	サイン詳細図(2) (改修後)	図面番号	A-33
-------	---------	---------------------	----	----------------------------	------	-----------	------	-----------------	------	------

改修前

改修後



家具・棚キープラン (改修前) S=1/100



家具・棚キープラン (改修後) S=1/100

a 下足入 (数量: 2) S=1:20

位置: 玄関
仕様: 4列×4段、既成品設置
材質: 天板・側板・棚板・仕切板・台輪・扉/スチール製

撤去

b 受付カウンター (数量: 1) S=1:30

位置: 玄関
材質: t=36木製 CL塗

塗替

A 下足入 (数量: 2) S=1:30

W1,200 D380 H1,137
4列4段16人用 扉付 中棚付
転倒防止措置(壁固定)
参考型番 SBX-K44TSAW

新設

E ロッカー (数量: 6) S=1:30

W900 D515 H1790
3列2段6人用 扉、シリンダー付
転倒防止措置(壁固定)
参考型番 4546FZ-Z

新設

B 受付カウンター (数量: 1) S=1:30

位置: 玄関
材質: t=36木製 OS塗

塗替

c 手洗い流し (数量: 1) S=1:30

位置: 作業室
材質: シンク、バックガード、脚部(ボール付)/ステンレス製

撤去

d シンク・作業台・ガス台・吊戸棚 (数量: 1) S=1:30

位置: 多目的室兼相談室
仕様: 本体/メラミン化粧合板、シンク・カウンター/ステンレス製
バックガード/ステンレス板張

一部、取外し

C 手洗い流し (数量: 1) S=1:30

位置: 作業室
材質: シンク、バックガード、脚部/ステンレス製
カゴ付防臭トラップ40A (排水アダプター付)

新設

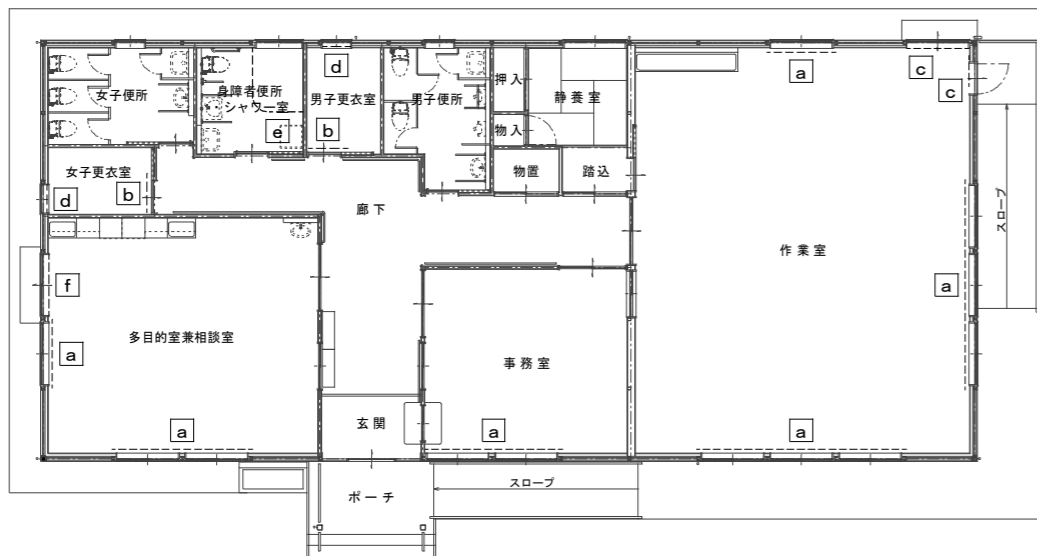
D シンク・作業台・ガス台・吊戸棚 (数量: 1) S=1:30

位置: 多目的室兼相談室
仕様: 本体/メラミン化粧合板、シンク・カウンター/ステンレス製
バックガード/ステンレス板張

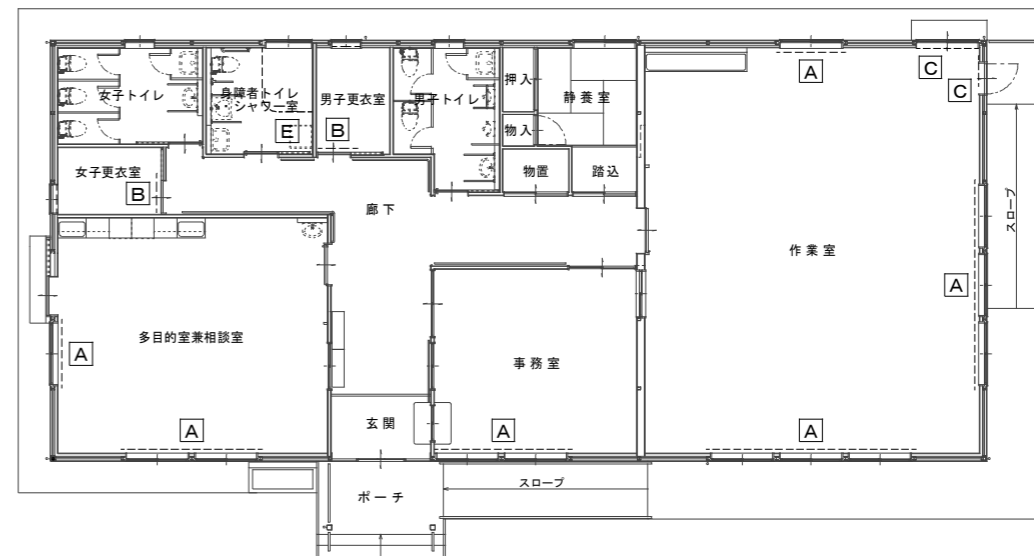
一部、再取付

改修前

改修後



カーテンレール等キープラン (改修前) S=1/100



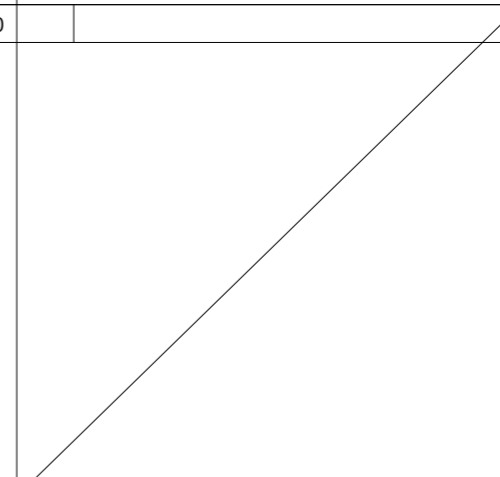
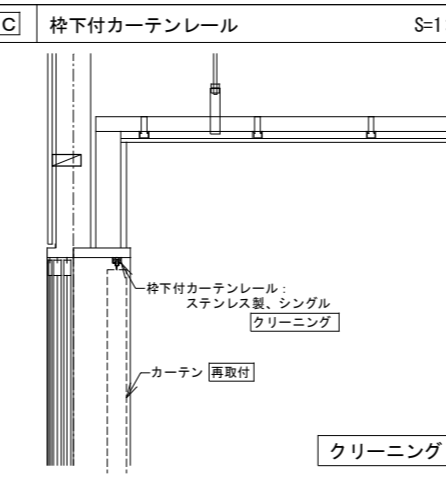
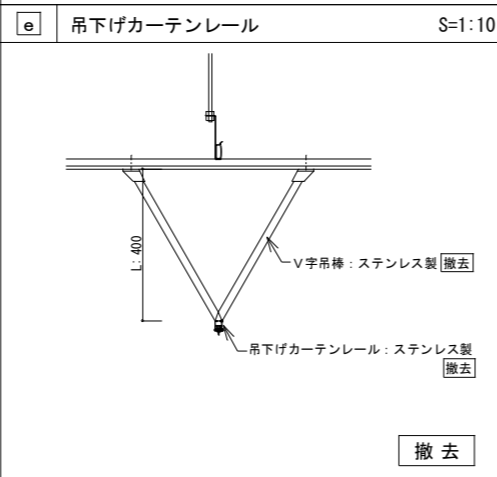
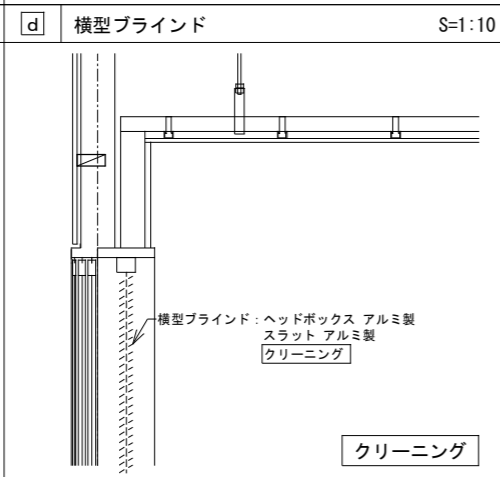
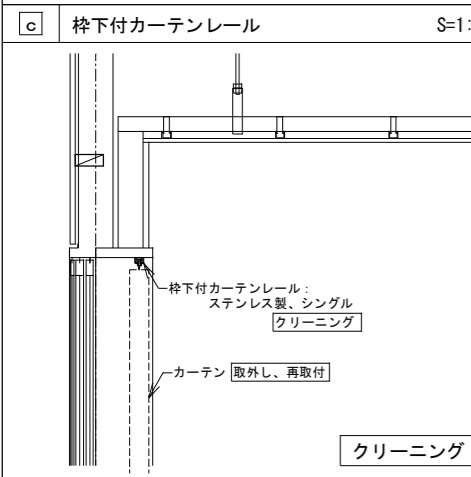
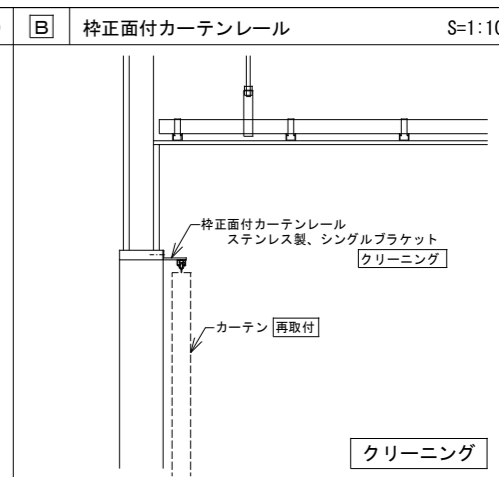
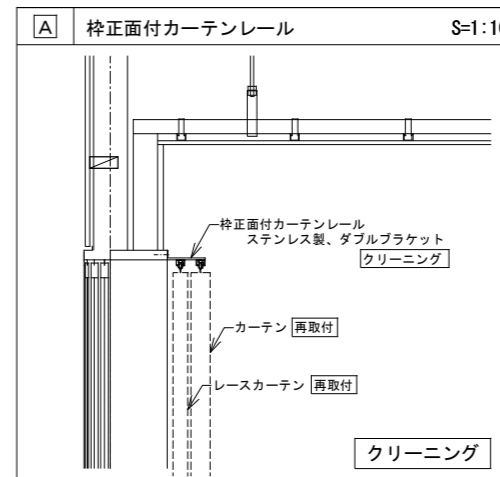
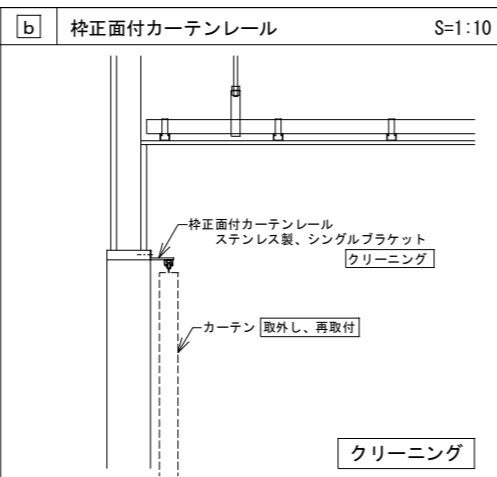
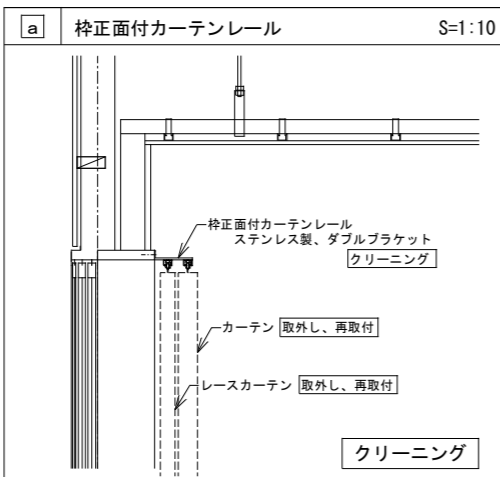
カーテンレール等キープラン (改修後) S=1/100

凡例 (改修前)

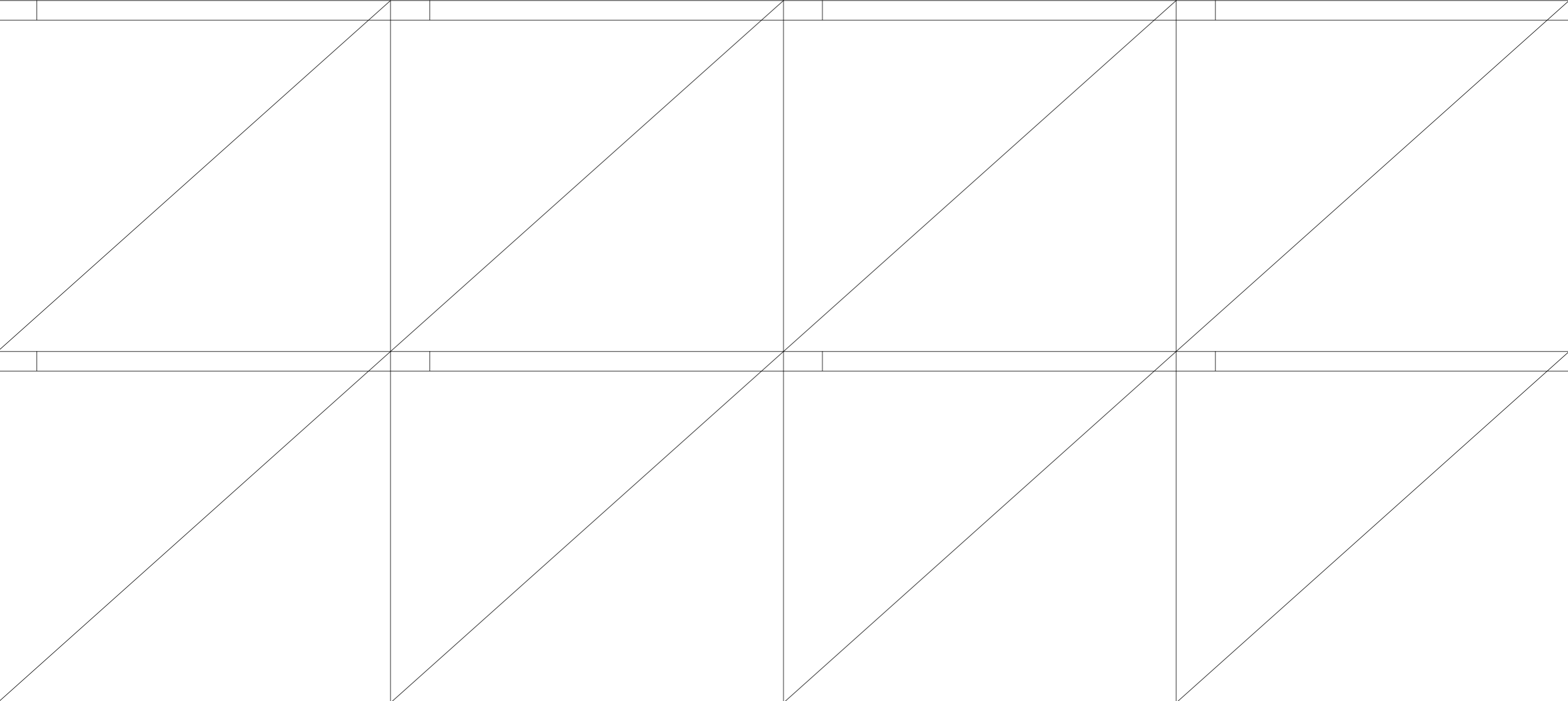
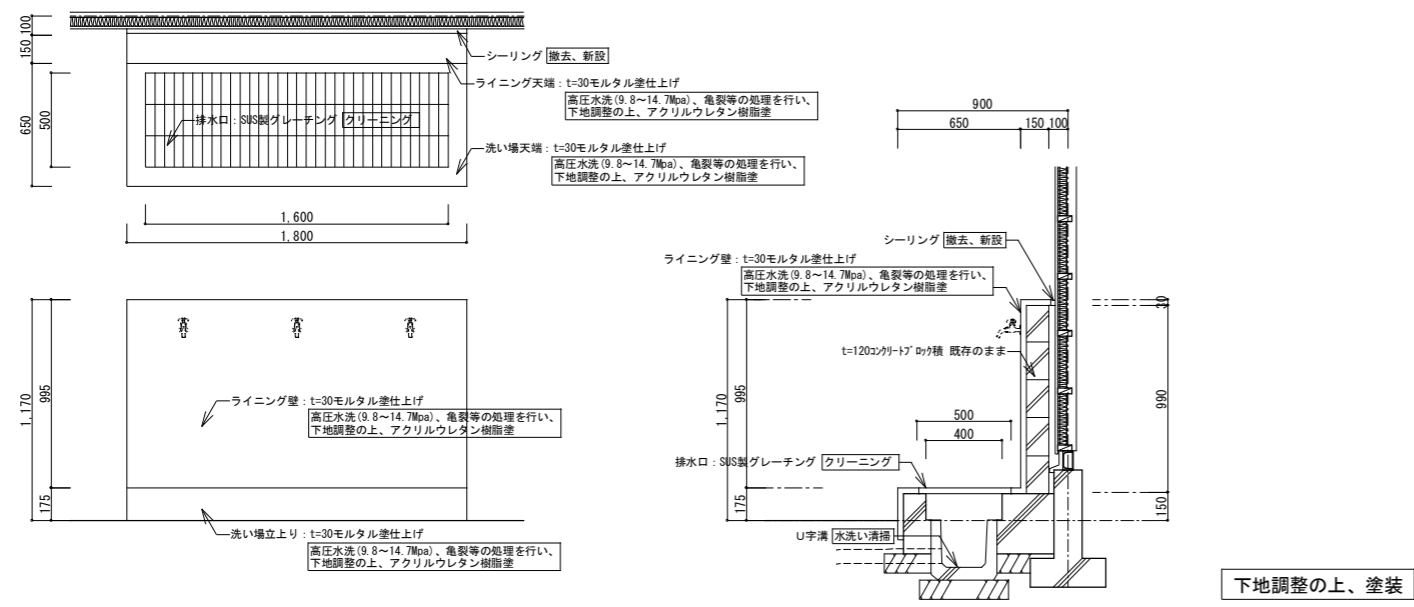
a	桢正面付カーテンレール クリーニング カーテン・レース 取外し、再取付
b	桢正面付カーテンレール クリーニング カーテン 取外し、再取付
c	桢下付カーテンレール クリーニング カーテン 取外し、再取付
d	横型ブラインド クリーニング
e	吊下げカーテンレール 撤去
f	桢下付カーテンレール 撤去 カーテン 撤去

凡例 (改修後)

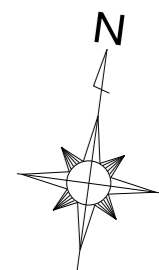
A	桢正面付カーテンレール クリーニング カーテン・レース 再取付
B	桢正面付カーテンレール クリーニング カーテン 再取付
C	桢下付カーテンレール クリーニング カーテン 再取付
E	吊下げカーテンレール 新設 シャワーカーテン 新設



<p>S-01 多目的室兼相談室 手洗器ライニング S=1:10</p> <p>撤去</p> <p>新設</p>	<p>S-02 作業室 手洗い流しライニング S=1:10</p> <p>撤去</p> <p>新設</p>			
<p>S-03 身障者トイレ・シャワー室 ライニング S=1:10</p> <p>改修</p>	<p>S-04 身障者トイレ・シャワー室 ライニング S=1:10</p> <p>改修</p>	<p>S-05 男子・女子トイレ ライニング S=1:10</p> <p>撤去</p> <p>新設</p>		
<p>S-06 掲示板 S=1:20</p> <p>取外し、クリーニング、再取付</p>	<p>S-07 手摺 S=1:5</p> <p>取外し、クリーニング、再取付</p>	<p>S-08 コーナーガード S=1:10</p> <p>撤去</p> <p>新設</p>		
<p>設計年月日 2026.03</p>		<p>春日部市 福祉部 障がい者支援課</p>	<p>縮尺 A1-1:10, 他 A3-1:20, 他</p>	<p>工事名称 ひまわり園改修工事</p> <p>図面名称 雑詳細図(1)(改修前・後)</p> <p>図面番号 A-36</p>



改修前



構造物凡例

記号	種別	仕様	撤去・処理
(a)	地先境界ブロック	100×100×600	既存のまま
(b)	地先境界ブロック	100×100×600	撤去
(c)	地先境界ブロック	120×120×600	撤去
(d)	誘導ブロック	300角	撤去
(e)	車止めポール (差込式)		撤去
(f)	キュービクル基礎		撤去

標識・看板凡例

記号	凡例	仕様	撤去・処理
①	ポール看板	スチール製 H=2800	撤去
②	ポール看板	スチール製 H=2500	撤去
③	ポール看板	スチール製 H=1850	撤去
④	屋外掲示板		既存のまま
⑤	防火水槽標識		既存のまま
⑥	消火栓標識		既存のまま
⑦	道路標識		既存のまま

門扉凡例

記号	種別	仕様	撤去・処理
M1	通用口	アコーディオン門扉 片引き (ステンレス製 L=7200 H=1270)	既存のまま
M2	通用口	引戸門扉 両引き (アルミ製 W=5600 H=1280)	既存のまま
M3	通用口	アコーディオン門扉 両引き (アルミ製 L=8000 H=1400)	既存のまま
M4	通用口	アコーディオン門扉 両引き (アルミ製 L=9000 H=1250)	撤去

境界塀凡例

記号	凡例	仕様	撤去・処理
A	防護柵	単管パイプ組 H=1200	撤去
B	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1000 腰壁:化粧C B積3段	既存のまま
C	門壁	コンクリート打放し補修 リシン吹付 H=1480 基礎:L型基礎	既存のまま
C'	門壁	コンクリート打放し補修 リシン吹付 H=1410 基礎:L型基礎	既存のまま
D	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1000 腰壁:化粧C B積3段	既存のまま
E	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1000 腰壁:化粧C B積2段	既存のまま
F	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1200 基礎:L型基礎 立上りH=400	既存のまま
G	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1250 基礎:独立基礎	既存のまま
H	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1200 基礎:L型基礎 立上りH=400	既存のまま
I	塀	C B積6段 (t=150, 芋目地, 控壁@4000) 基礎:L型基礎	既存のまま
J	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1250 基礎:独立基礎	撤去

樹木凡例

凡例	仕様	撤去・処理
(樹木の記号)	高木 (樹高H=3.0m, 枝張W=2.0m, 株立φ50)	伐採・伐根

建物凡例

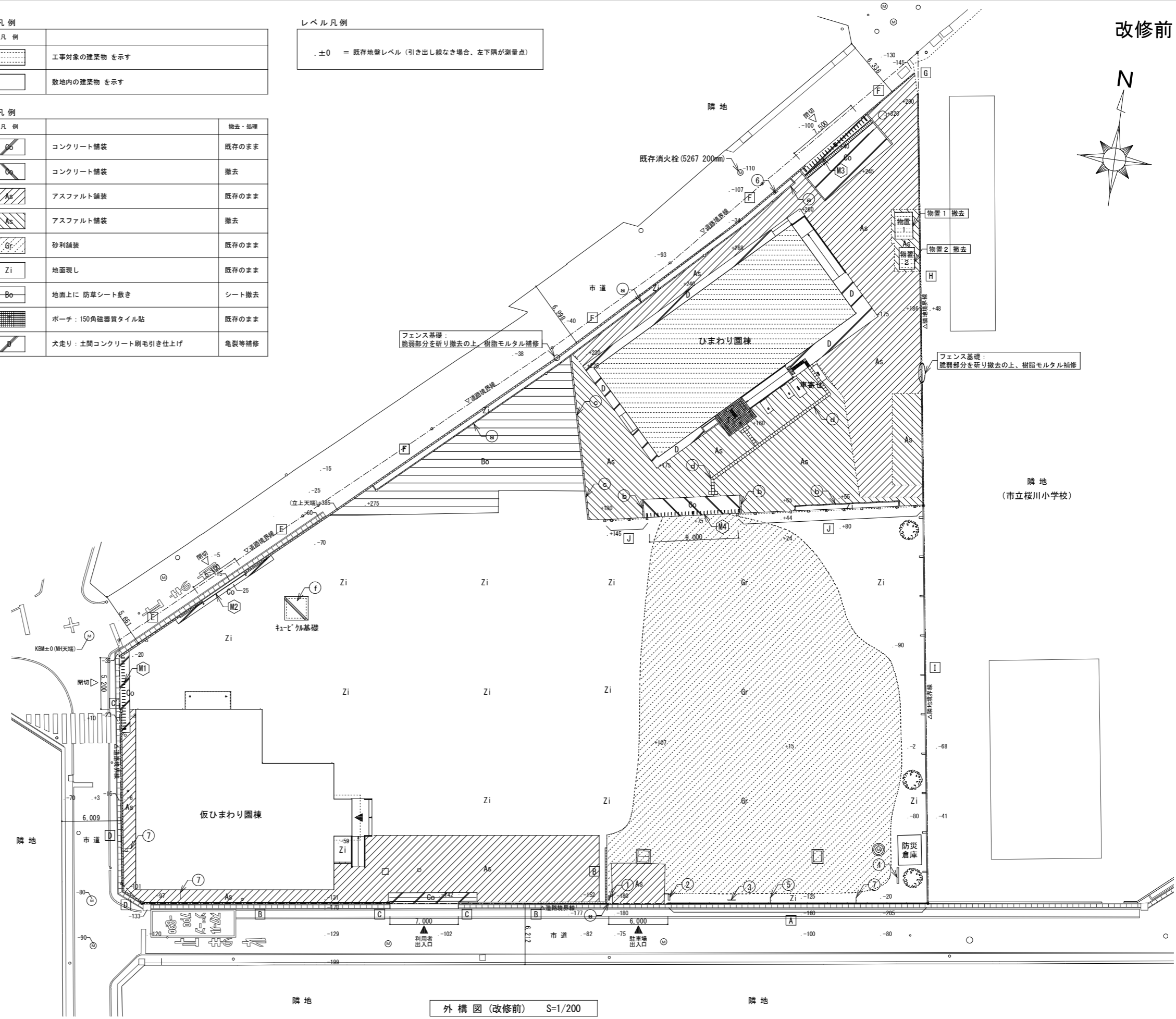
凡例	説明
(点線)	工事対象の建築物を示す
(白)	敷地内の建築物を示す

舗装凡例

凡例	説明	撤去・処理
(Co)	コンクリート舗装	既存のまま
(Co')	コンクリート舗装	撤去
(As)	アスファルト舗装	既存のまま
(As')	アスファルト舗装	撤去
(Gr)	砂利舗装	既存のまま
(Zi)	地面現し	既存のまま
(Bo)	地面上に 防草シート敷き	シート撤去
(Ti)	ポーチ: 150角磁器質タイル貼	既存のまま
(B)	犬走り: 土間コンクリート刷毛引き仕上げ	亀裂等補修

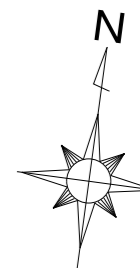
レベル凡例

±0 = 既存地盤レベル (引き出し線なき場合、左下隅が測量点)



設計年月日	2026.03	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	A1-1:200 A3-1:400	工事名称	ひまわり園改修工事	図面名称	外構図 (改修前)	図面番号	A-38
-------	---------	---------------------	----	----------------------	------	-----------	------	-----------	------	------

改修後



記号	種別	仕様	新設・改修
(a)	地先境界ブロック	100×100×600	既存のまま
(b)	地先境界ブロック	120×120×600	新設
(h)	キューピクル基礎		新設
(i)	メッシュフェンス		新設
-	-	-	-
-	-	-	-

記号	凡例	仕様	新設・改修
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
(4)	屋外掲示板		既存のまま
(5)	防火水槽標識		既存のまま
(6)	消火栓標識		既存のまま
(7)	道路標識		既存のまま

記号	種別	仕様	新設・改修
(M1)	通用口	アコーディオン門扉 片引き (ステンレス製 L=7200 H=1270)	既存のまま
(M2)	通用口	引戸門扉 両引き (アルミ製 W=5600 H=1280)	既存のまま
(M3)	通用口	アコーディオン門扉 両引き (アルミ製 L=8000 H=1400)	既存のまま
-	-	-	-

記号	凡例	仕様	新設・改修
-	-	-	-
(B)	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1000 暖壁: 化粧C B積 3段	既存のまま
(C)	門壁	コンクリート打放し補修 リシン吹付 H=1480 基礎: L型基礎	既存のまま
(C')	門壁	コンクリート打放し補修 リシン吹付 H=1410 基礎: L型基礎	既存のまま
(D)	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1000 暖壁: 化粧C B積 3段	既存のまま
(E)	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1000 暖壁: 化粧C B積 2段	既存のまま
(F)	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1200 基礎: L型基礎 立上りH=400	既存のまま
(G)	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1250 基礎: 独立基礎	既存のまま
(H)	フェンス	スチール製 メッシュフェンス H=1200 基礎: L型基礎 立上りH=400	既存のまま
(I)	塀	C B積 6段 (t=150, 芋目地, 控壁@4000) 基礎: L型基礎	既存のまま
-	-	-	-

凡例	説明
[点線]	工事対象の建築物を示す
[白]	敷地内の建築物を示す

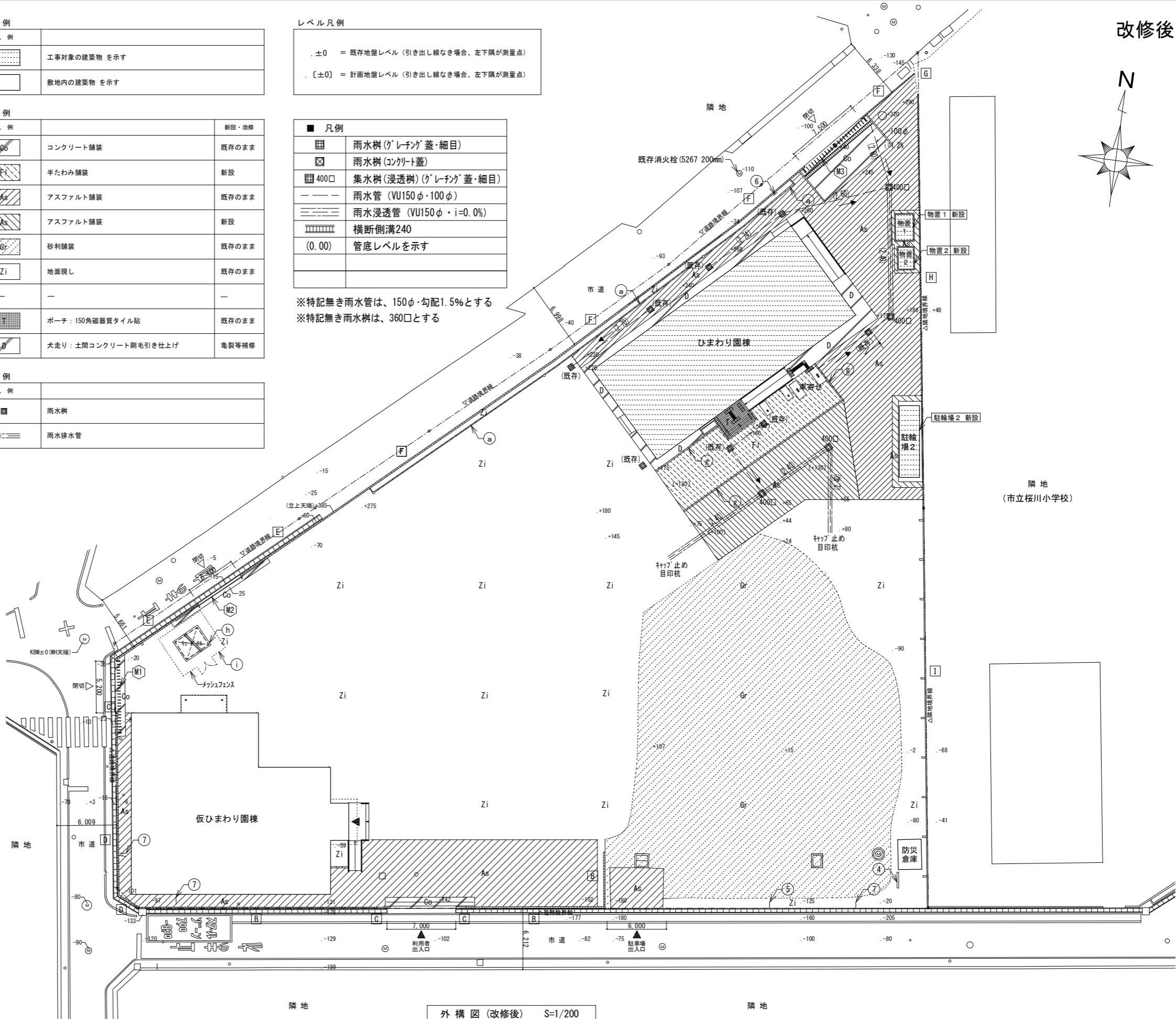
凡例	説明	新設・改修
[Go]	コンクリート舗装	既存のまま
[F]	半たわみ舗装	新設
[As]	アスファルト舗装	既存のまま
[As]	アスファルト舗装	新設
[Gr]	砂利舗装	既存のまま
[Zi]	地面現し	既存のまま
-	-	-
[H]	ポーチ: 150角磁器質タイル貼	既存のまま
[B]	犬走り: 土間コンクリート刷毛引き仕上げ	亀裂等補修

凡例	説明
[■]	雨水樹
[≡≡≡]	雨水排水管

凡例	説明
±0	既存地盤レベル (引き出し線なき場合、左下隅が測量点)
[±0]	計画地盤レベル (引き出し線なき場合、左下隅が測量点)

凡例	説明
[■]	雨水樹 (グレートン蓋・細目)
[■]	雨水樹 (コンクリート蓋)
[■]	集水樹 (浸透樹) (グレートン蓋・細目)
[---]	雨水管 (VU150φ・100φ)
[---]	雨水浸透管 (VU150φ・i=0.0%)
[]	横断側溝240
(0.00)	管底レベルを示す

※特記無き雨水管は、150φ・勾配1.5%とする
 ※特記無き雨水樹は、360φとする

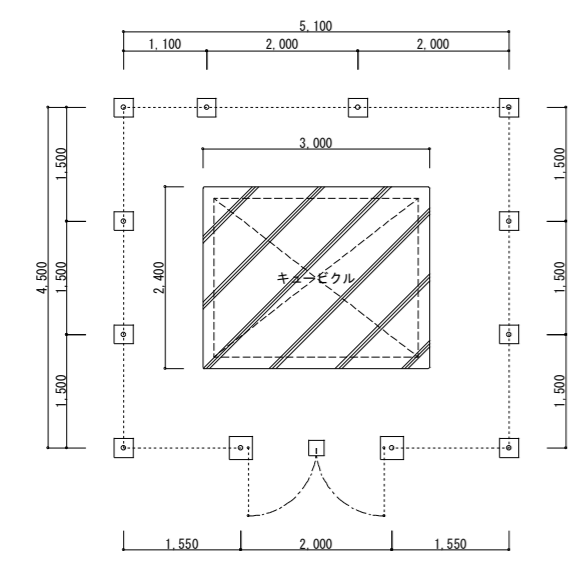


外構図 (改修後) S=1/200

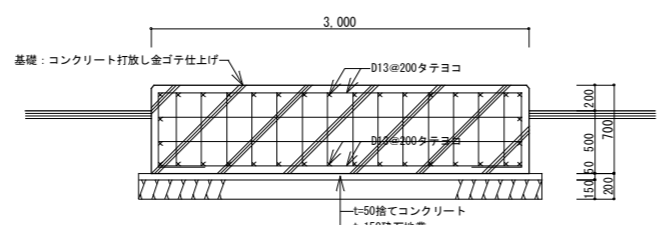
設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:200 A3-1:400	ひまわり園改修工事	外構図 (改修後)	A-39

Co	既存 土間コンクリート	S=1:5	As	既存 アスファルト舗装	S=1:5	Fl	新設 半たわみ舗装	S=1:5	As	新設 アスファルト舗装	S=1:5
	<p>一部撤去</p>			<p>一部撤去</p>			<p>新設</p>			<p>新設</p>	
a	既存 地先境界ブロック 100×100×600	S=1:5	b	既存 地先境界ブロック 100×100×600	S=1:5	c	既存 地先境界ブロック 120×120×600	S=1:5	d	既存 誘導ブロック 300×300×600	S=1:5
	<p>既存のまま</p>			<p>撤去</p>			<p>撤去</p>			<p>撤去</p>	
e	既存 車止めポール (差込式)	S=1:10	f	既存 キュービクル基礎	S=1:10	g	新設 地先境界ブロック 120×120×600	S=1:5			
	<p>撤去</p>			<p>撤去</p>			<p>新設</p>				

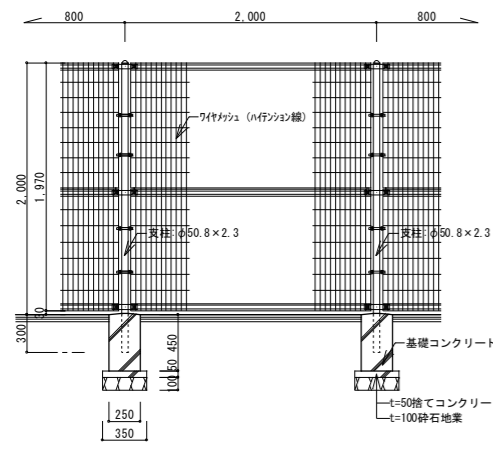
設計年月日	2026.03	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	A1-1:5, 他 A3-1:10, 他	工事名称	ひまわり園改修工事	図面名称	外構詳細図(1)	図面番号	A-40
-------	---------	---------------------	----	-------------------------	------	-----------	------	----------	------	------



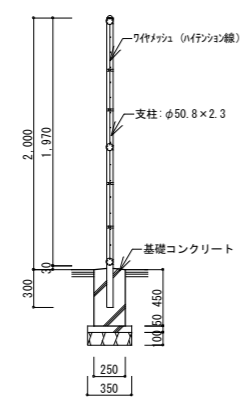
キュービクル基礎・メッシュフェンス 平面図 S=1/50



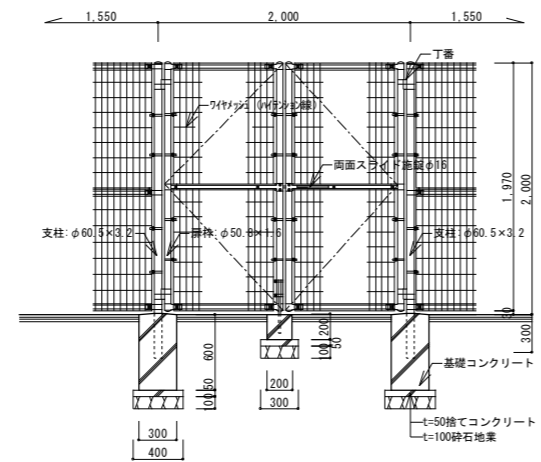
キュービクル基礎 断面図 S=1/30



メッシュフェンス 見付図 S=1/30



断面図 S=1/30



メッシュフェンス門扉 見付図 S=1/30

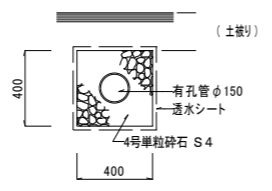
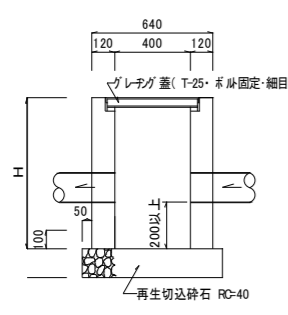
使用構造材料表

〔鉄筋〕
異形鉄筋(jis G 3112) ...SD295A D13 重ね継手

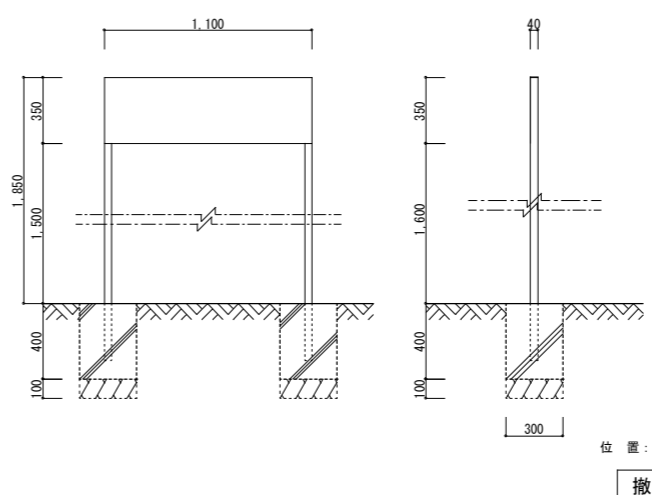
〔コンクリート〕 レディーミクストコンクリート(jis A 5308)
基礎コンクリート ...普通 Fc 21 N/mm² スランプ18cm
捨てコンクリート ...普通 Fc 18 N/mm² スランプ18cm
※構造体強度補正を行うこと。
※施工に関しては、JASS5による。

集水樹(浸透樹)400口

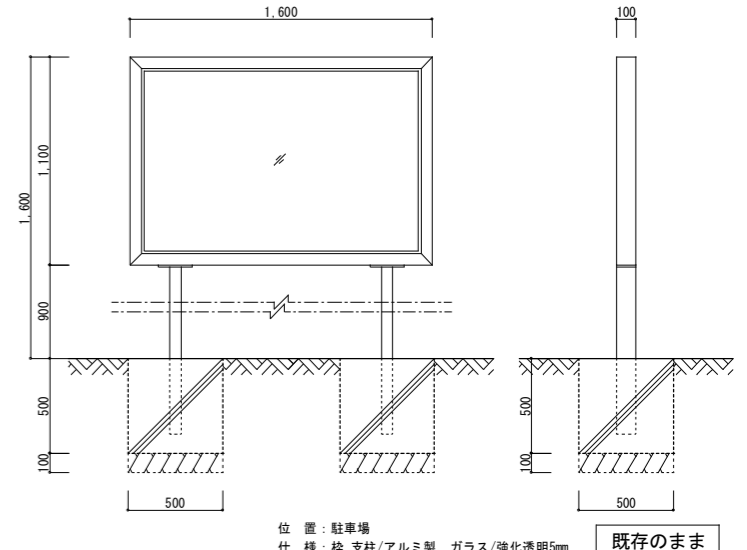
雨水浸透管φ150



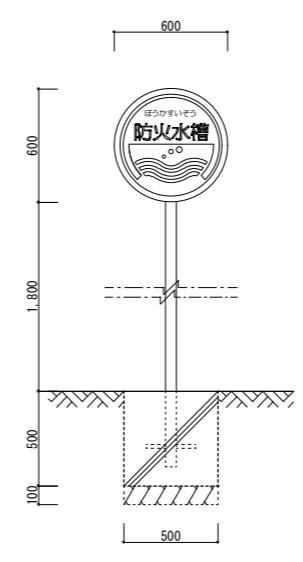
新設



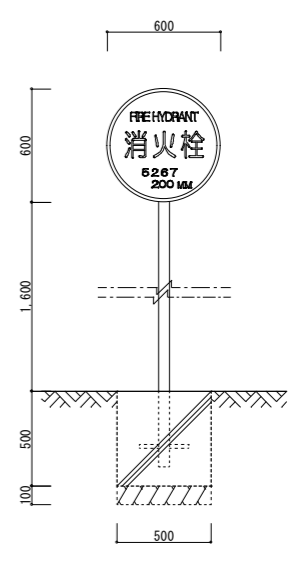
位置: 駐車場
撤去



位置: 駐車場
仕様: 枠支柱/アルミ製、ガラス/強化透明5mm
既存のまま



位置: 駐車場
仕様: スチール製 粉体塗装
備考: U型バンド金具
既存のまま



位置: ひまわり園 通用口
仕様: スチール製 粉体塗装
備考: U型バンド金具
既存のまま

設計年月日

2026. 03

春日部市
福祉部 障がい者支援課

縮尺

A1-1:20
A3-1:40

工事名称

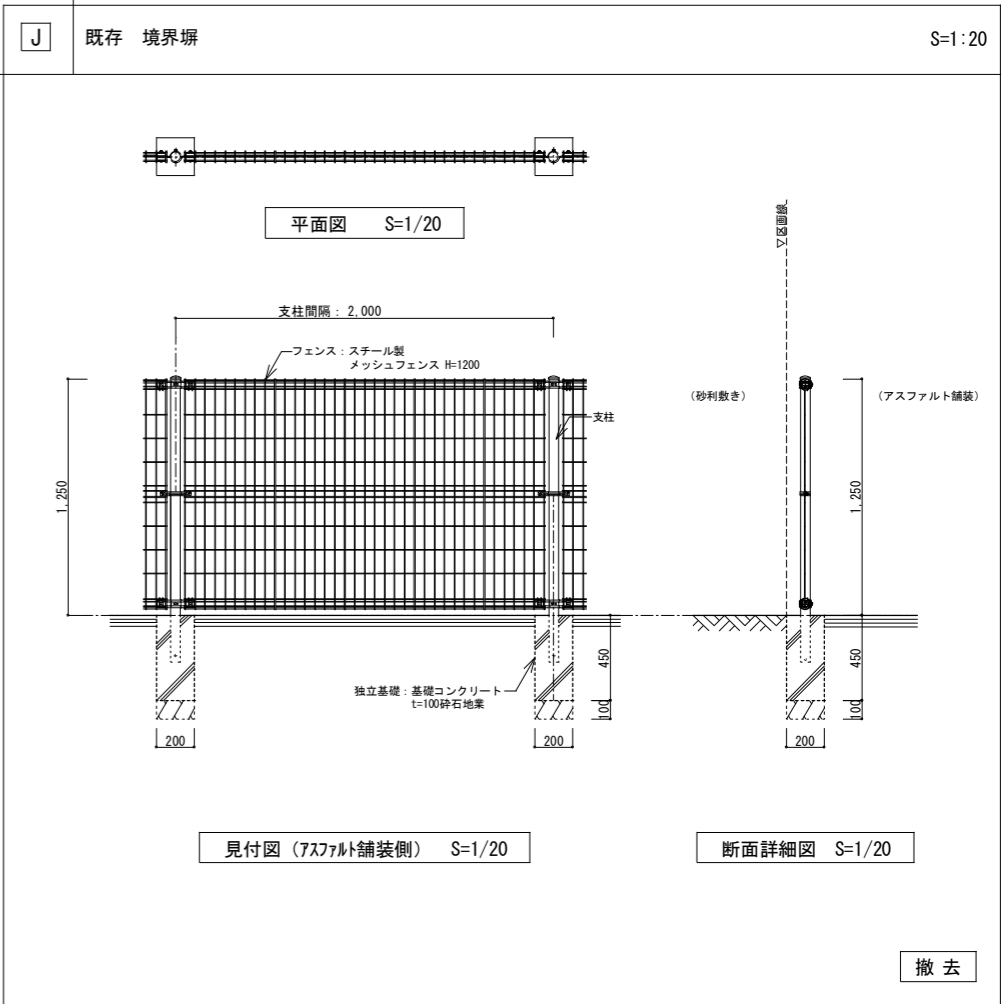
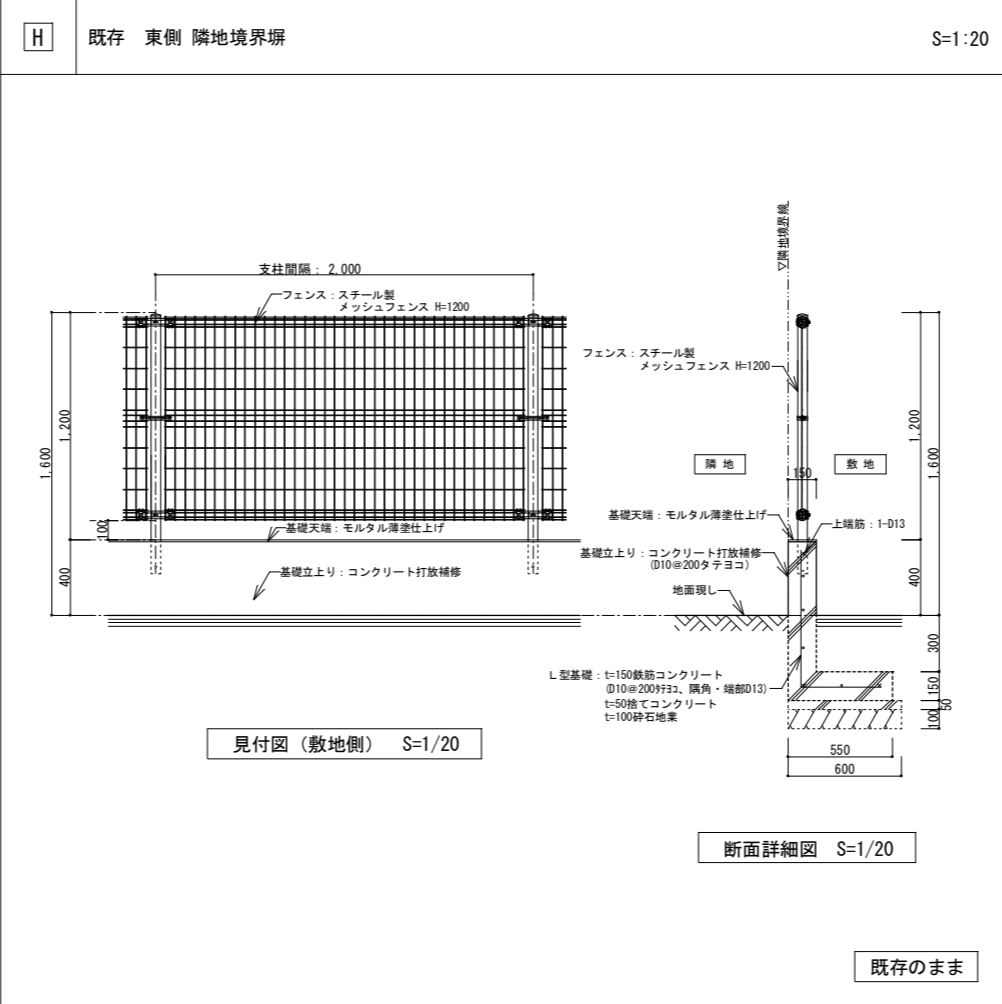
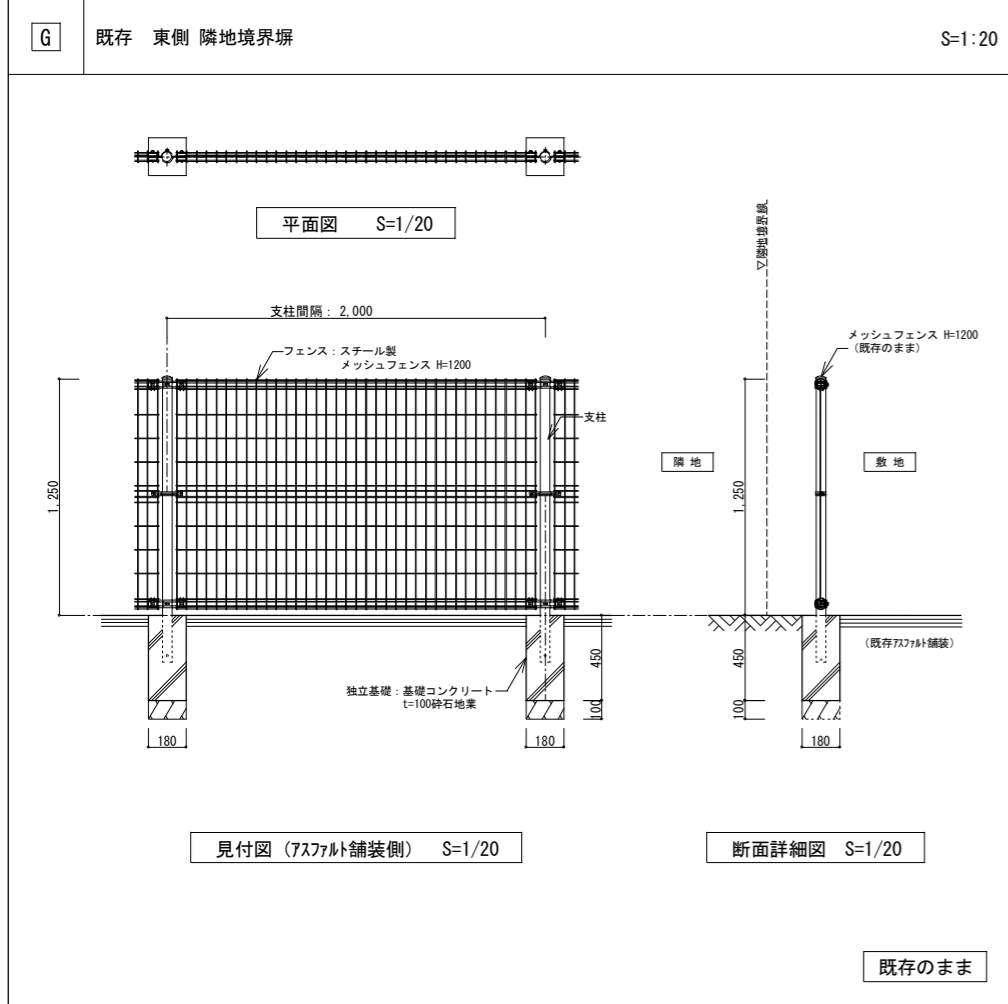
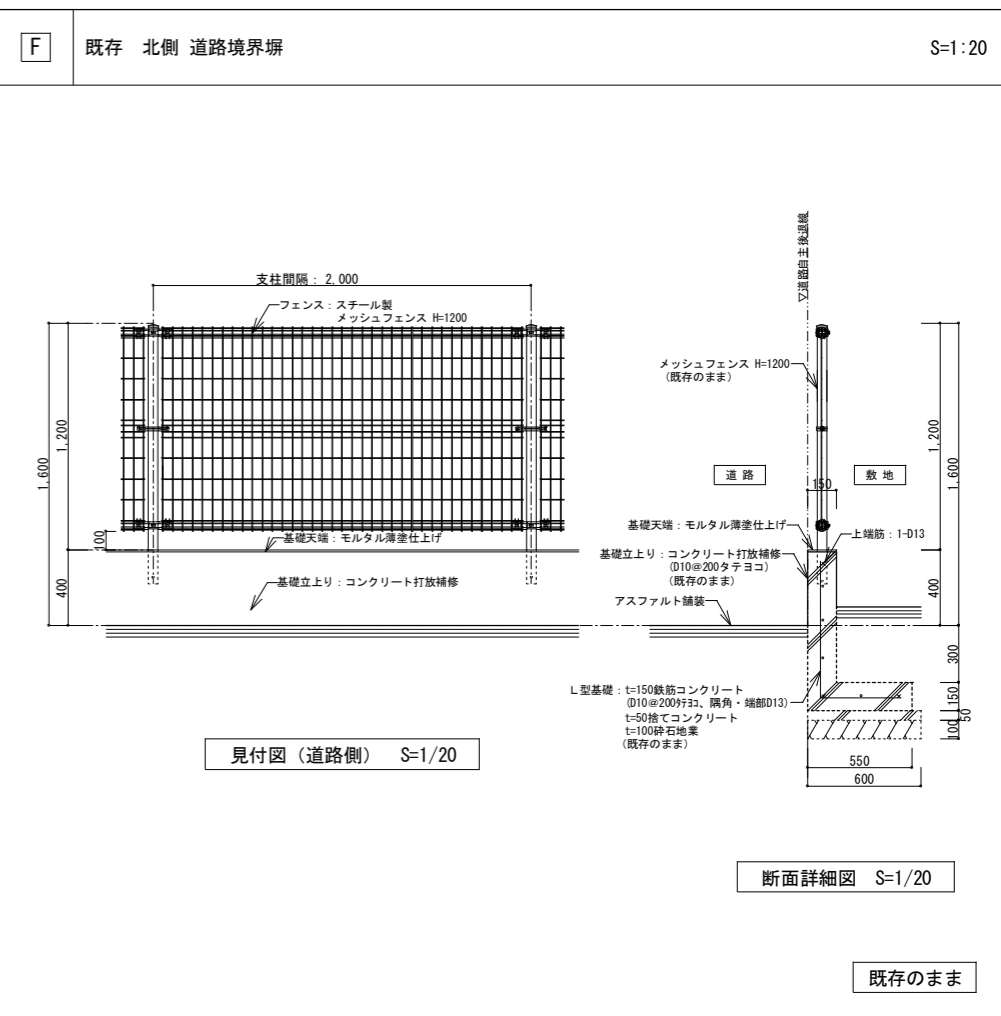
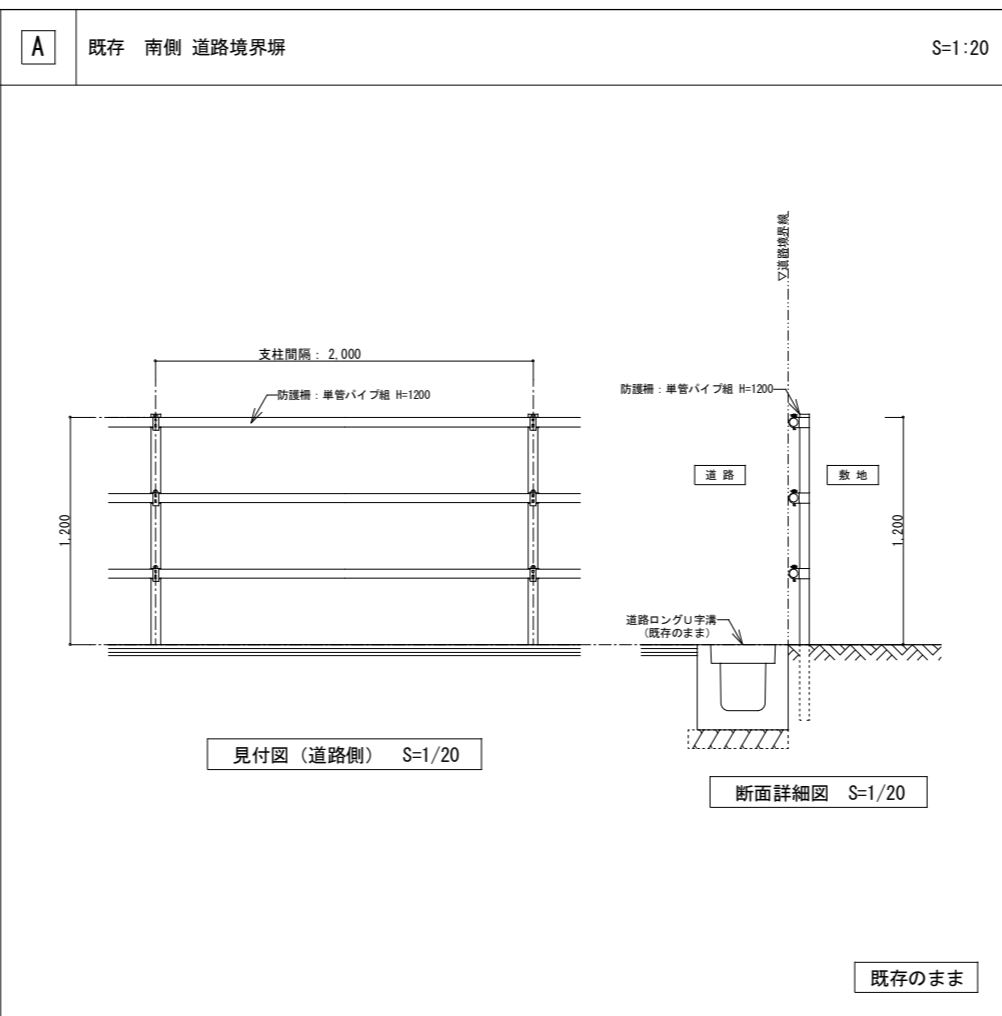
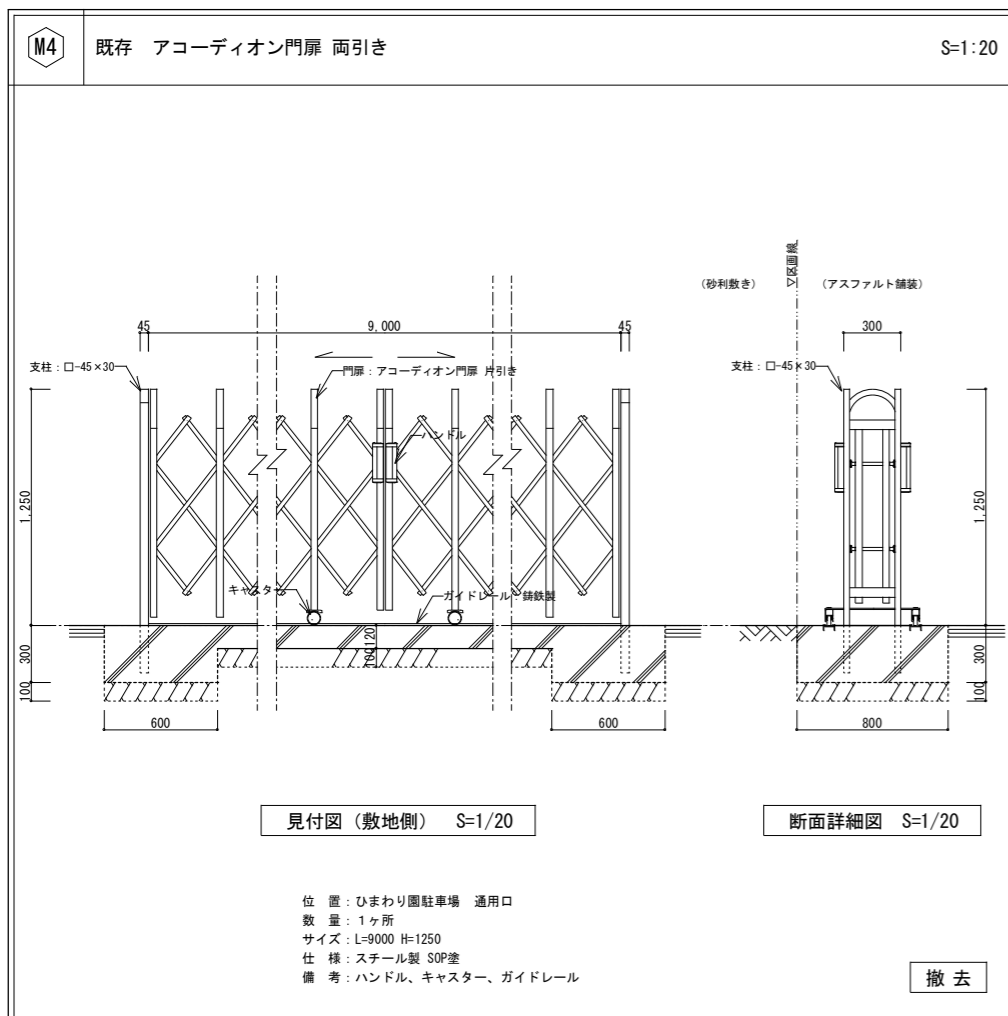
ひまわり園改修工事

図面名称

外構詳細図(2)

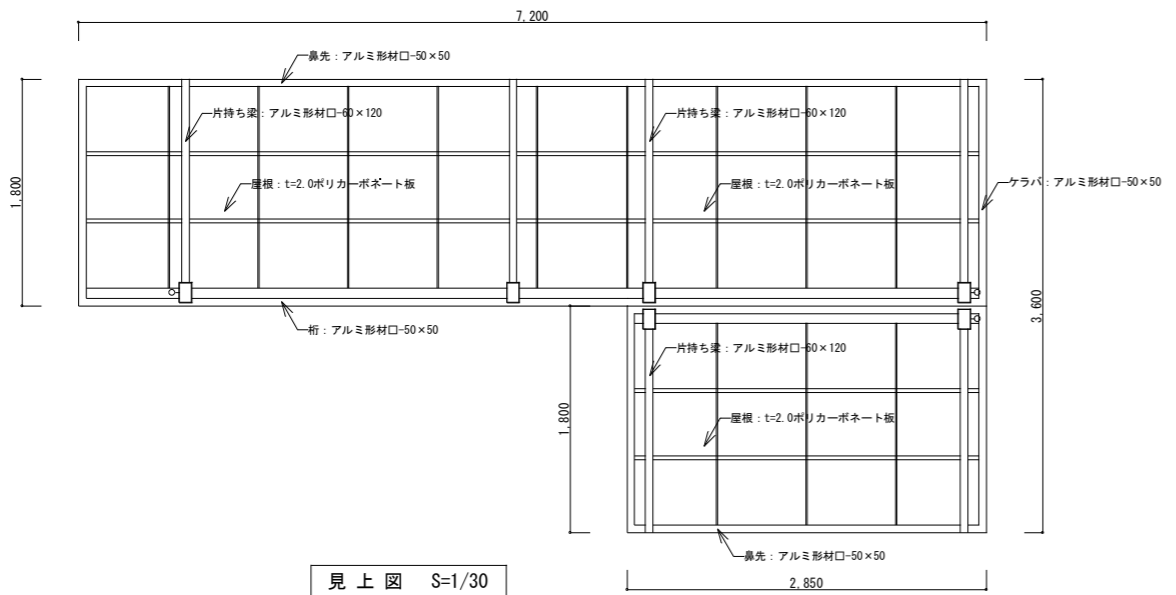
図面番号

A-41

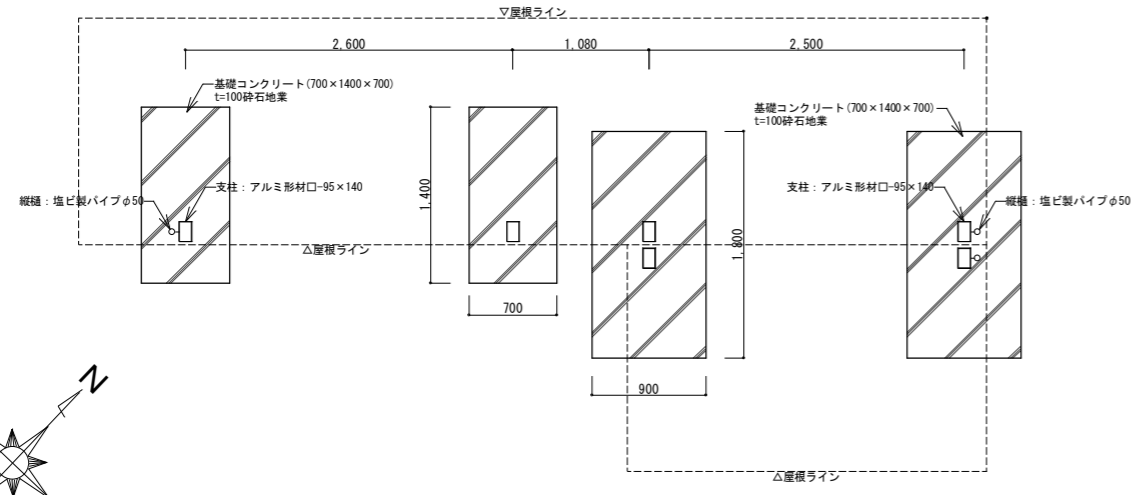


設計年月日	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03	A1-1:20 A3-1:40	ひまわり園改修工事	外構詳細図 (3)	A-42

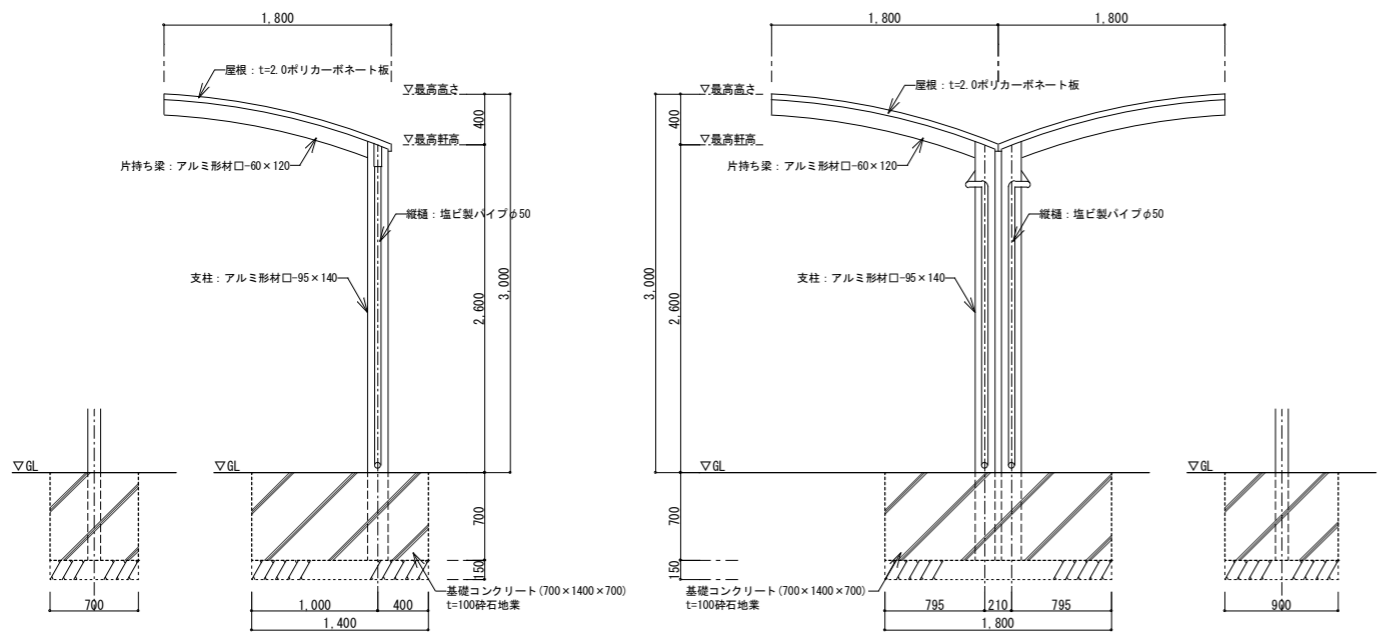
春日部市
福祉部 障がい者支援課



見上图 S=1/30



平面図 S=1/30

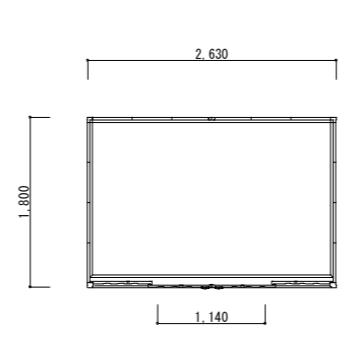


側面図 S=1/30

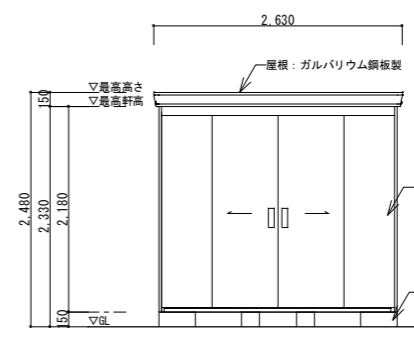
側面図 S=1/30

既存のまま

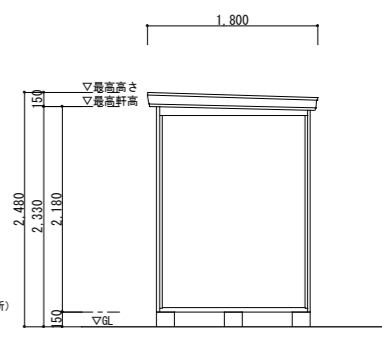
「主要構造部の構造: アルミ造」



平面図 S=1/40



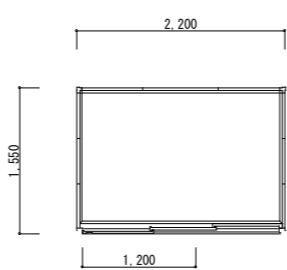
正面図 S=1/40



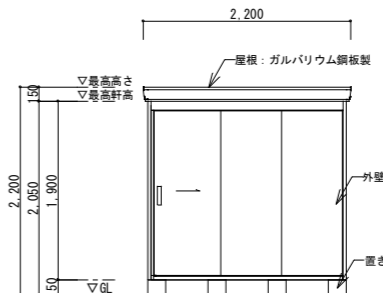
側面図 S=1/40

位置: 敷地北東
数量: 1ヶ所
仕様: 本体/ガルバリウム鋼板製
基礎/コンクリートブロック

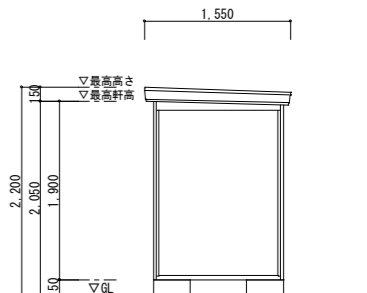
撤去



平面図 S=1/40



正面図 S=1/40



側面図 S=1/40

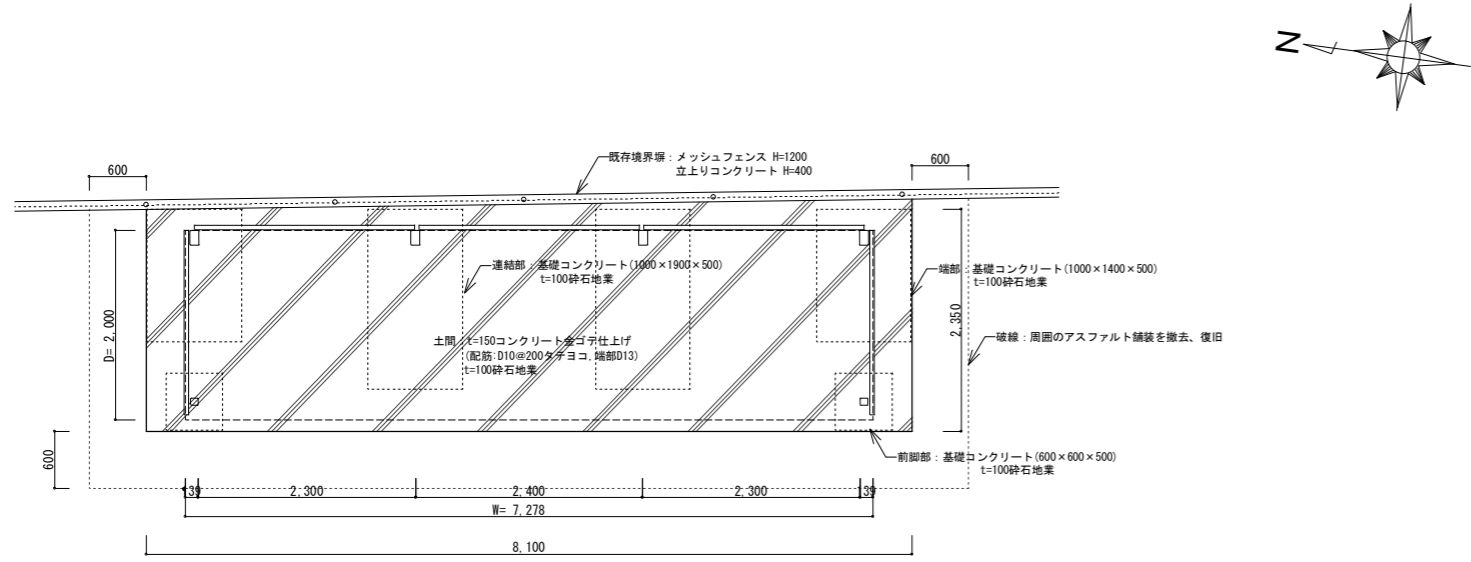
位置: 敷地北東
数量: 1ヶ所
仕様: 本体/ガルバリウム鋼板製
基礎/コンクリートブロック

撤去

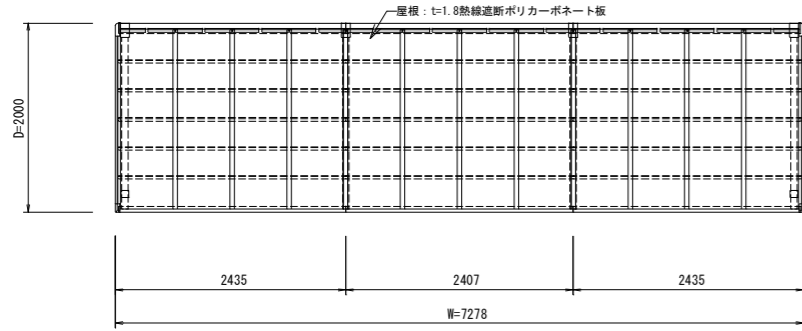


設計年月日	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03	A1-1:30, 他 A3-1:60, 他	ひまわり園改修工事	既存車寄せ・物置詳細図	A-43

春日部市
福祉部 障がい者支援課



駐輪場2 平面図 S=1/40

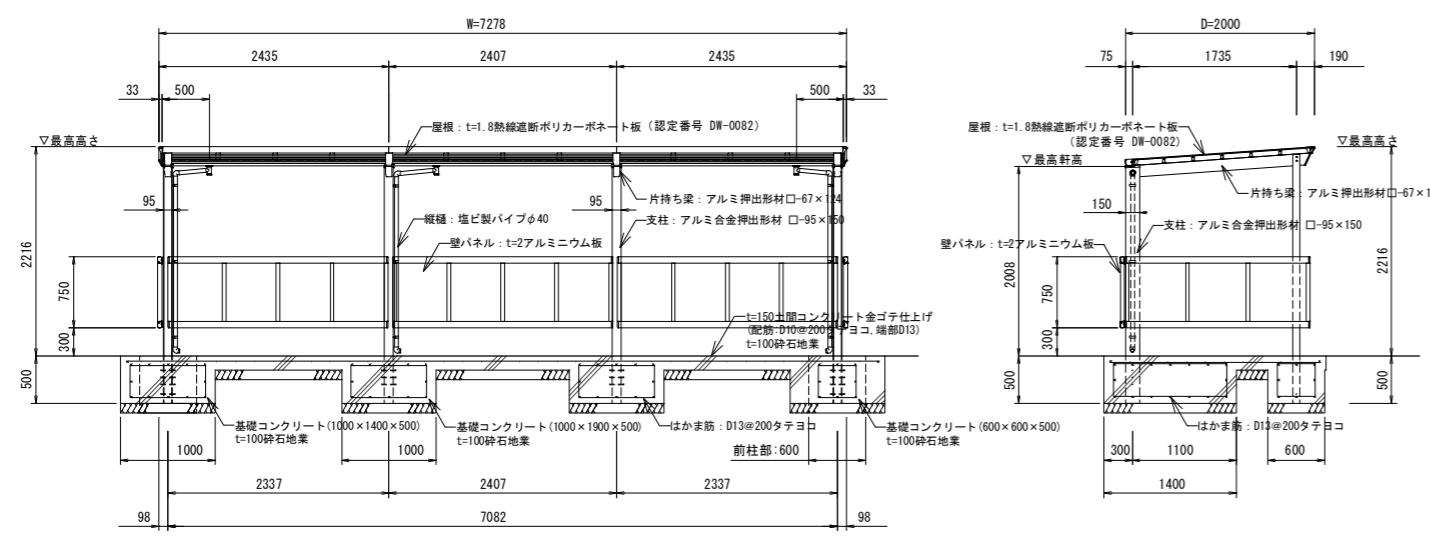


屋根伏図 S=1/40

使用構造材料表

〔鉄筋〕
異形鉄筋(jis G 3112) ...SD295A D10,D13 重ね継手

〔コンクリート〕 レディーミクストコンクリート(jis A 5308)
基礎コンクリート ...普通 Fc 21 N/mm² スランプ18cm
土間コンクリート ...普通 Fc 21 N/mm² スランプ18cm
※構造体強度補正を行うこと。
※施工に関しては、JASS5による。



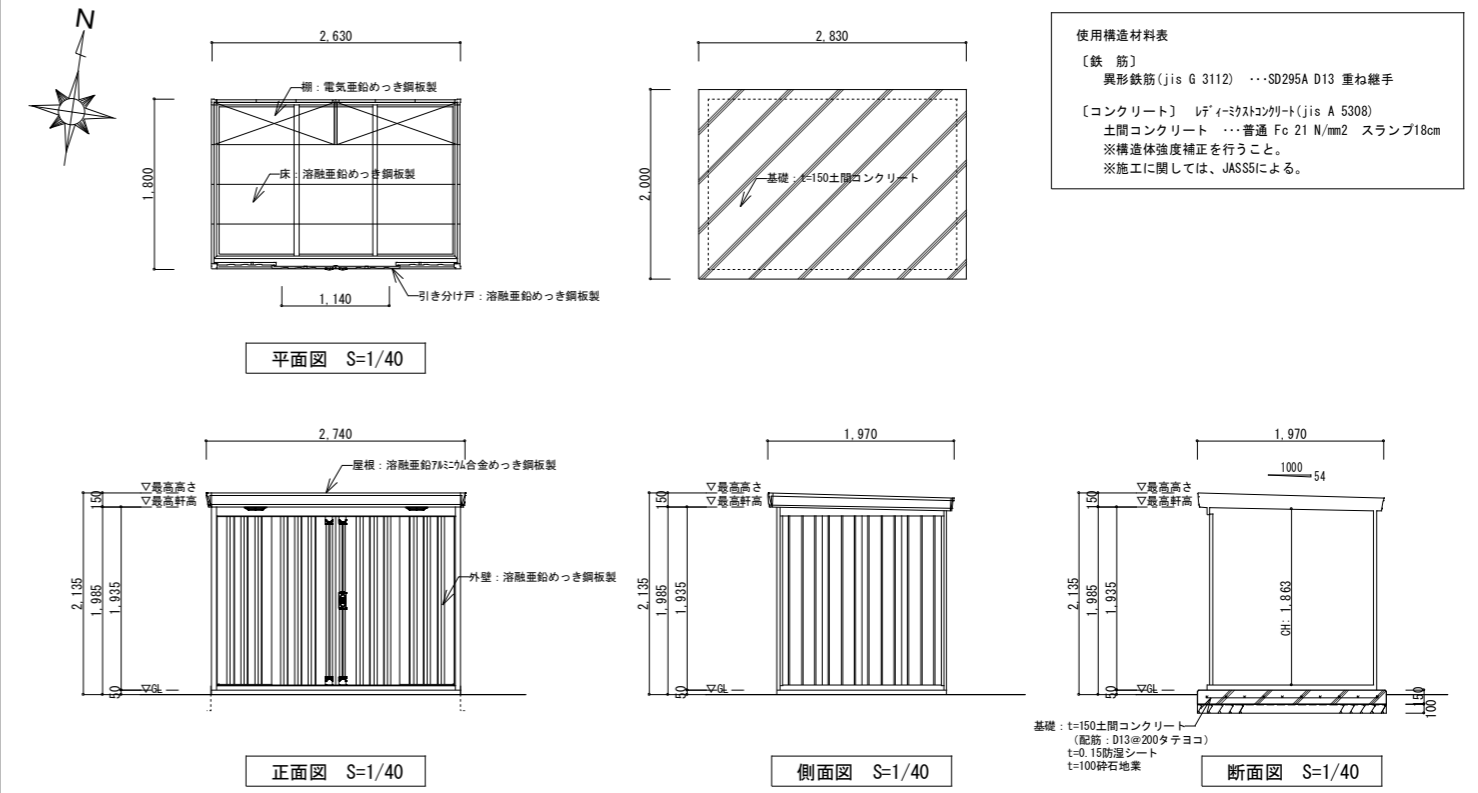
正面図 S=1/40

側面図 S=1/40

「主要構造部の構造: アルミ造」

「主要構造部の構造: 軽量鉄骨造」

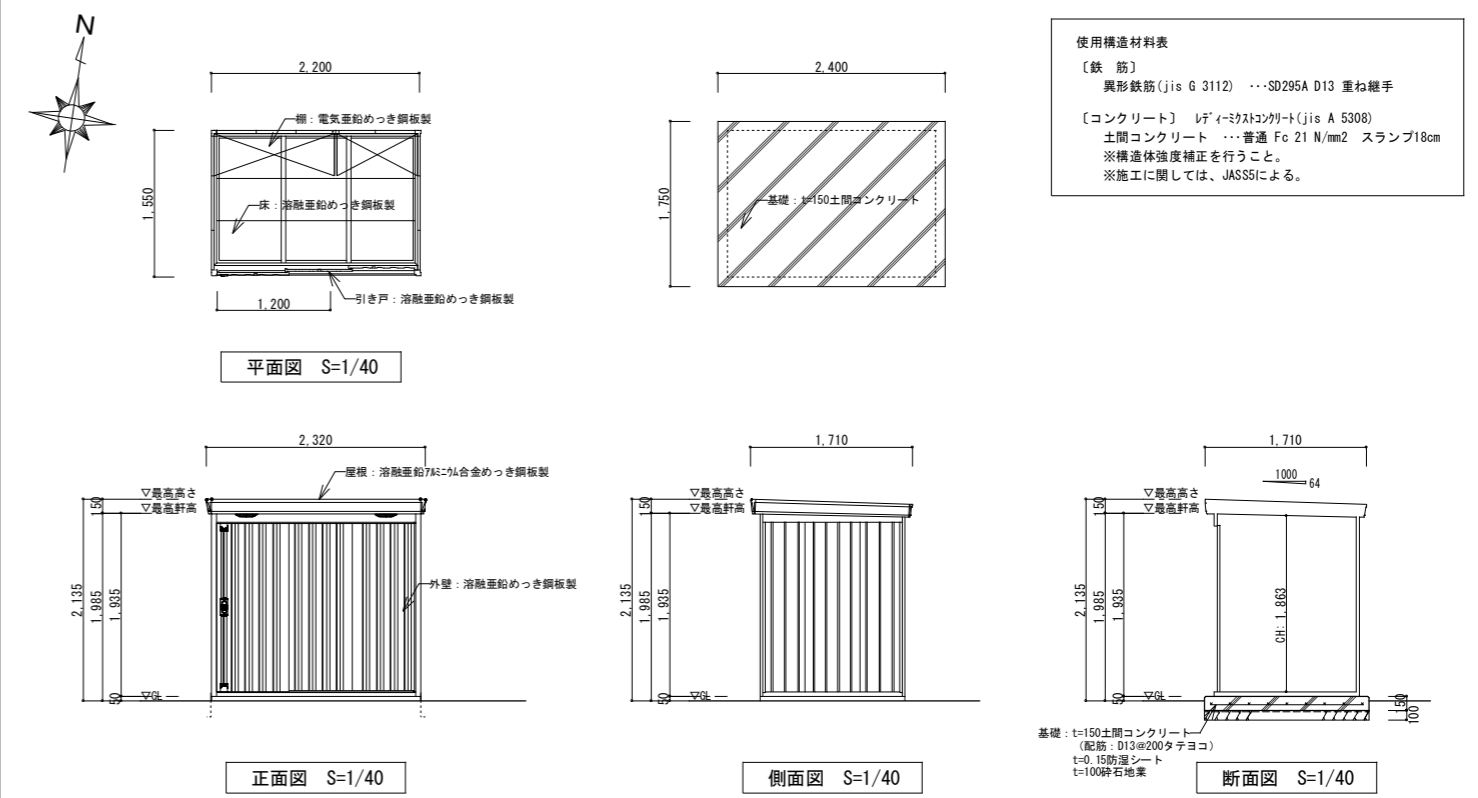
新設



使用構造材料表

〔鉄筋〕
異形鉄筋(jis G 3112) ...SD295A D13 重ね継手

〔コンクリート〕 レディーミクストコンクリート(jis A 5308)
土間コンクリート ...普通 Fc 21 N/mm² スランプ18cm
※構造体強度補正を行うこと。
※施工に関しては、JASS5による。



使用構造材料表

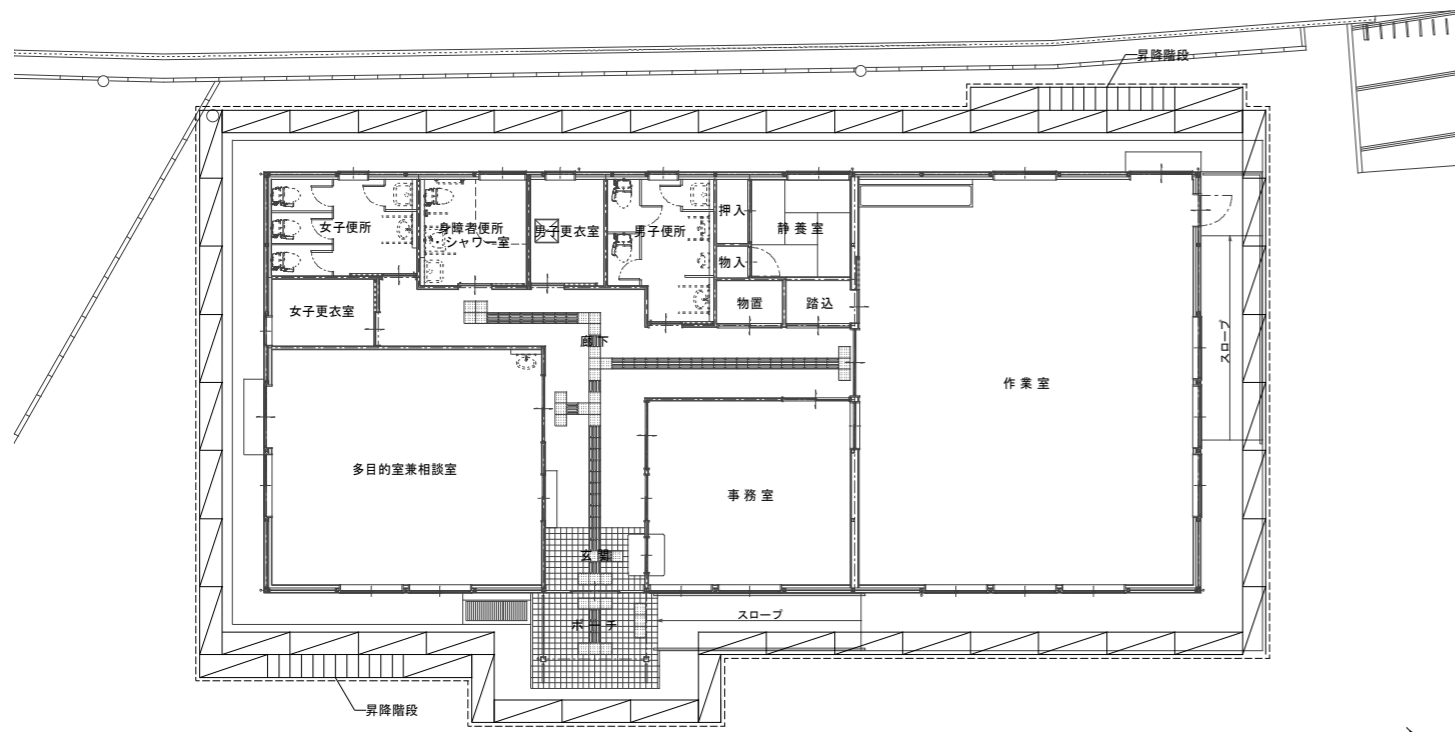
〔鉄筋〕
異形鉄筋(jis G 3112) ...SD295A D13 重ね継手

〔コンクリート〕 レディーミクストコンクリート(jis A 5308)
土間コンクリート ...普通 Fc 21 N/mm² スランプ18cm
※構造体強度補正を行うこと。
※施工に関しては、JASS5による。

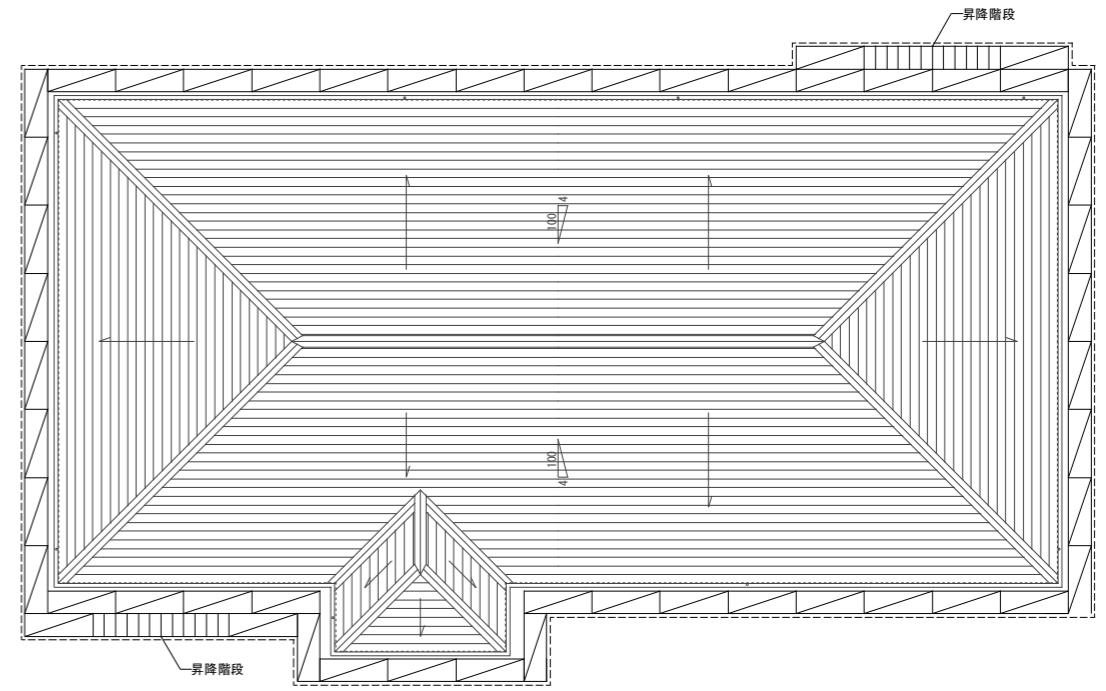
「主要構造部の構造: 軽量鉄骨造」

「主要構造部の構造: アルミ造」

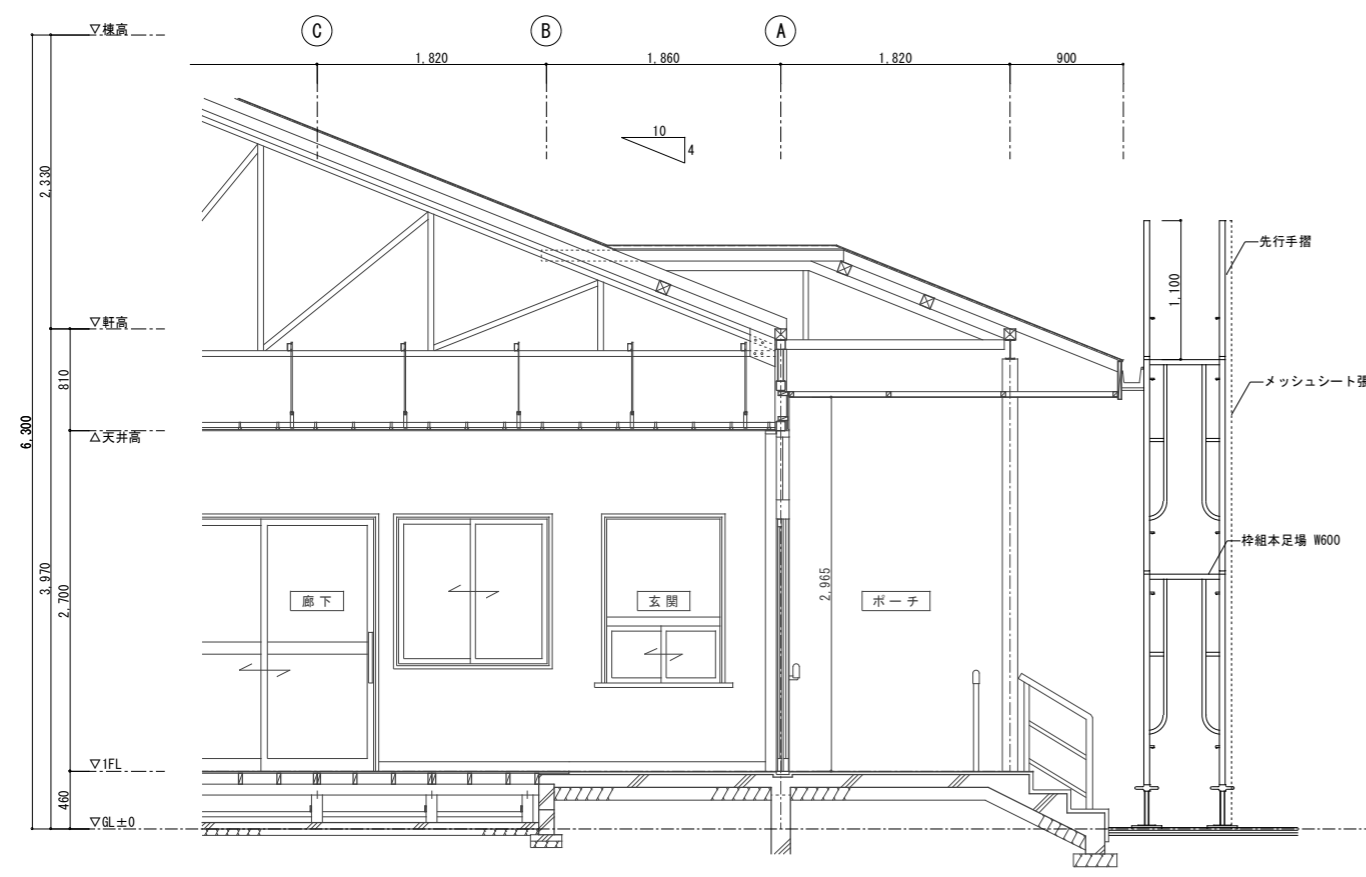
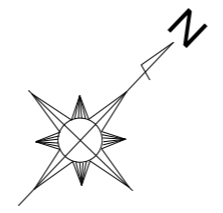
新設



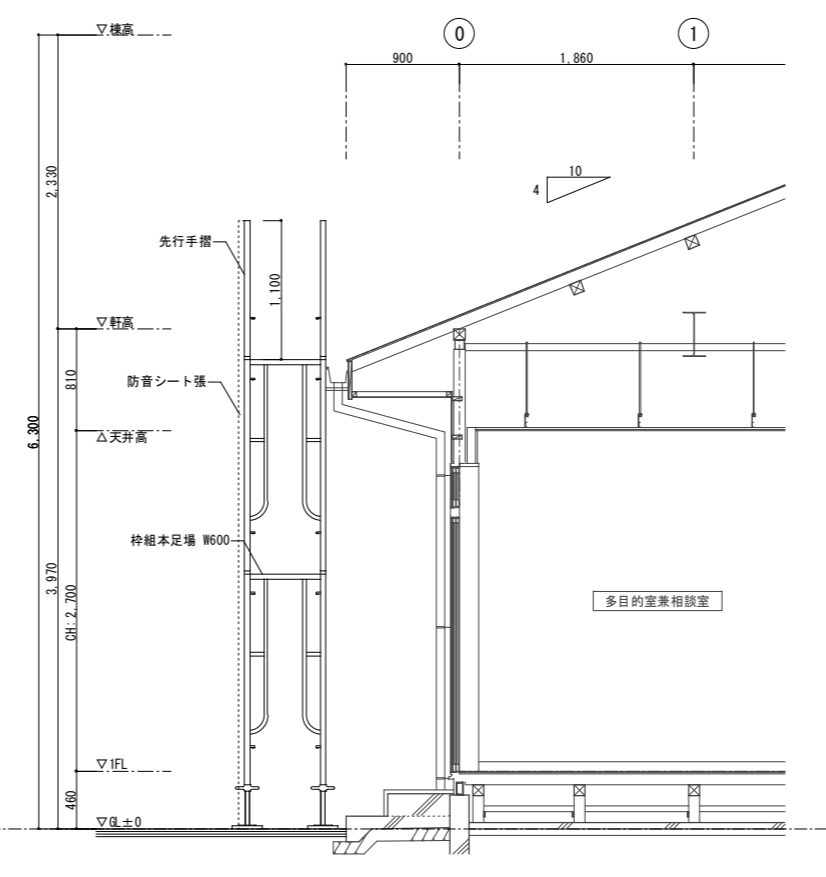
1階 仮設足場計画図 S=1/100



屋根 仮設足場計画図 S=1/100



仮設足場 断面図1 S=1/30



仮設足場 断面図2 S=1/30

- 仮設計画 凡例
- = 枠組本足場 W600 手摺先行方式 防音シート張 (南東面はメッシュシート張)
 - = 昇降階段 (階段手摺付 H=450, 900)
 - = ブラケット足場 W300~500

- 仮設計画 特記事項
- ・仮設計画は参考図とする。適宜、監督員と協議する。
 - ・工事車両の搬出入時は、必要に応じ適宜、交通誘導員を配置し安全を図ること。
 - ・工事車両の搬出入の計画について、前面道路がスクールゾーンであるため、安全に配慮した計画とすること。
 - ・立入禁止区域および安全対策等について、適宜掲示を行うこと。
 - ・工事期間中の騒音対策には注意を払うこと。
 - ・建物内および工事範囲以外の部分に、粉塵等が入り込まない様に十分に養生をすること。
 - ・内部足場は脚立足場とする。
 - ・工事完了後、屋内・外を清掃すること。
 - ・工事完了後、建物廻り整理整頓のこと。
 - ・工事完了後、搬出入路・駐車場・既設道路、道路側溝等を現況に復旧すること。

設計年月日	春日部市 福祉部 障がい者支援課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2026.03		A1-1:100, 他 A3-1:200, 他	ひまわり園改修工事	仮設足場計画図(参考図)	A-45

